

3. 市民アンケート結果票

3-1 調査概要

(1)対象

市内在住の満 18 歳以上の方から、1,200 人(無作為抽出)

(2)時期

令和 5 年 7 月 8 日から令和 5 年 7 月 31 日

(3)調査方法

調査票郵送/回収は郵送か WEB 回答

(4)回収数(回収率)

386 (32.2%)

(5)設問項目

問1 性別

問2 年齢

問3 小学校区

問4 職業

問5 家族形態

問6 理想的な生活を実現するために必要だと思うこと

問7 学校に関する地域等の行事・活動に参加したことがあるか

問8 地域の状況について

問9 地域でどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思うか

問10 今後どのようなことを学びたいか

問11 子ども達が成長していくうえで問題だと感じること

問12 将来どのような人になってほしいと思うか

問13 質の高い教育を提供するために学校や教員には何が必要か

問14 教員の質を高めていくうえで、必要と思われること

問15 学校の在り方についての考え

問16 人権問題についてどの程度関心があるか

問17 人権問題についての行政の取組について見聞きしたことはあるか

問18 最近人権上問題と思われる言動を受けたり、見聞きしたりしたことがあるか

問19 その内容はどの人権問題に関するものか

問20 京田辺市の歴史や文化についてどう思うか

問21 多くの人が歴史や文化に関心を持つには、どのようなものが必要か

問22 文化財を保存活用するために、市はどのような支援をするべきか

問23 文化財を保存活用するために協力できること

問24 自由記述

3-2 調査結果

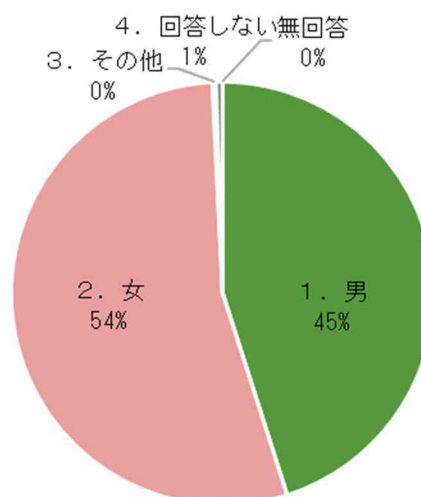
I あなたについて

問1 性別

あなたの性別についてお聞かせください。(1つ選択)

回答者は、女性が54%で男性よりも多くなっている。

問1 性別 (n=386)

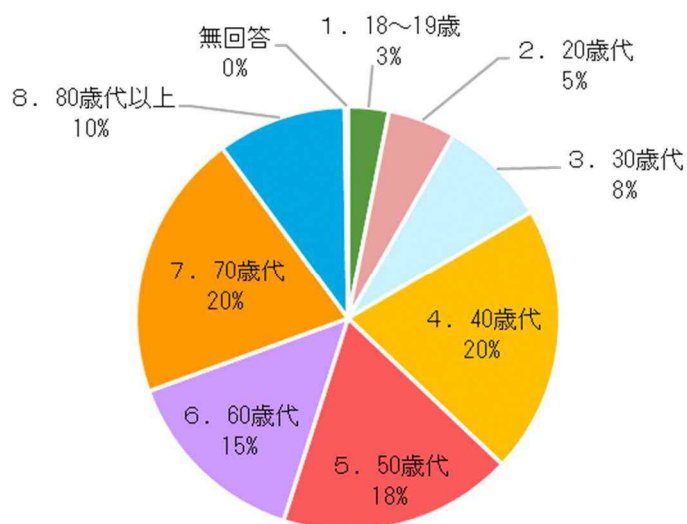


問2 年齢

あなたの年齢をお聞かせください。(1つ選択)

回答者の年齢層は、40歳代と70歳代が20%で多く、次いで、50歳代(18%)、60歳代(15%)が多かった。

問2 年齢 (n=386)

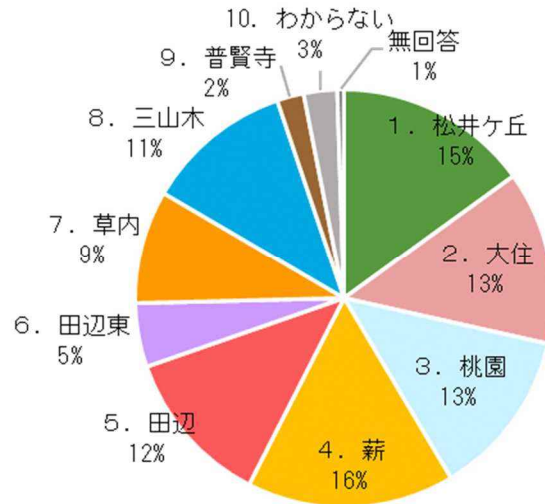


問3 小学校区

あなたのお住まいの小学校区をお聞かせください。(1つ選択)

薪(16%)、松井ヶ丘(15%)、大住(13%)、桃園(13%)
田辺(12%)、三山木(11%)が1割以上で多かった。

問3 小学校区 (n=386)

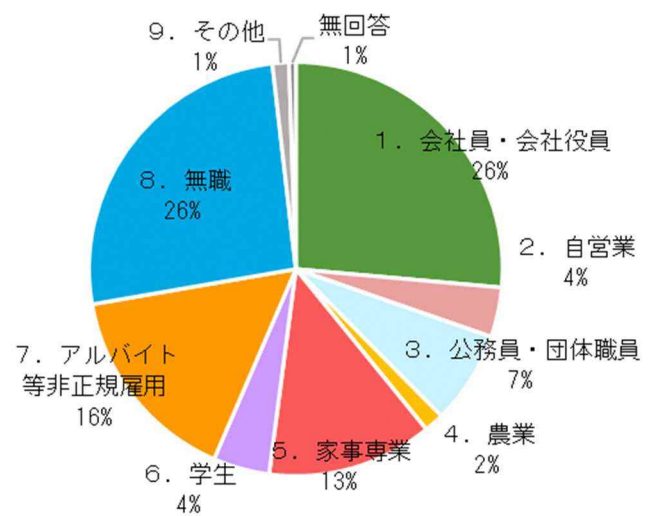


問4 職業

あなたの職業をお聞かせください。(1つ選択)

「会社員・会社役員」と「無職」がそれぞれ 26%で多く、
次いで「アルバイト等非正規雇用」(16%)、「家事専業」(13%)
が多かった。

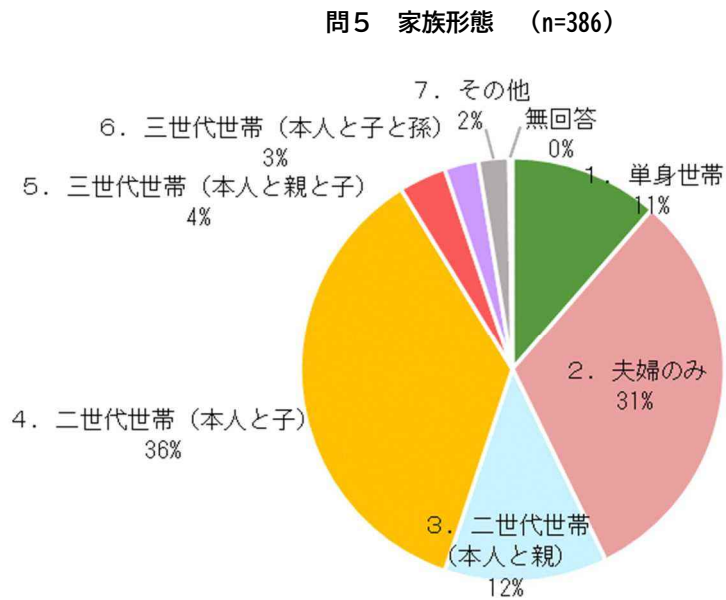
問4 職業 (n=386)



問5 家族形態

あなたの家族形態をお聞かせください。(1つ選択)

「二世世代世帯(本人と子)」(36%)と「夫婦のみ」(31%)がそれぞれ3割以上で多数を占めた。次いで、「二世世代世帯(本人と親)」(12%)と「単身世帯」(11%)がそれぞれ1割以上が多かった。



問6 理想的な生活を実現するために必要だと思うこと

あなたが考える最も理想的な生活を実現するために、特に必要だと思うことは何ですか。(3つまで選択)※

「仕事と生活のバランスがとれていること」(41%)が最も多く、次いで「家族と良好な関係にあること」(34%)、「心身の健康が良好であること」(34%)、「仕事が継続的にあるなど安定していること」(31%)の回答が多かった。性別では、全体的な傾向に大きな違いは見られなかった。

年代別では、30代以下で「仕事と生活のバランスがとれていること」(64%)が特に多く、40代～50代では「仕事と生活のバランスがとれていること」(47%)と「仕事が継続的にあるなど安定していること」(43%)が多かった。60代以上では「医療・福祉の環境(体制)が安心できること」(36%)が他の年代よりも多くなっている。

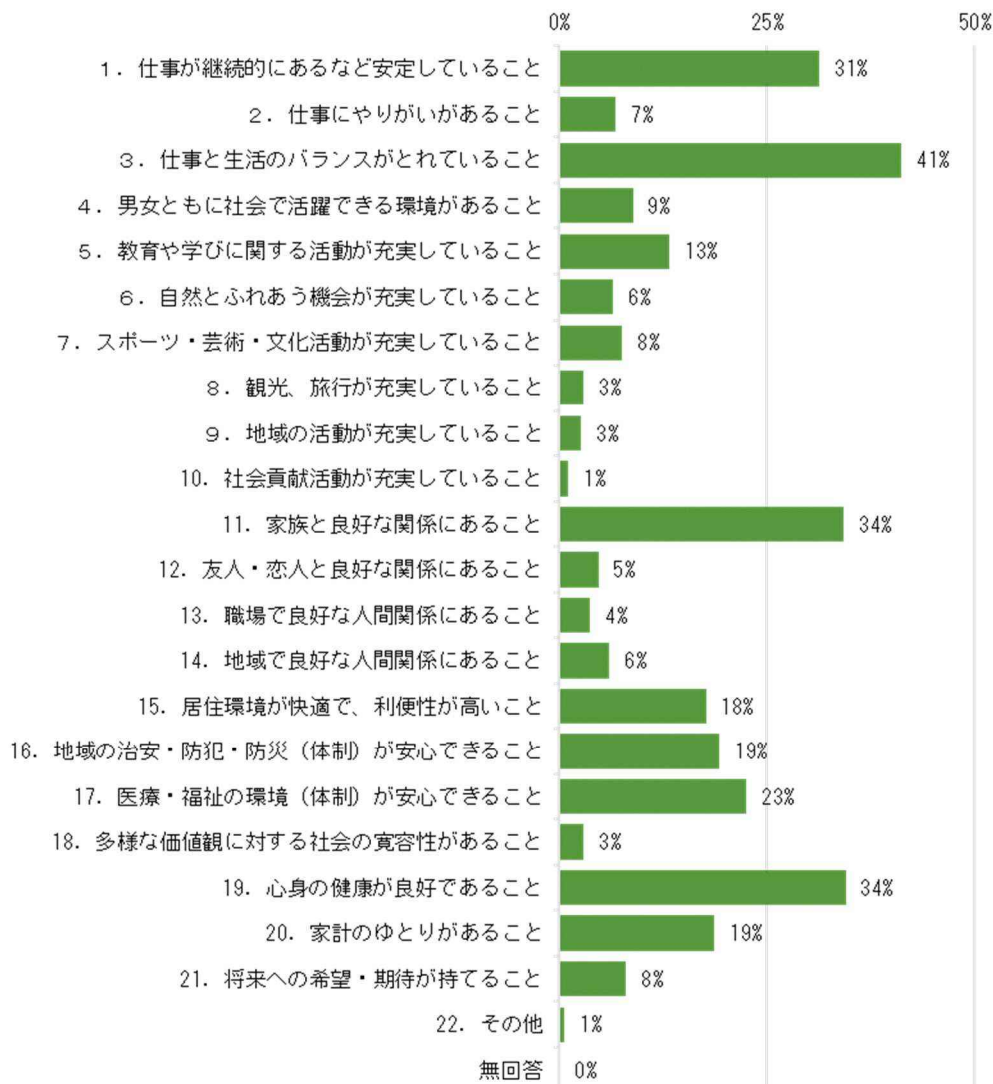
中学校区別では、大住中学校区は「仕事と生活のバランスがとれていること」(34%)が他の校区に比べるとやや少なく、培良中学校区は「家計のゆとりがあること」(30%)が他の校区に比べて多かった。

その他の記述内容は以下の通りだった。

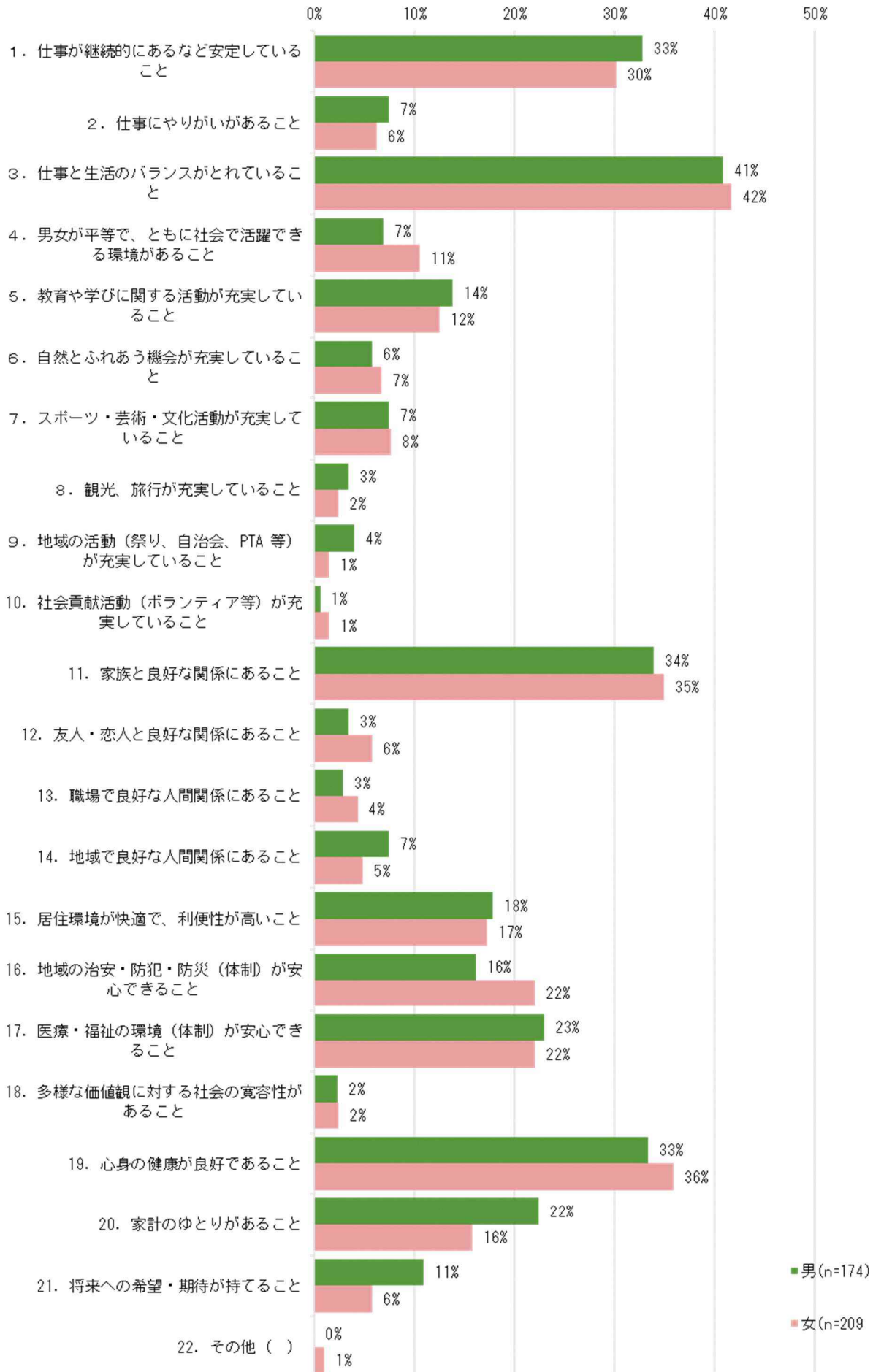
【その他】

- ・食料品店が少なく、高値である。
- ・全ての項目と思うため。

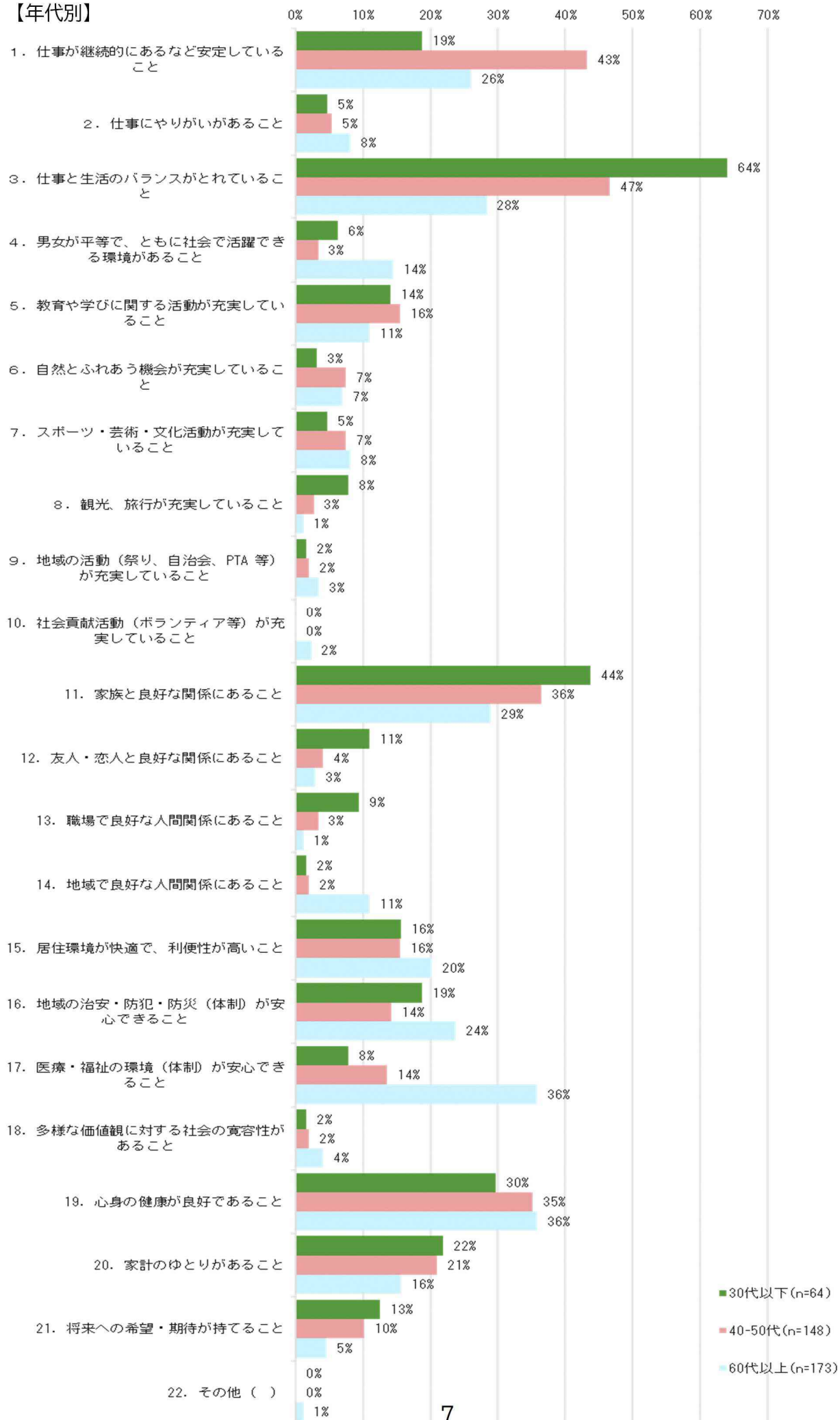
問6 理想的な生活を実現するために必要だと思うこと (n=386)



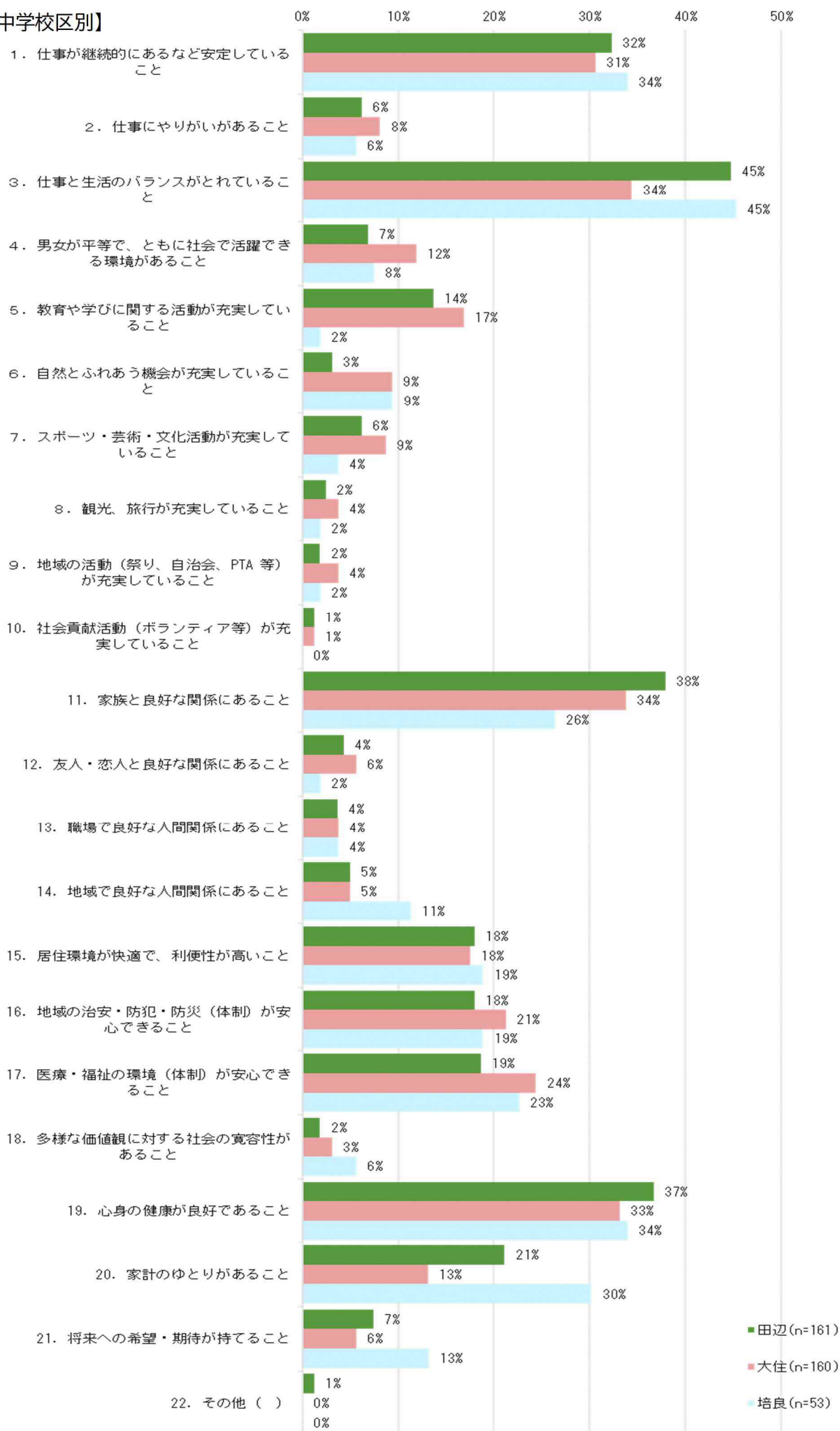
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



II 地域社会の教育力について

問7 学校に関する地域等の行事・活動に参加したことがあるか

あなたは、学校に関する地域等の行事・活動に参加したことがありますか。(あてはまるもの全て選択)参加したことがない場合は6か7を選択してください。※

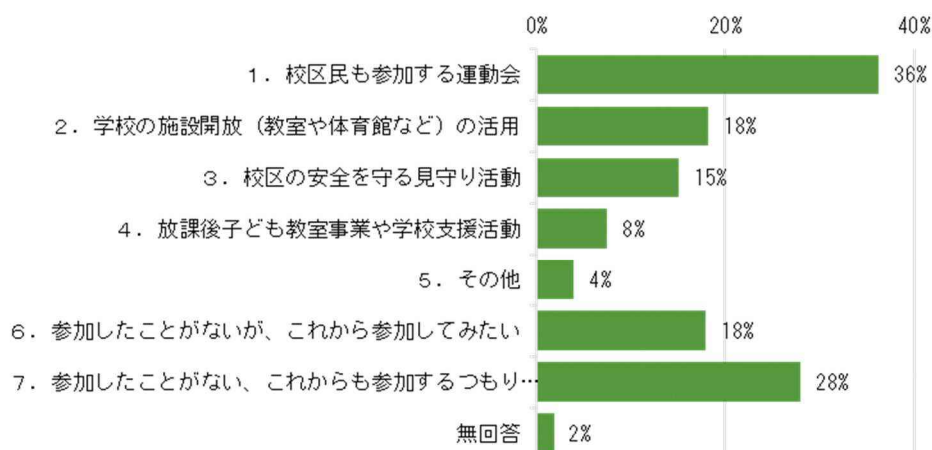
「校区民も参加する運動会」に参加したことがあるとの回答が36%で最も多かったが、「参加したことがない、これからも参加するつもりはない」(28%)、「参加したことがないが、これから参加してみたい」(18%)を合わせると4割以上となった。

性別では、「参加したことがない、これからも参加するつもりはない」の回答が、男性が女性よりも多くなった。

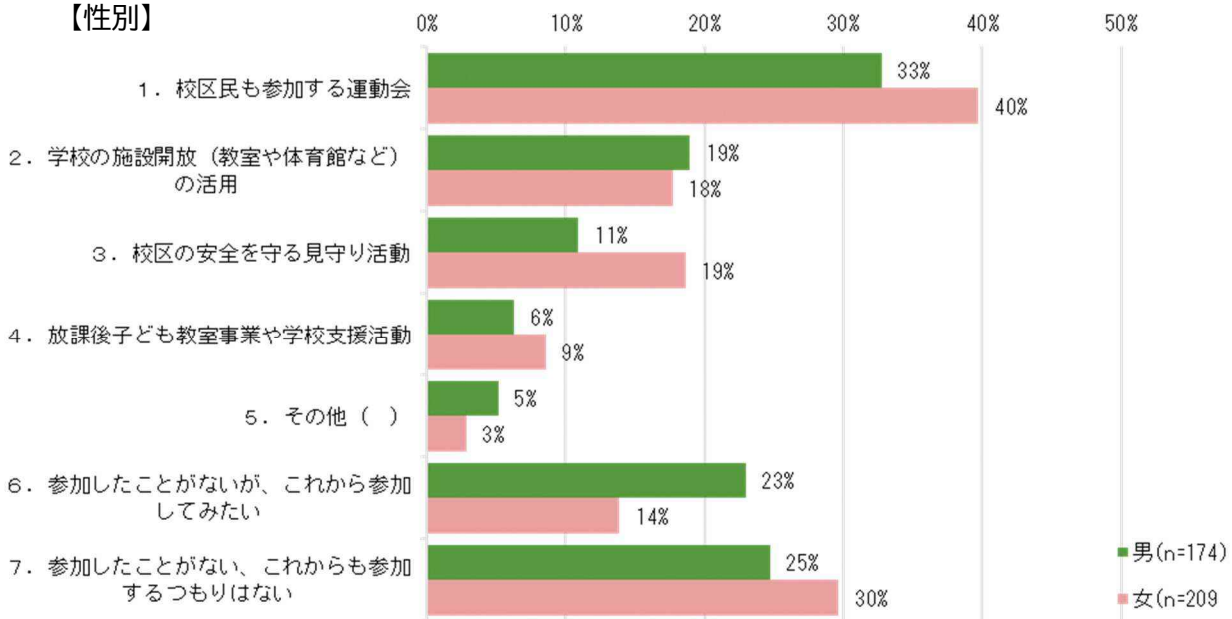
年代別では、40～50代が「校区民も参加する運動会」(46%)、「校区の安全を守る見守り活動」(26%)に参加したことがあるとの回答が多くなっている。30代以下では「参加したことがない、これからも参加するつもりはない」(31%)、「参加したことがないが、これから参加してみたい」(28%)が多かった。60代以上では「校区民も参加する運動会」(33%)、「参加したことがない、これからも参加するつもりはない」(33%)が多かった。

中学校区別では、培良中学校区で「校区民も参加する運動会」に参加したことがあるとの回答が52%で他の校区に比べて多かった。

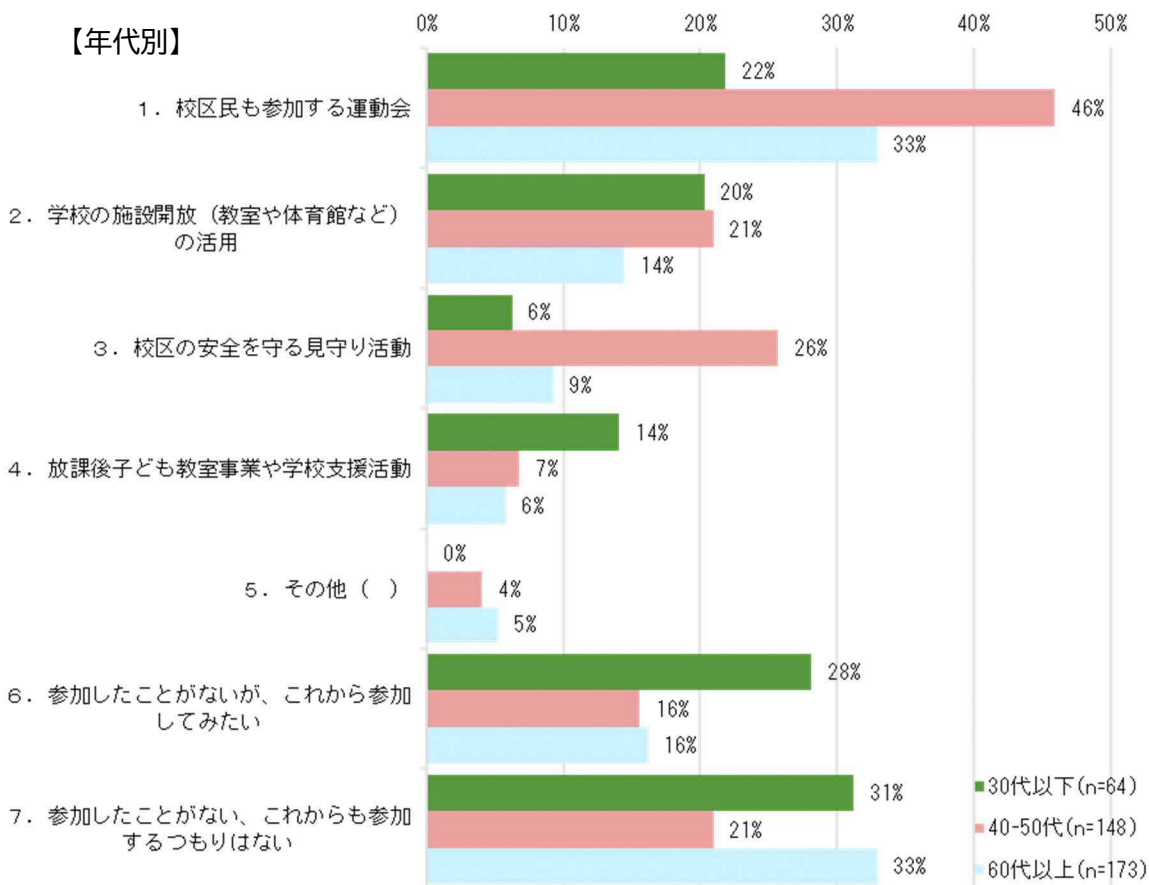
問7 学校に関する地域等の行事・活動に参加したことがあるか (n=386)



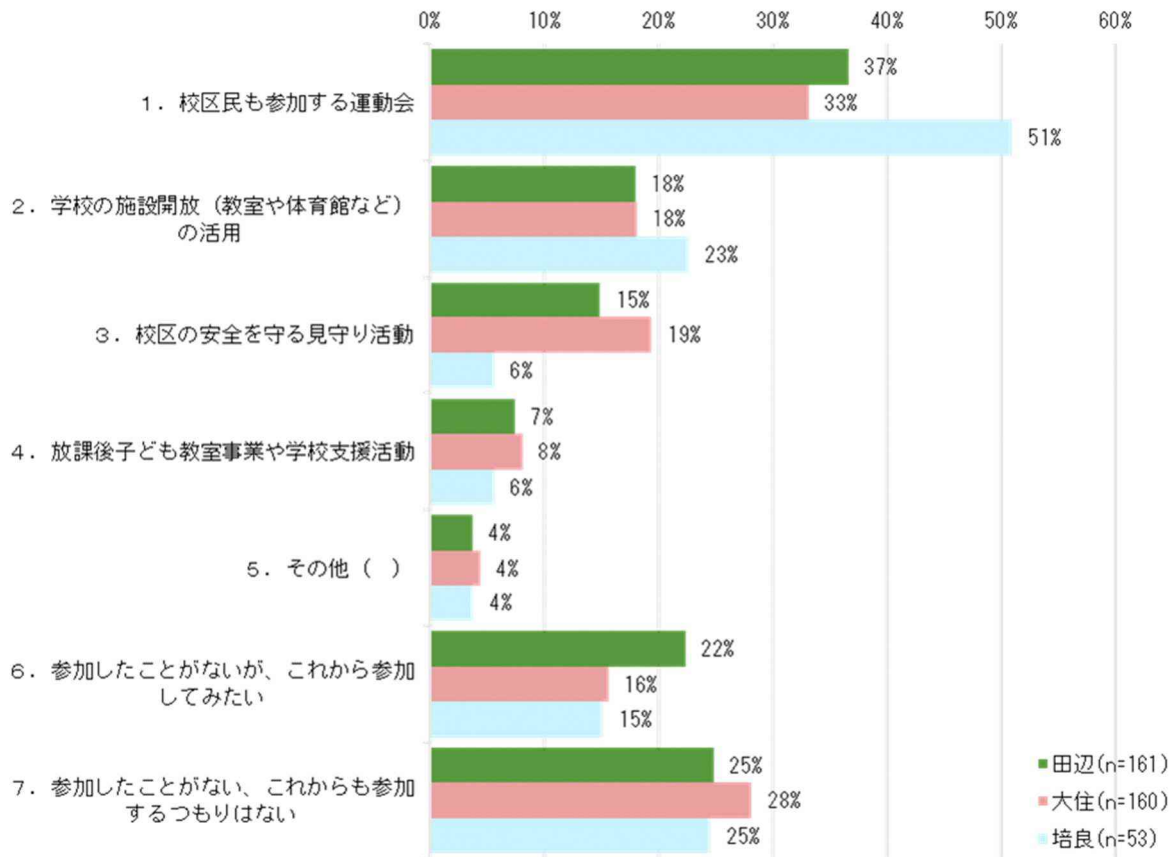
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



その他の記述内容としては、文化・スポーツ・防犯・防災など多様な地域活動の具体的な参加内容があげられていた。

【その他】

【参加内容について】

- ・校区内の祭り、市の文化祭、役として参加
- ・家が「こども 110 番の家」として登録されている
- ・自治会の運動会
- ・自治会、老人会
- ・校区の地域委員で様々な行事参加、手伝い等
- ・シュタイナー学校のもよおし
- ・人権教育の講師として小学生に話しをさせていただきました。
- ・クラブ活動のお手伝い
- ・防災訓練
- ・ハンドボールのコーチ12年間

【参加したい】

- ・参加してみたいが、足が不自由なのでできる範囲なら

【参加できなかった】

- ・子供がいませんので学校とは縁が薄かった。

問8 地域の状況について

あなたのお住まいの地域の状況について、どのように感じていますか。(1つ選択)

①地域の大人たちが子どもを見守ろうとしている

「そう思う」「まあそう思う」を合わせると7割以上で、地域の子どもの見守る意識は高い。年代別では30代以下でそう思う合計割合がやや低く、中学校区別では大住中学校区でやや高くなっている。

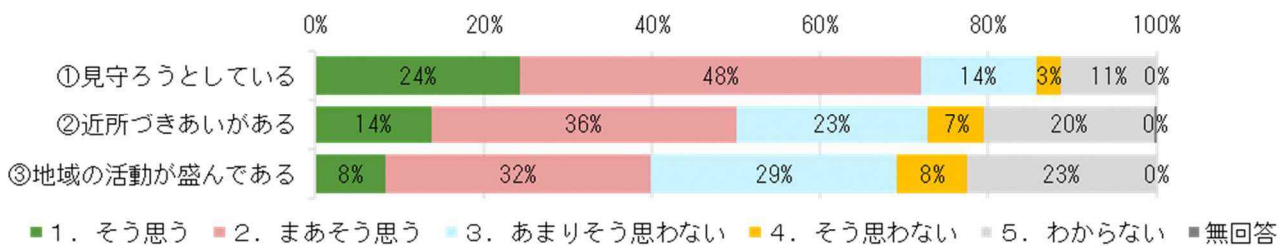
②子どもに関することで協力し合えるような近所づきあいがある

協力し合えるような近所づきあいがあるは、「そう思う」「まあそう思う」を合わせて5割だった。年代別では40～50代でそう思う合計割合が5割を超えてやや高く、中学校区別では培良中学校区でやや低くなっている。

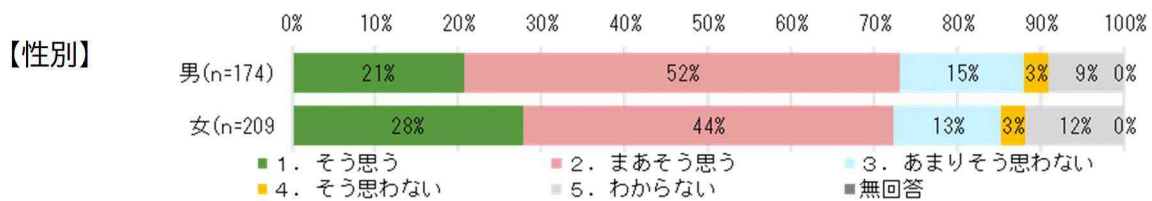
③子どもに関する地域の活動が盛んである

地域活動が盛んと感じているのは、「そう思う」「まあそう思う」を合わせて4割だった。年代別では40～50代でそう思う合計割合が5割近くでやや高くなっている。

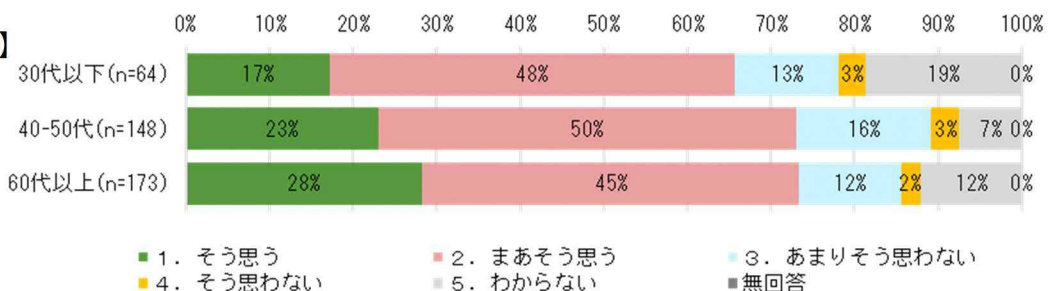
問8 地域の状況について (n=386)



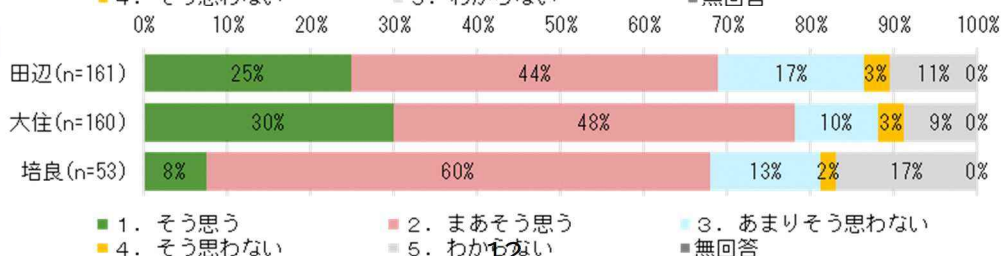
①地域の大人たちが子どもを見守ろうとしている



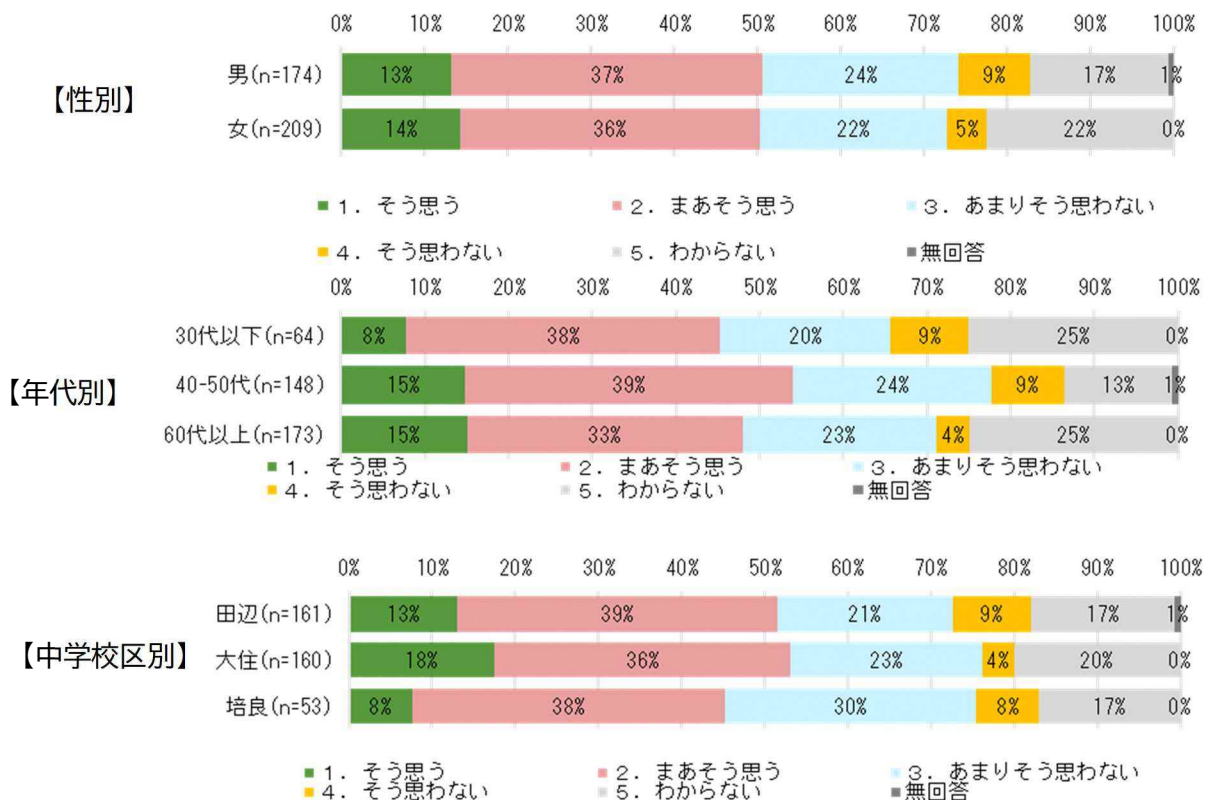
【年代別】



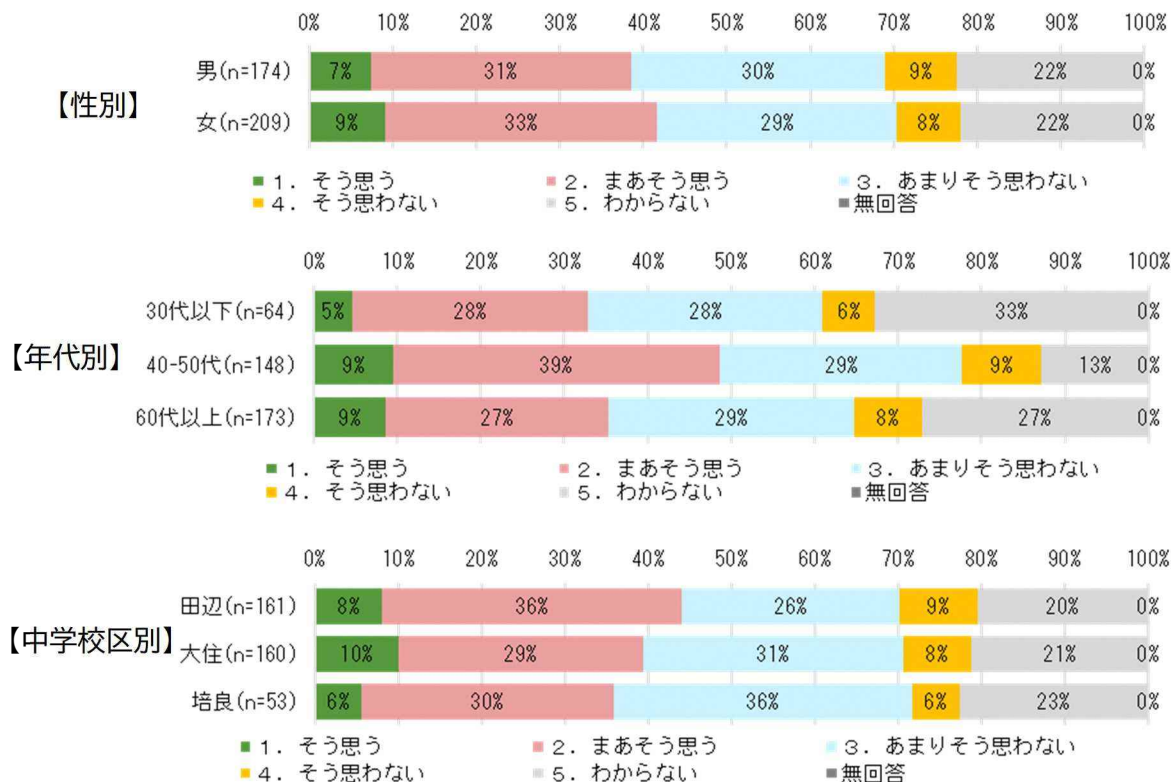
【中学校区別】



②子どもに関することで協力し合えるような近所づきあいがある



③子どもに関する地域の活動が盛んである



問9 地域でどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思うか

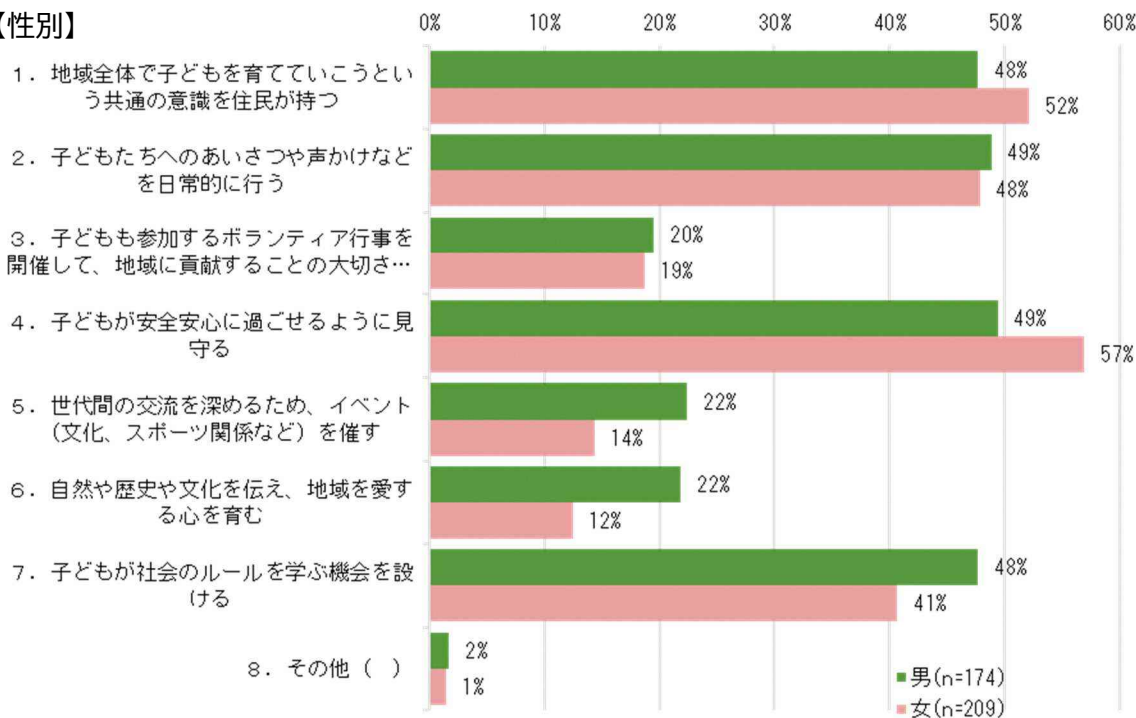
子どもたちをすこやかに育てるために、地域でどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。(3つまで選択)※

「子どもが安全安心に過ごせるように見守る」(53%)、「地域全体で子どもを育てていこうという共通の意識を住民が持つ」(50%)、「子どもたちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う」(48%)、「子どもが社会のルールを学ぶ機会を設ける」(44%)が多かった。性別、年代別、中学校区別で全体的な傾向に大きな違いは見られなかった。

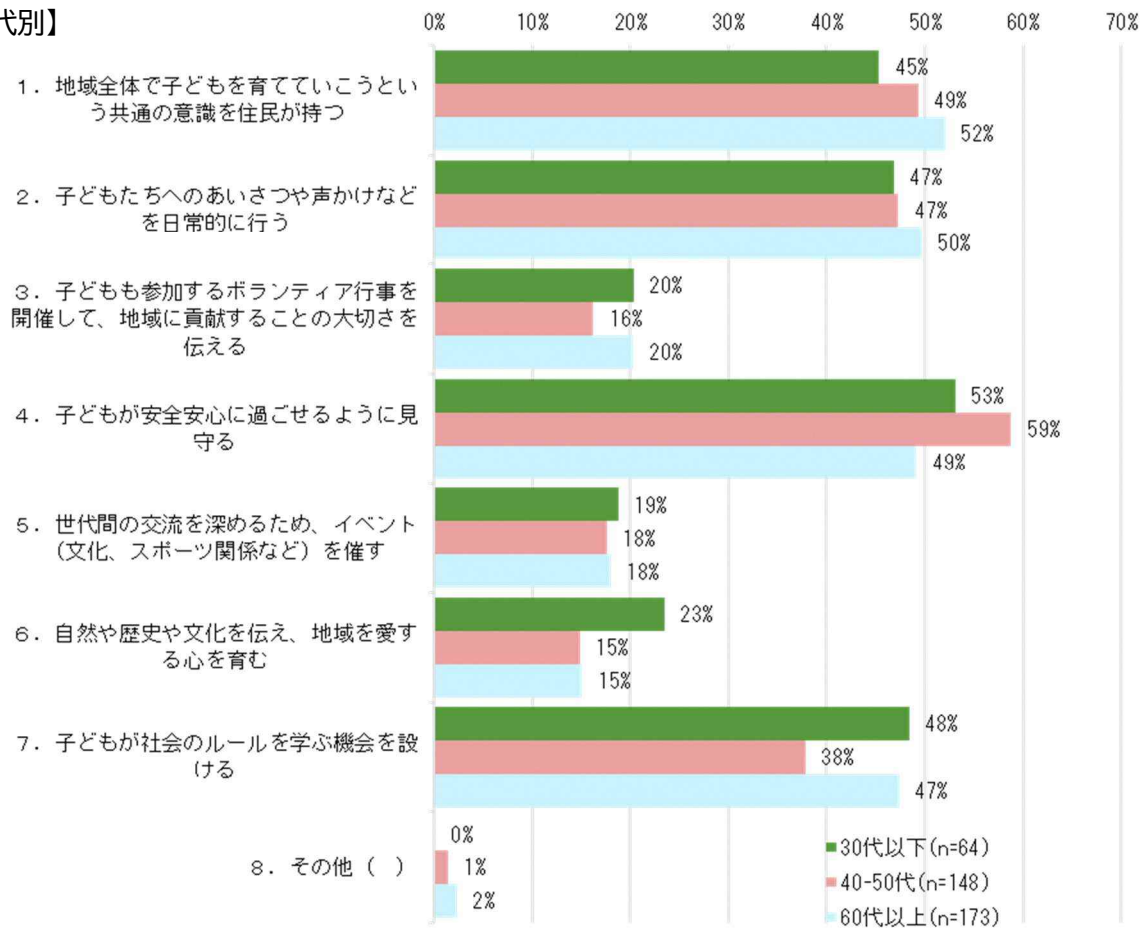
問9 地域でどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思うか (n=386)



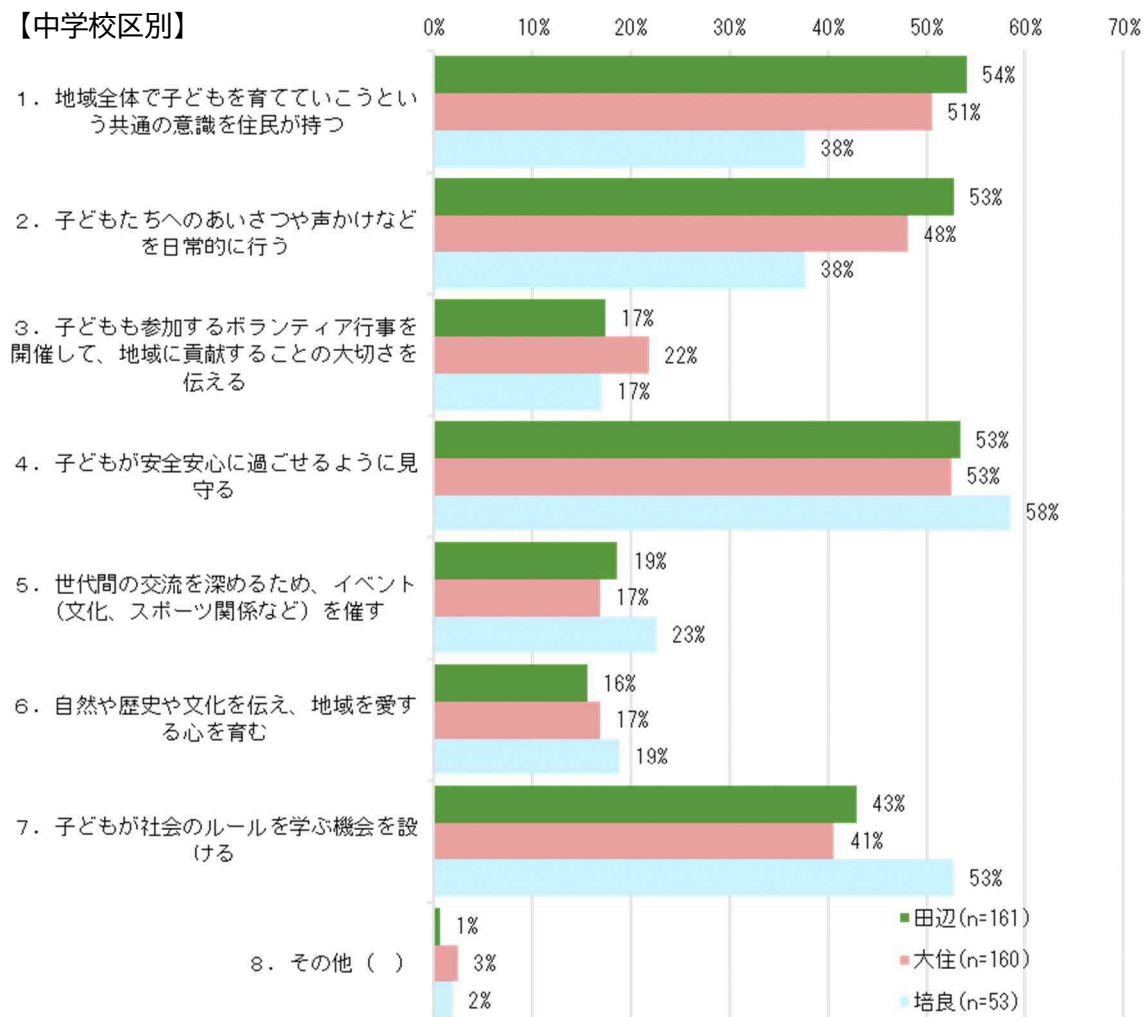
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



その他の記述内容としては、場所の提供、機会の提供、挨拶、道徳、交通安全に関して、具体的な取り組むべき内容があげられた。

【その他】

【場所の提供】

- ・放課後、外で遊ぶ場所の提供(学校のグラウンドなど)
- ・常時無料で誰もが集える場、体操、お喋り、囲碁、手芸等自由に過ごせる場所

【機会の提供】

- ・自然に触れる機会を創る。裸足で田に入る。アーシング。

【挨拶】

- ・移住者増加の現状で、親の姿勢から正していく必要を感じます。横を通っていても知らん顔。昔は人を見たらあいさつをなさい！と育てられたのは、どこへいったのでしょうか。

【道徳】

- ・虐待のニュースを聞くたびに、悲しみを感じ救い出せなかったことへの憤りが頂点に達します。いちはやく手を差し伸べ、救える命を大人や社会が今最大限に知恵を集め、なによりも先に考えてほしいです。

【交通安全】

- ・道路で遊ばない等基本的なしつけ

問 10 今後どのようなことを学びたいか

あなたは、今後どのようなことを学びたいと思いますか。(あてはまるもの全て選択) 思わない方は 10 を選択してください。※

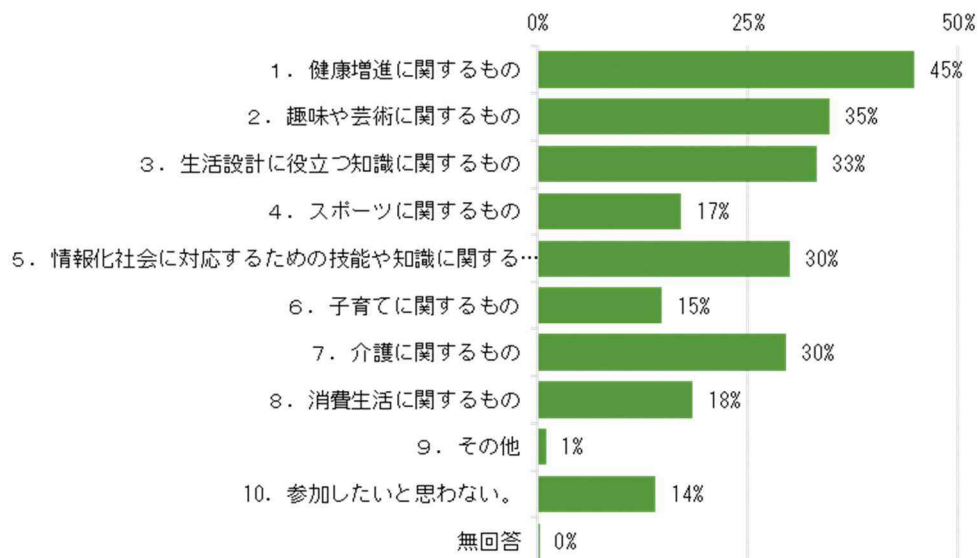
それぞれ3割以上で多くあげられたものは、順に「健康増進に関するもの(健康体操やウォーキングなど)」「趣味や芸術に関するもの(日曜大工や美術、音楽など)」「生活設計に役立つ知識に関するもの(社会保障制度や金融など)」「情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの(パソコンやスマートフォンの使い方など)」「介護に関するもの(介護予防や介護の知識など)」だった。

性別では、「スポーツに関するもの(テニスや卓球など)」は、男性がやや多かった。「子育てに関するもの(育児や教育問題など)」は女性が多かった。

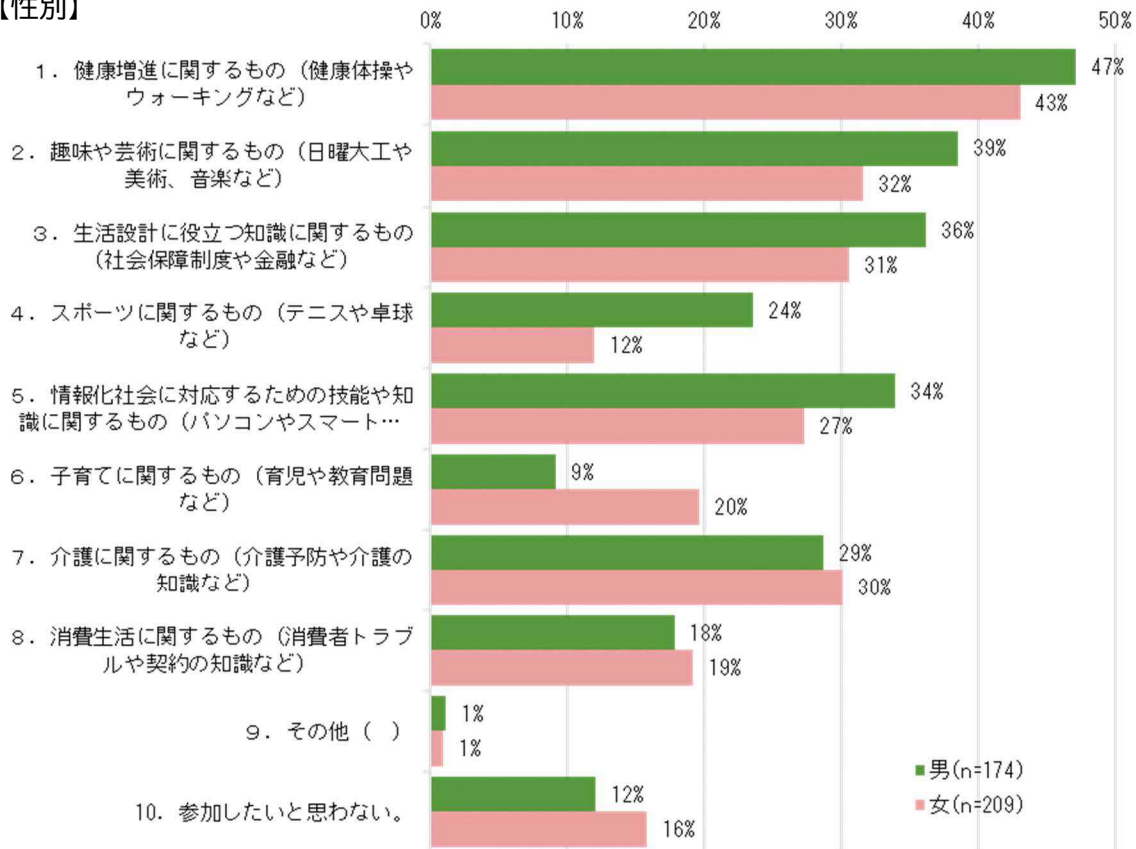
年代別では、「健康増進に関するもの(健康体操やウォーキングなど)」と「介護に関するもの(介護予防や介護の知識など)」は、年代が上がるほど多くなる傾向がみられる。「子育てに関するもの(育児や教育問題など)」は、30代以下が多かった。

中学校区別では、培良中学校区で「生活設計に役立つ知識に関するもの(社会保障制度や金融など)」と「介護に関するもの(介護予防や介護の知識など)」がそれぞれ4割以上で他の校区より多かった。

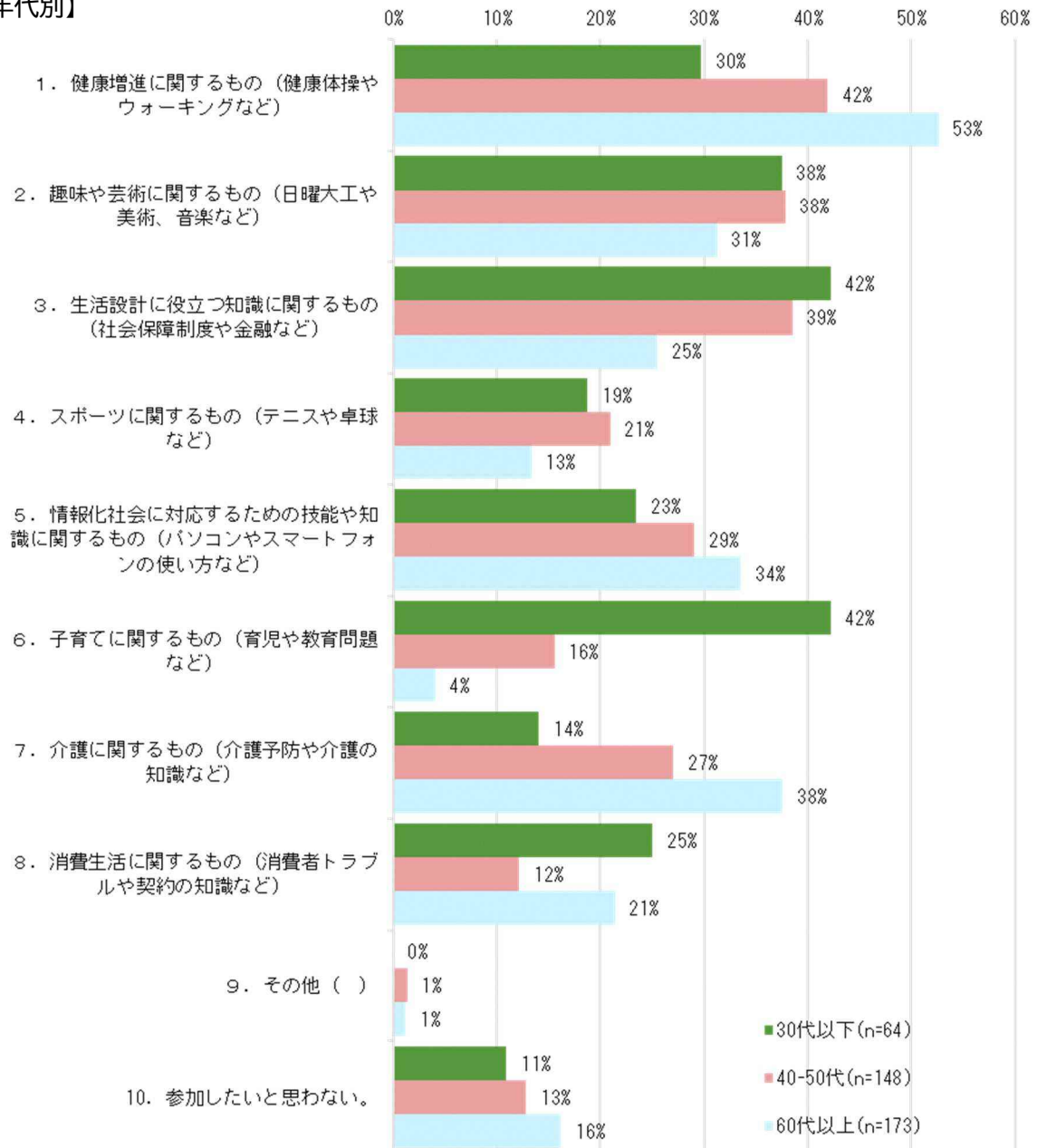
問 10 今後どのようなことを学びたいか (n=386)



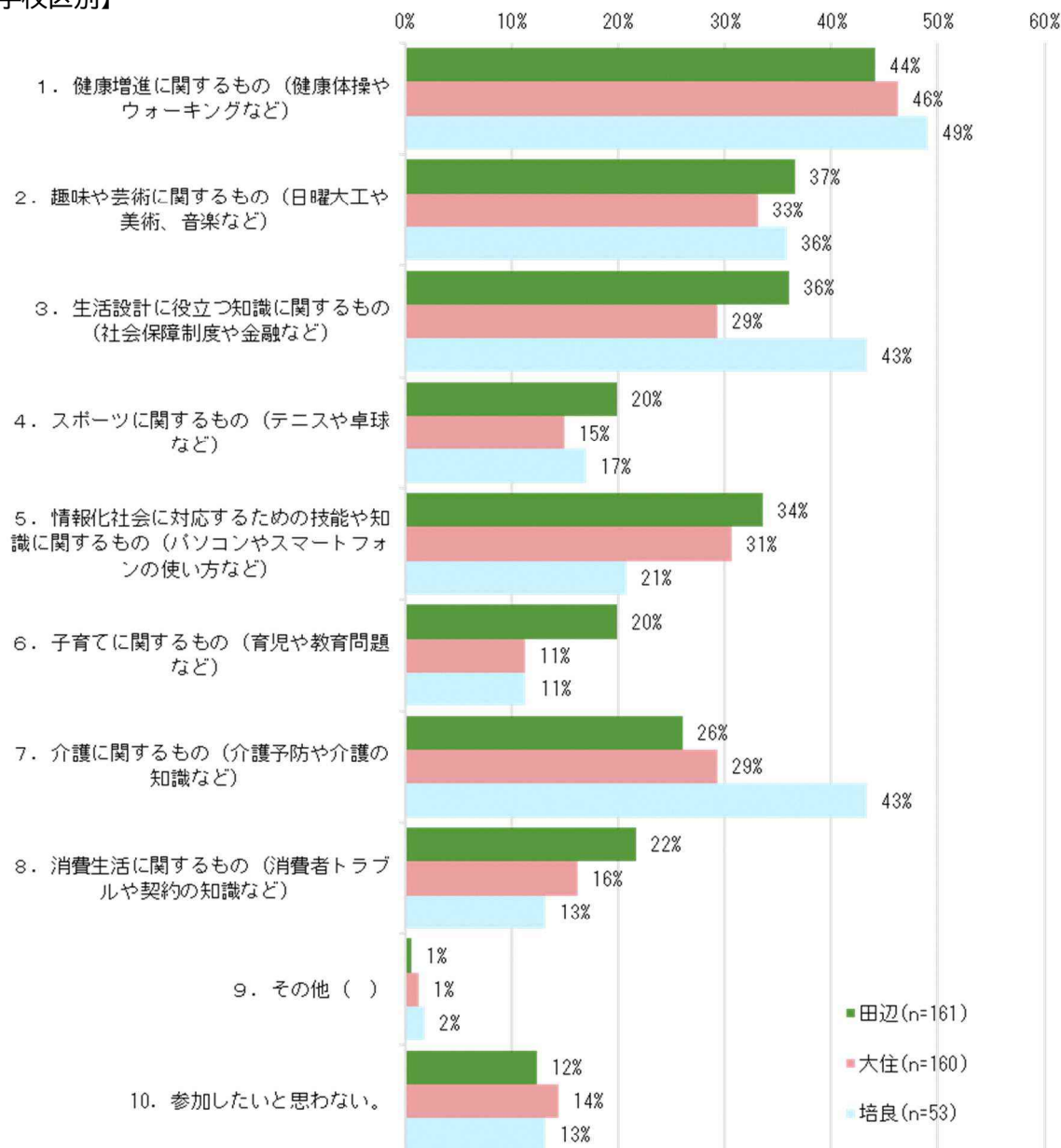
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



Ⅲ 子どもたちの教育について

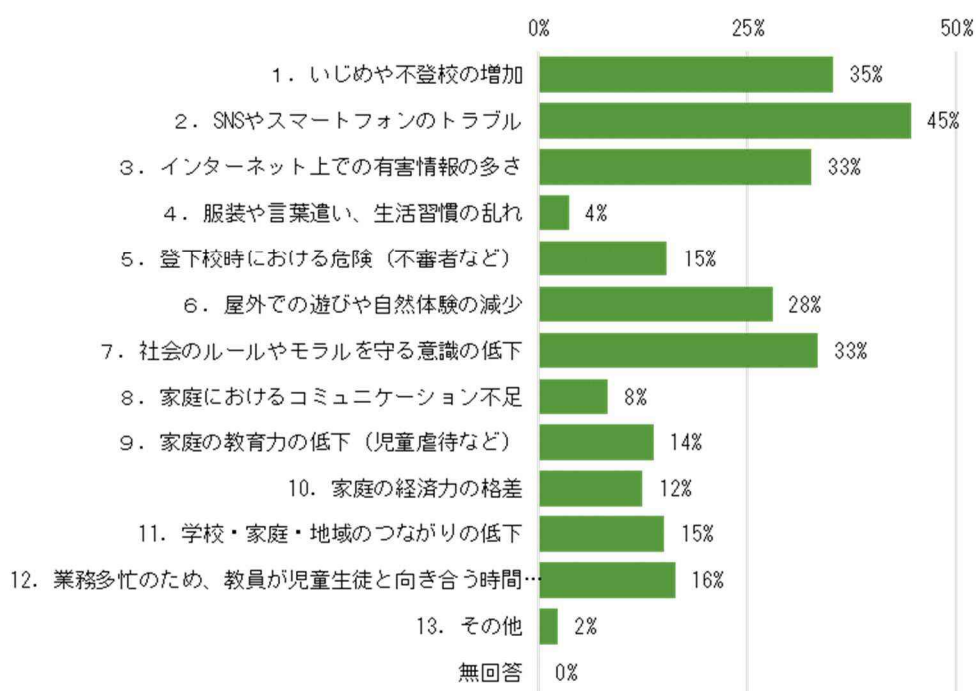
問 11 子ども達が成長していくうえで問題だと感じること

京田辺市の子ども達が成長していくうえで、最近、社会において特に問題だと感じることはどのようなことですか。(3つまで選択)

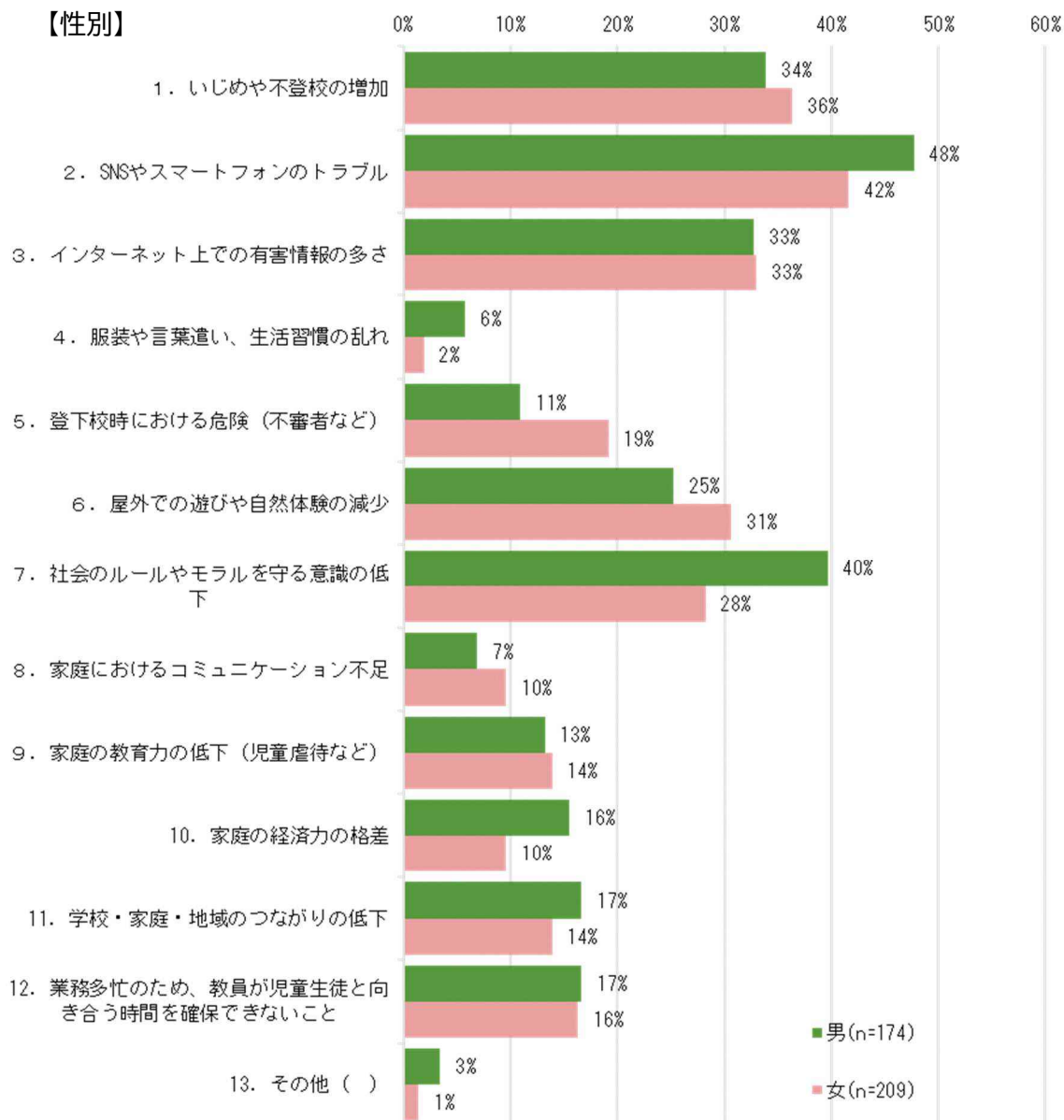
「SNS やスマートフォンのトラブル」(45%)が最も多かった。次いで、「いじめや不登校の増加」(35%)、「インターネット上での有害情報の多さ」(33%)、「社会のルールやモラルを守る意識の低下」(33%)、「屋外での遊びや自然体験の減少」(28%)が多くあげられた。

性別では、「社会のルールやモラルを守る意識の低下」は、男性がやや多かった。年代別では、「SNS やスマートフォンのトラブル」が30代以下で6割を超え特に多かった。

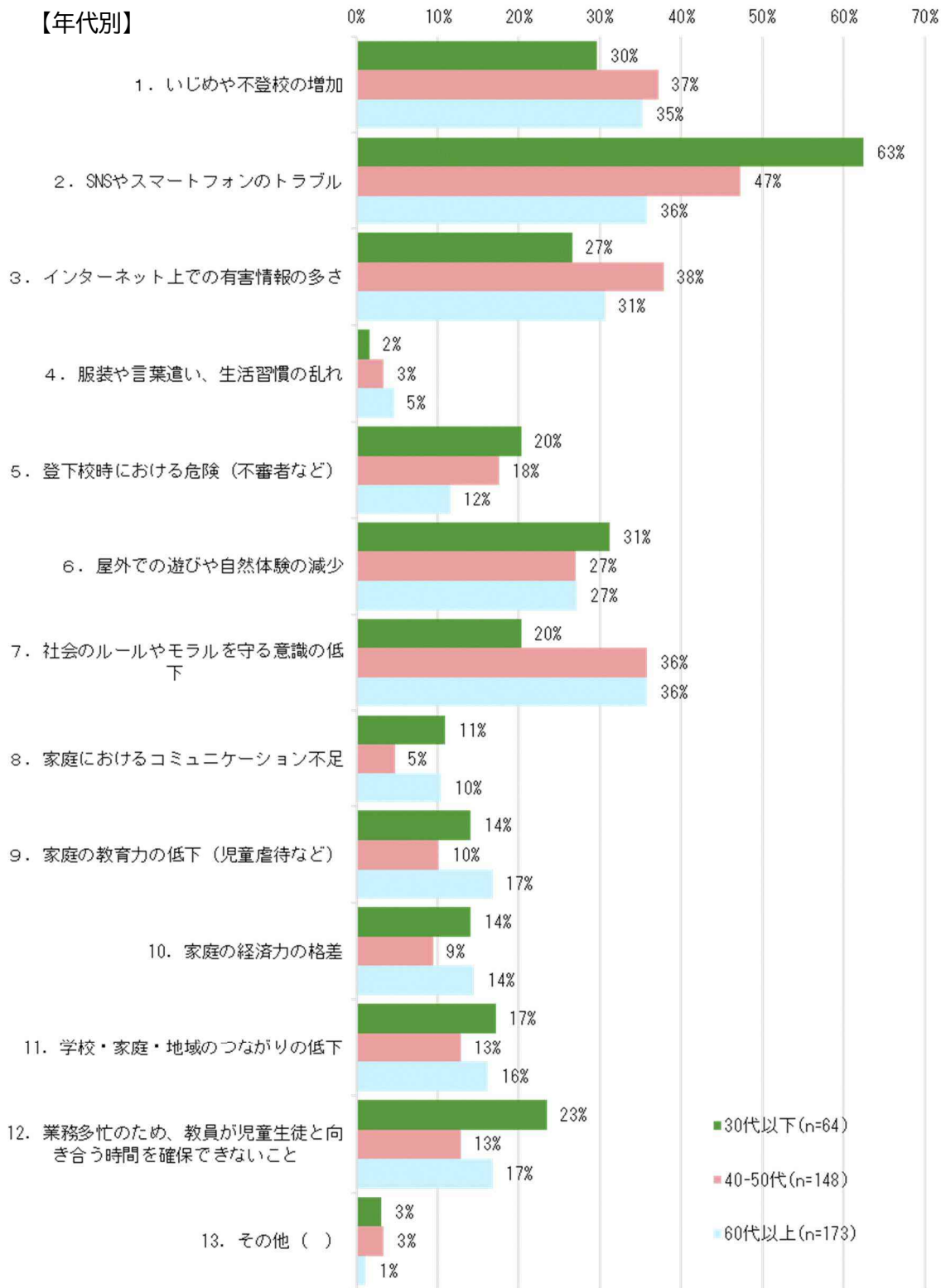
問 11 子ども達が成長していくうえで問題だと感じること (n=386)



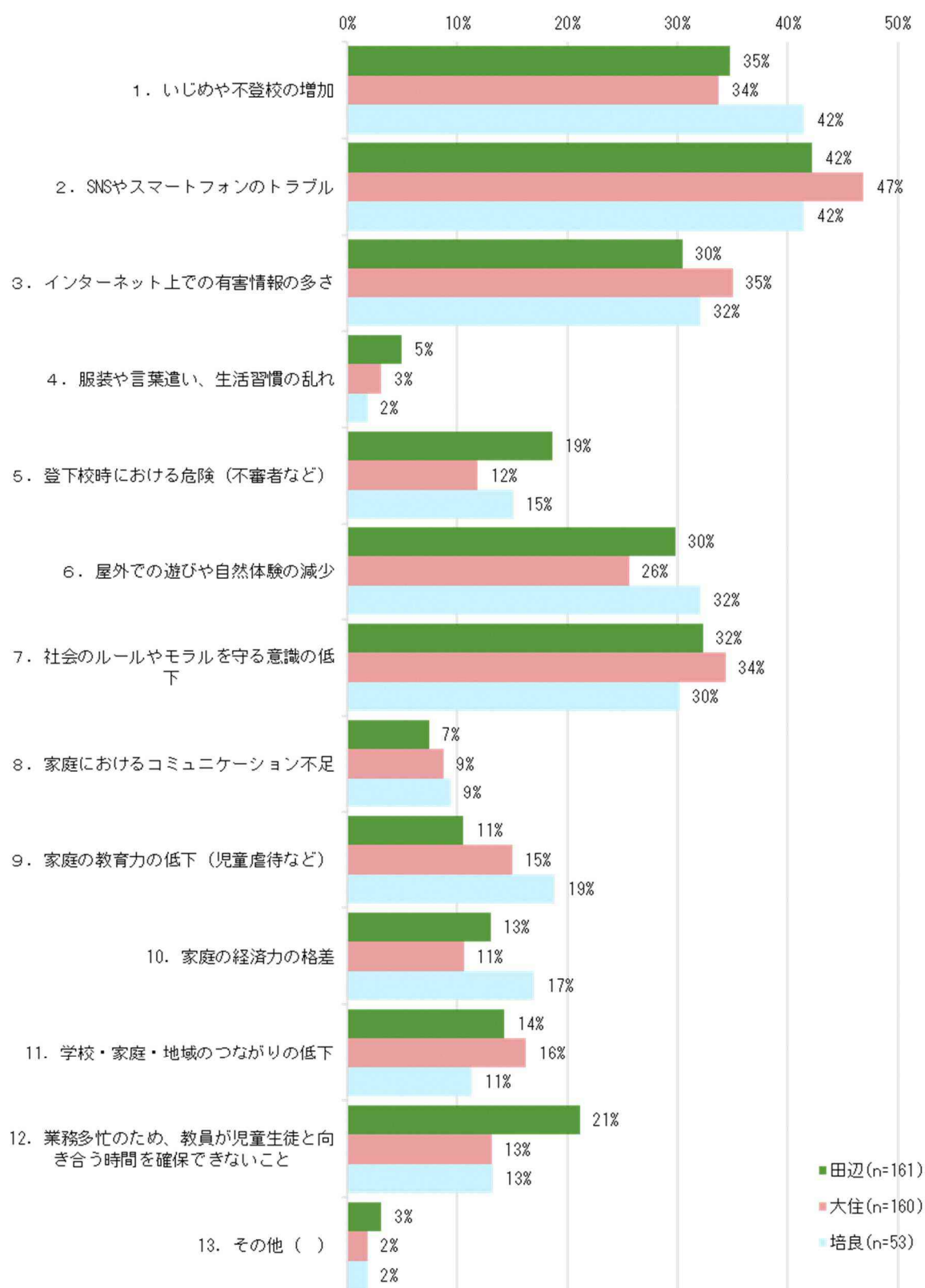
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



その他の記述内容としては、子どもの成長のために望まれること、教育環境や安心・安全についての記述がみられた。

【その他】

【子どもの成長のために望まれること】

- ・勉強も大切であるが、体験学習生活実習を通して体感、行動力、想像力を培う経験を。(たとえば玉露の町でもある京田辺市、茶つみ体験や野外活動、同志社大学の学生さんたちの参加も)
- ・子供の心の成長、ケア

【環境】

- ・一部地域の世帯数が急増していて、小中学校の生徒数が多すぎる。遊具や運動場が狭められたり、校外学習での制限などがあるのが不公平。土地の開発には段階を設けるなどして、増える世帯を制限するべき。

【安心・安全】

- ・売られている食品加工品すべて添加物まみれで、知らずに体調をくずす。非常に問題給食大丈夫か？！
- ・性被害

【情報】

- ・メディアが正確な情報を適切に伝えていない。

【教員の労働時間】

- ・教員の労働時間の長さが気になる。生徒目線でも働きすぎていると感じる。

【わからない】

- ・関係していないので何もわからない

問 12 将来どのような人になってほしいと思うか

あなたは京田辺市の子どもに対して、将来どのような人になってほしいと思いますか。(3つまで選択)※

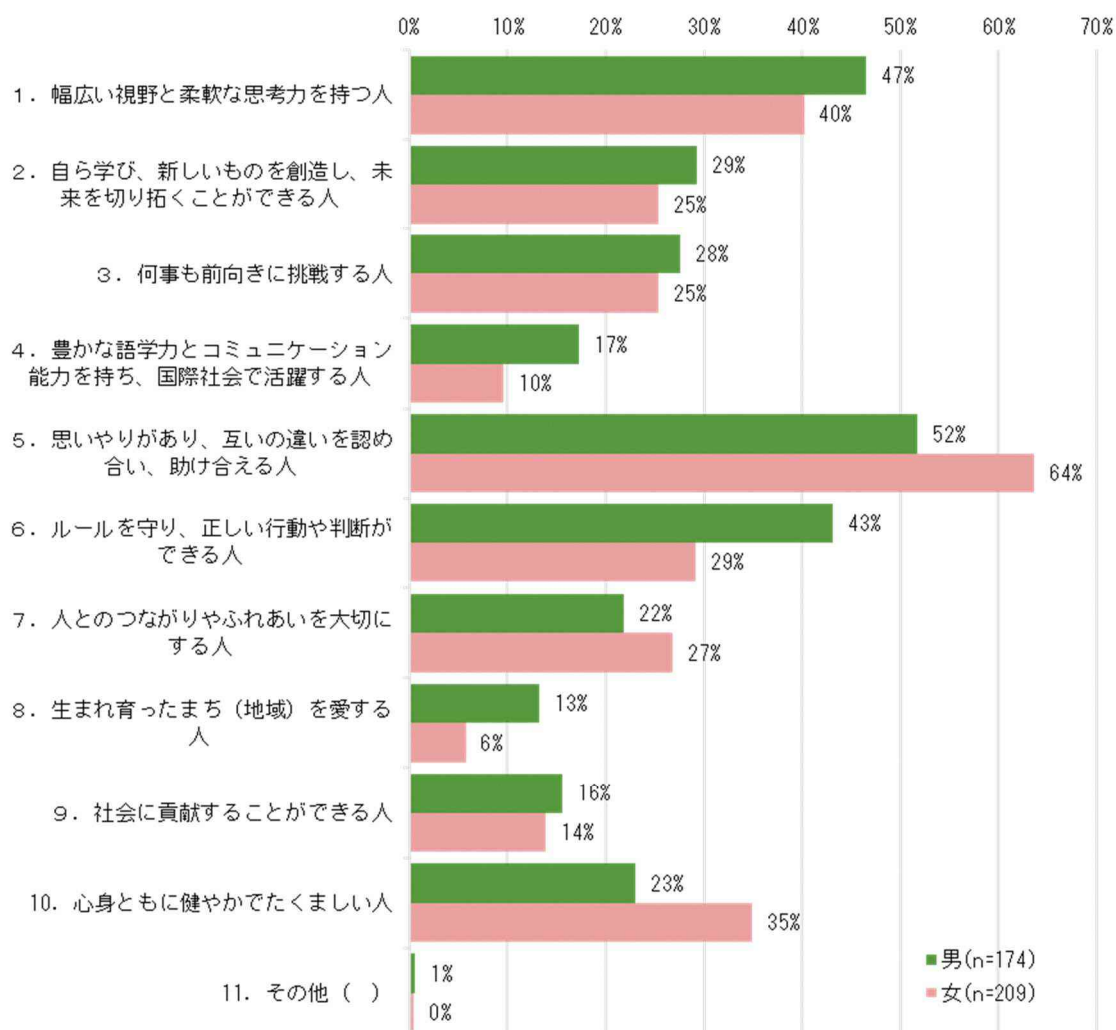
「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」(58%)が最も多かった。次いで、「幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」(43%)、「ルールを守り、正しい行動や判断ができる人」(35%)、「心身ともに健やかでたくましい人」(29%)が多くあげられた。

性別では、「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」と「心身ともに健やかでたくましい人」は、女性がやや多かった。

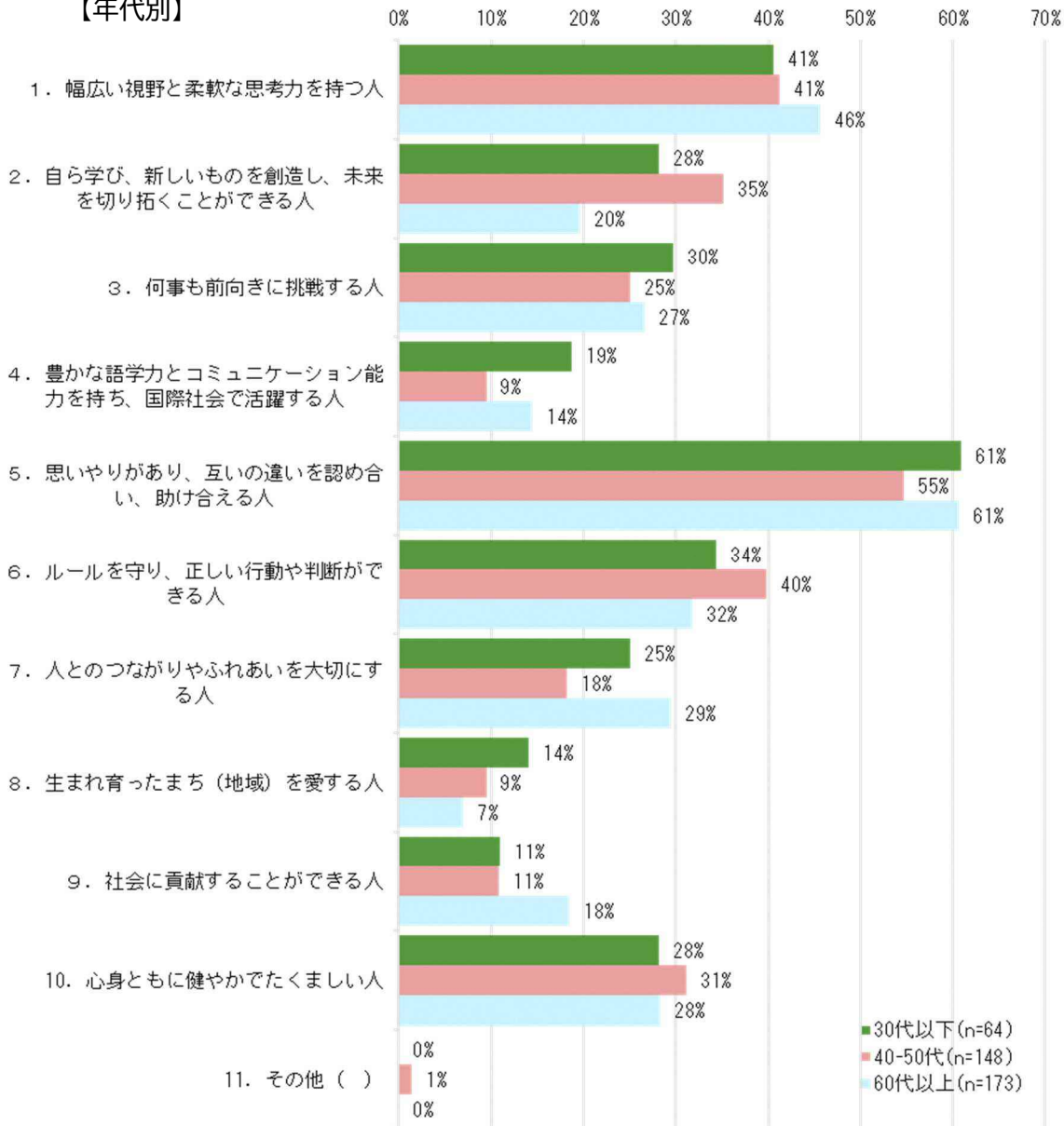
問 12 将来どのような人になってほしいと思うか (n=386)



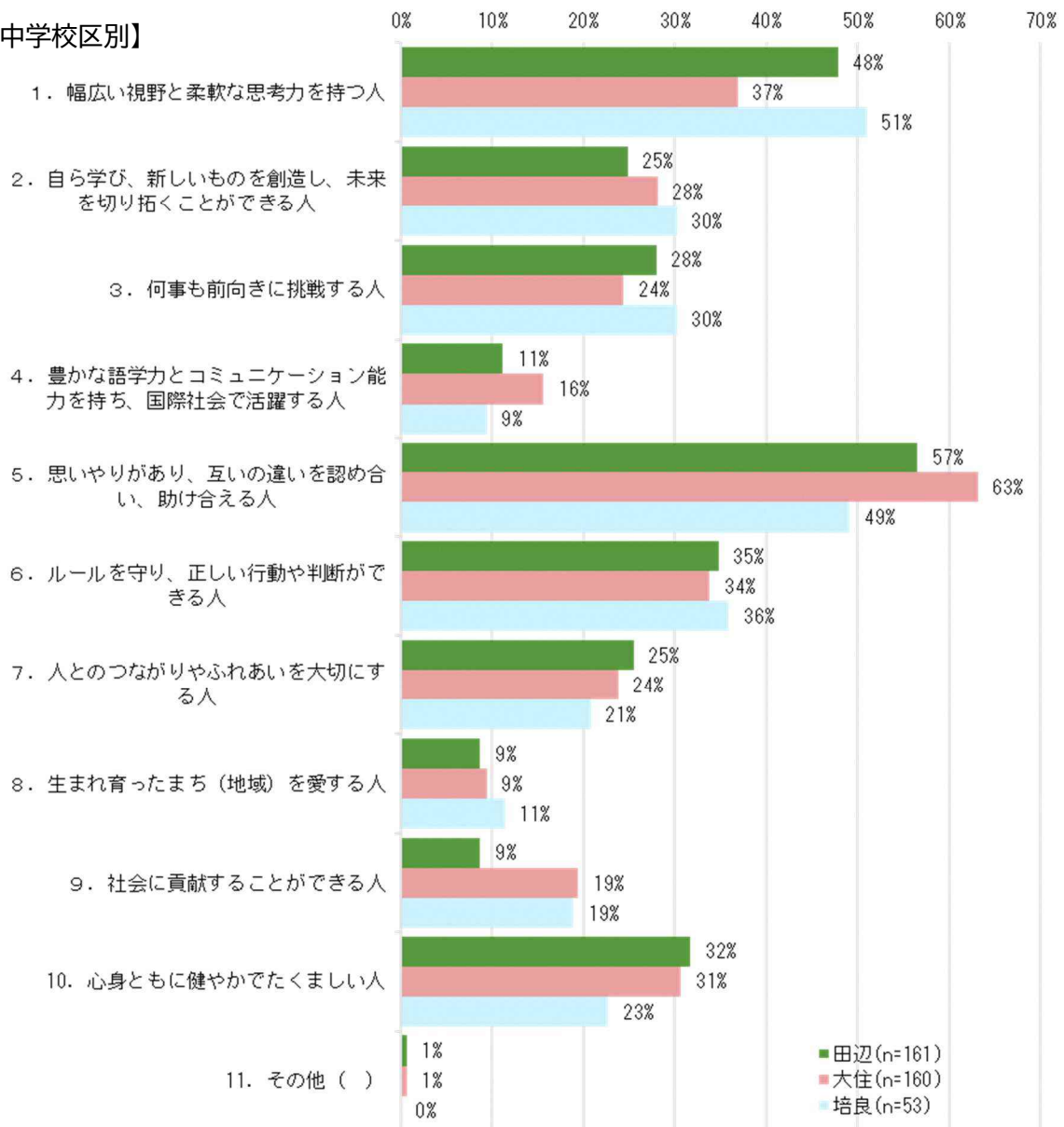
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



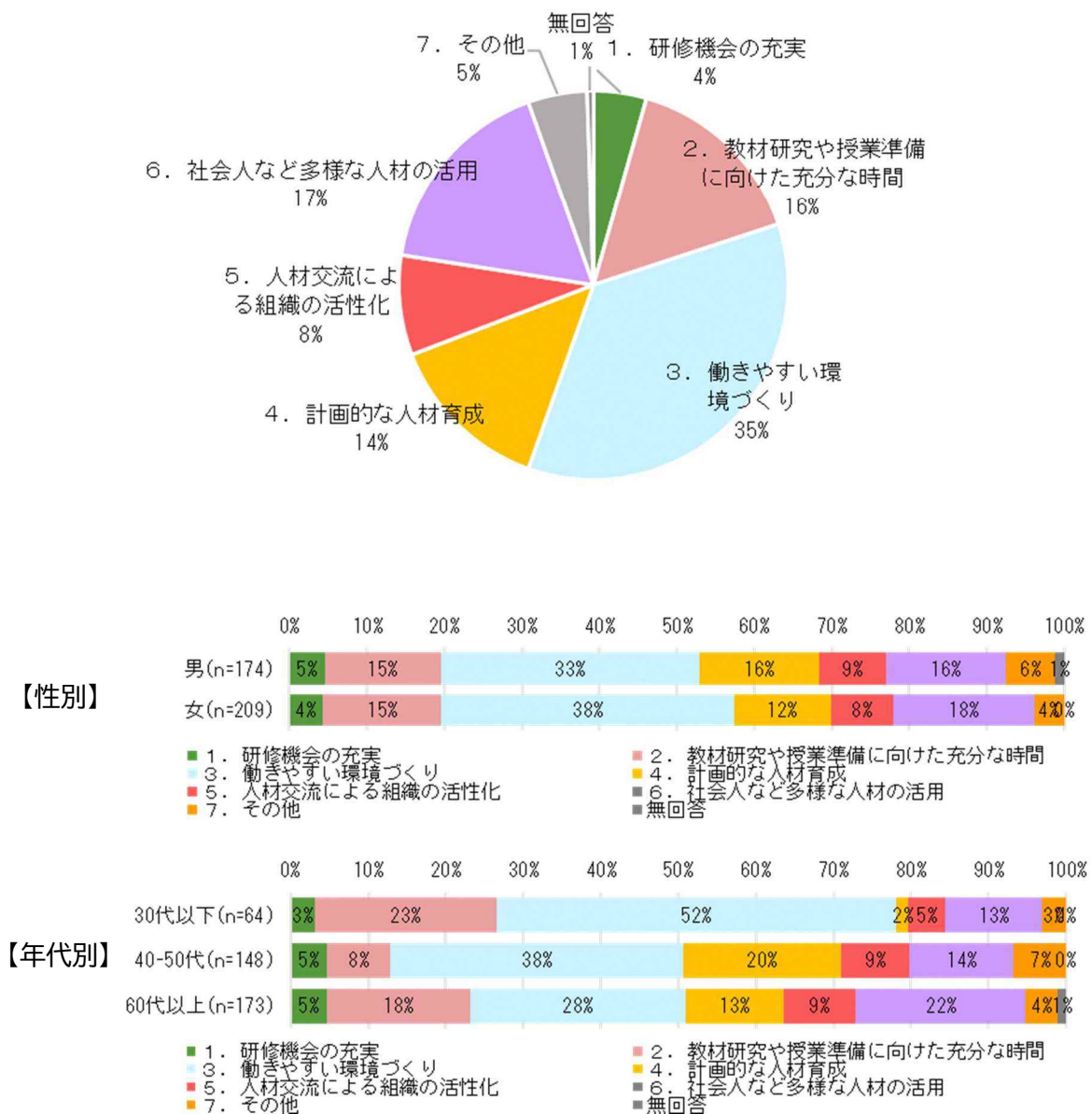
問 13 質の高い教育を提供するために学校や教員には何が必要か

質の高い教育を提供するために学校や教員には何が必要だと思いますか。(1つ選択)

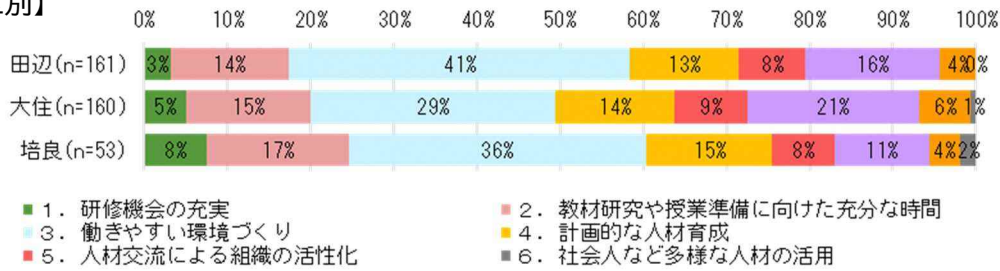
「働きやすい環境づくり」(35%)が最も多く、次いで、「社会人など多様な人材の活用」(17%)、「教材研究や授業準備に向けた十分な時間」(16%)、「計画的な人材育成」(14%)が多かった。

年代別では、「働きやすい環境づくり」は、30代以下で5割を超えて多くなっている。

問 13 質の高い教育を提供するために学校や教員には何が必要か (n=386)



【中学校区別】



その他の記述内容としては、教員の資質に関すること、教員の時間的・精神的ゆとりに関する記述が多くみられた。

【その他】

【教員の時間や精神的なゆとり】

- ・働きやすい環境づくり、に該当するかもしれませんが、教員の時間的、精神的なゆとりが必要だと思います。
- ・広い視野を持つ為のゆとりのある時間
- ・精神的ケア
- ・先生の休みがもう少しあったらいいと思う

【教員の増員】

- ・教員の増員(国、府、市からの補助)
- ・ICT や外国語活動など新しい内容に対応できる専門員の配置の充実

【教員の資質】

- ・差別のしない教育、どんな生徒でも認める心、どんな子供へもやる気にさせる声かけ、そういう事を先生には学んでほしい。残念な先生が多すぎます。
- ・教員に適した資質
- ・学歴が高くて高慢にならず、誰に対しても思いやりがある人。けんきよな人。
- ・適正な資質を持った教員による教育
- ・生徒を慮る気持ちで接する
- ・実際の社会の情勢をわかった上で常識的な考えを持って子どもと向き合える教育の育成(資質)
- ・人間性の向上
- ・人材の資質の向上

【場所や機会】

- ・知識ではなく自然に触れ、感情・感性を大切に。

【質問に対する意見】

- ・上記全て
- ・どれかひとつ、えらびにくい。
- ・難しい質問です。京田辺市現職の方々にアンケートを

【わからない】

- ・家に児童、生徒がいないのでわからない。

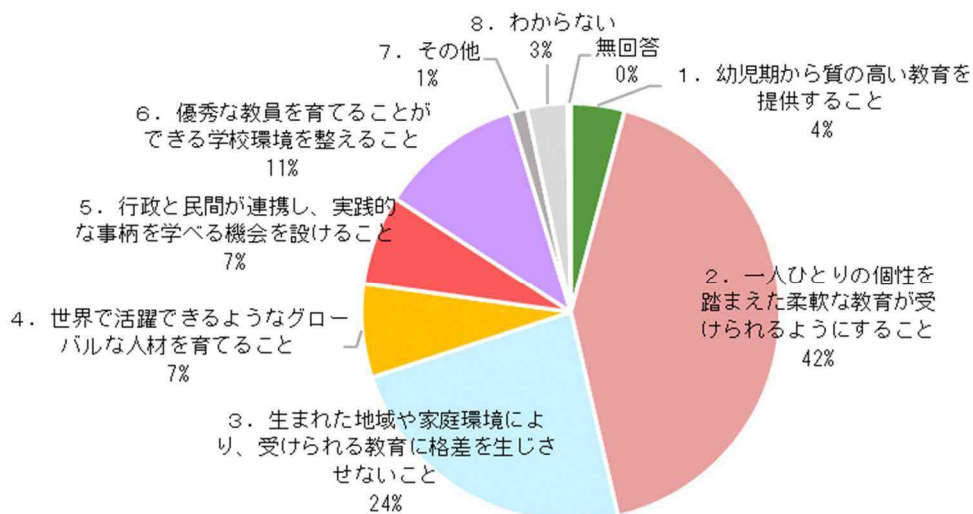
問 14 教育の質を高めしていくうえで、必要と思われること

「持続可能な開発目標(SDGs)」では、教育に関する目標として、「質の高い教育をみんなに」が掲げられており、一貫した質の高い教育を誰でも平等に受けられることを目指しています。主に学校教育において、今後、教育の質を高めしていくうえで、必要と思われることは何ですか。(1つ選択)

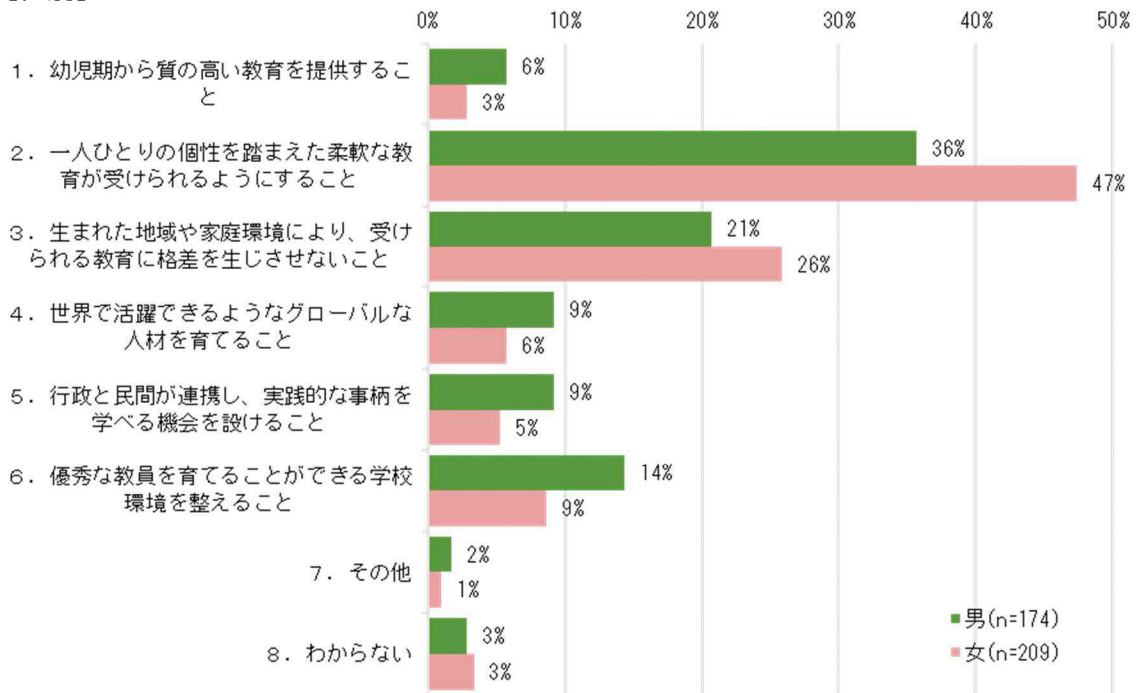
「一人ひとりの個性を踏まえた柔軟な教育が受けられるようにすること」(42%)が最も多く、次いで、「生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと」(24%)が多かった。

「一人ひとりの個性を踏まえた柔軟な教育が受けられるようにすること」は、性別では女性、年代別では30代以下、校区別では田辺中学校区が多かった。

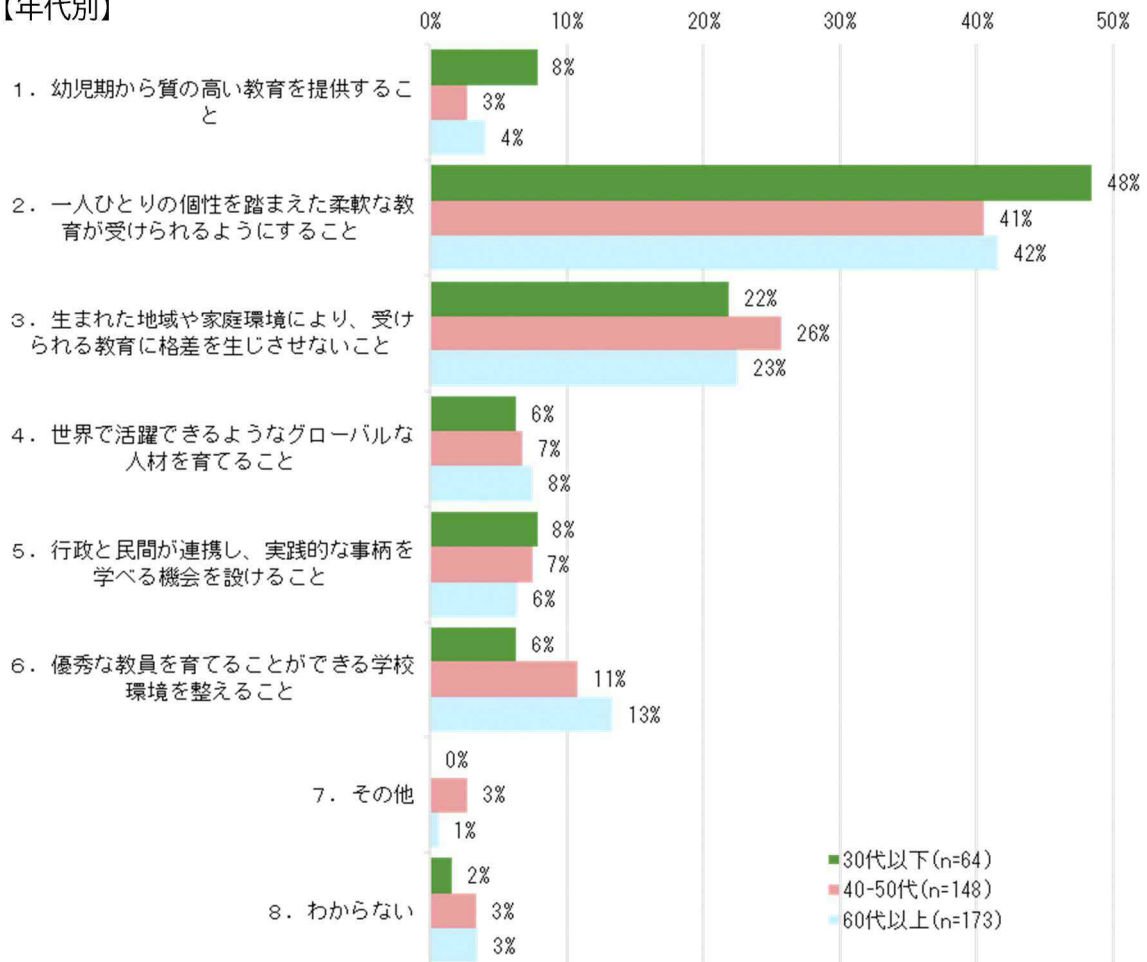
問 14 教育の質を高めしていくうえで、必要と思われること (n=386)



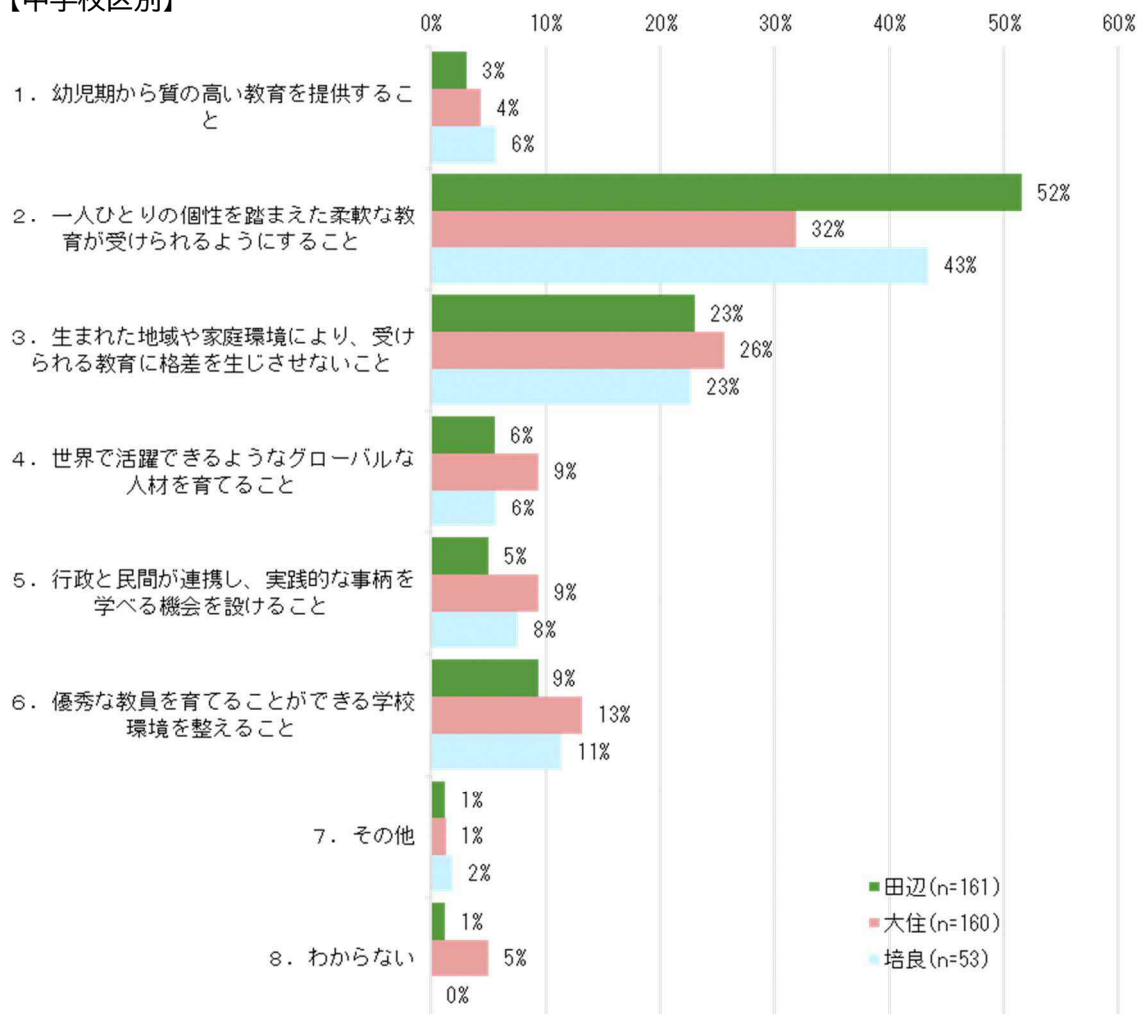
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【学校教育に求められること(多様性)について】

- ・しつけは家庭で、教育は学校で、2つのことを教えることは難しいと思う
- ・学校に求められることが多様化していると感じます。対応できるだけのマンパワーが必要だと思います。
- ・同上問13(知識ではなく自然に触れ、感情・感性を大切に。)
- ・1人1人の多様な教育など公教育で可能ですか？日本人はすでにグローバルでは戦えません。そんな教育を受けてきた人材がいらないのでは？幼児期から質の高い教育を受けることができるのは限られた一部の人だけではないですか？

【無償化】

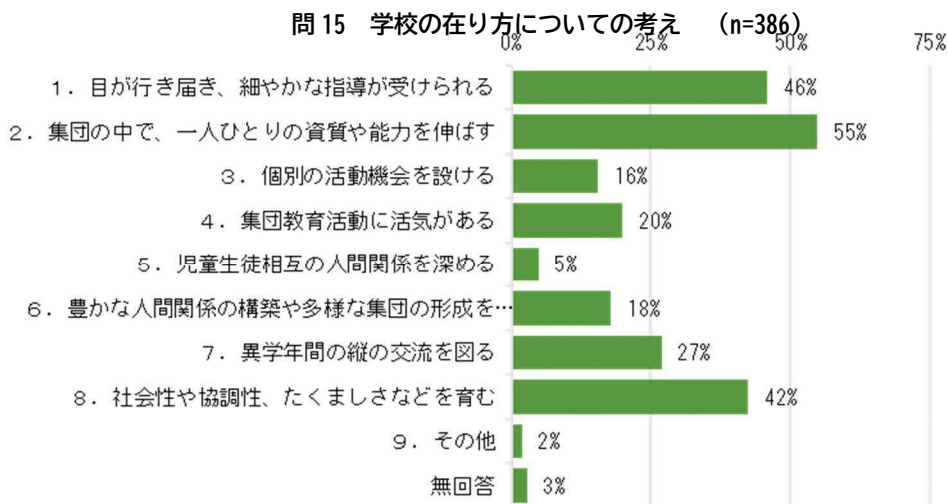
- ・教育の無しう化、特に大学、専門

問 15 学校の在り方についての考え

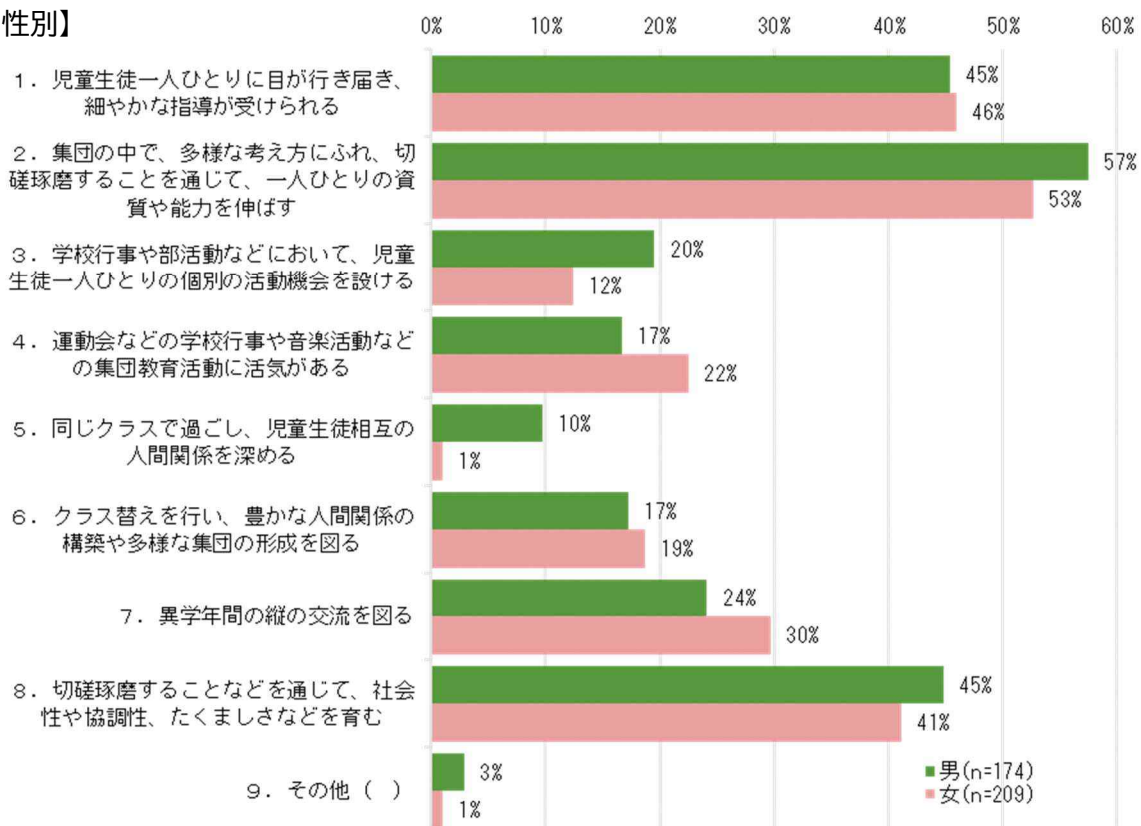
これからの京田辺市の学校の在り方について、あなたの考えに近いものはどれですか。(3つまで選択)

「集団の中で、多様な考え方にふれ、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばす」(55%)が最も多く、次いで、「児童生徒一人ひとりに目が行き届き、細やかな指導が受けられる」(46%)、「切磋琢磨することなどを通じて、社会性や協調性、たくましさなどを育む」(42%)が多かった。

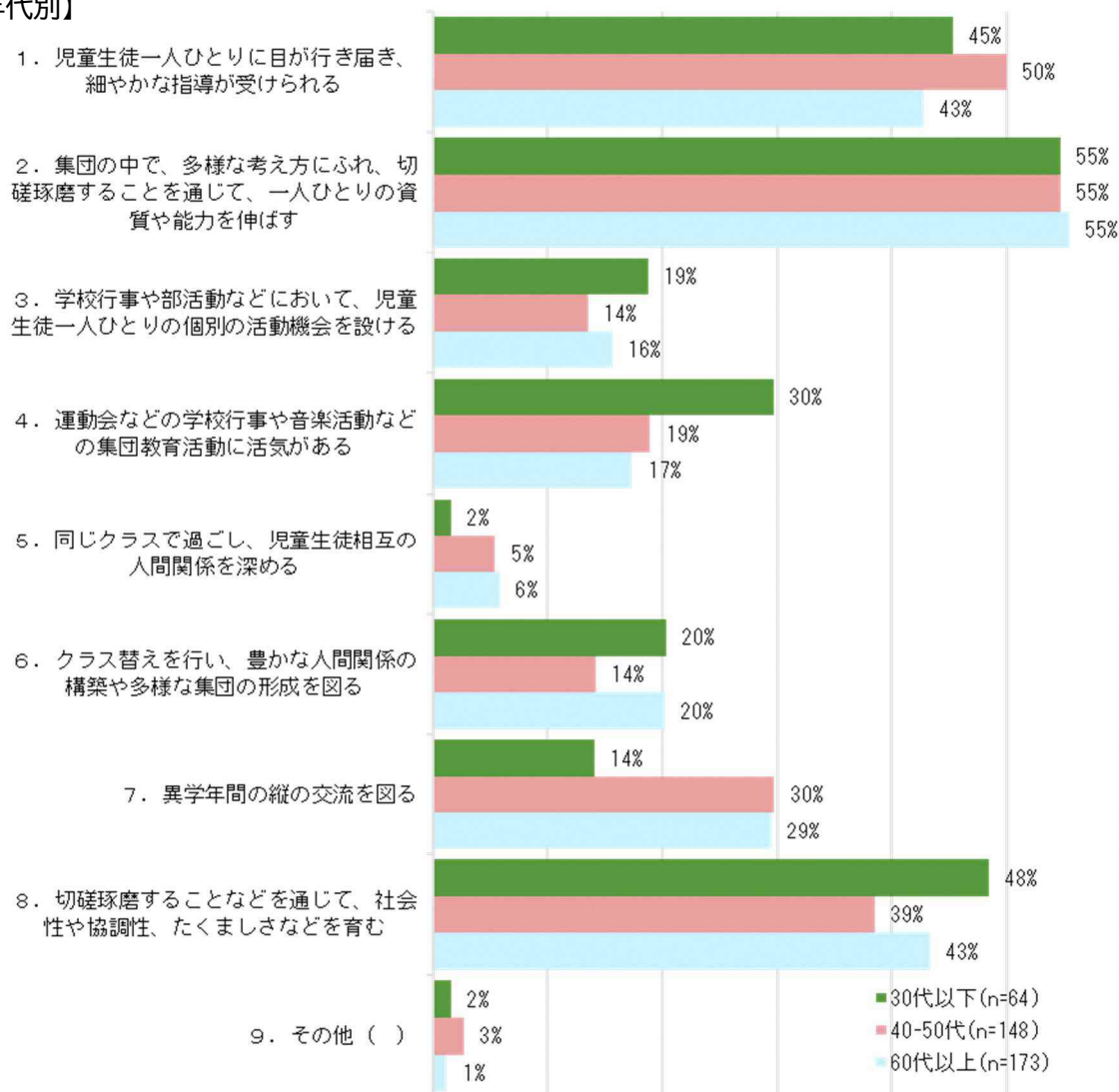
年代別では、30代以下で「運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に活気がある」がやや多く、「異学年間の縦の交流を図る」がやや少なかった。



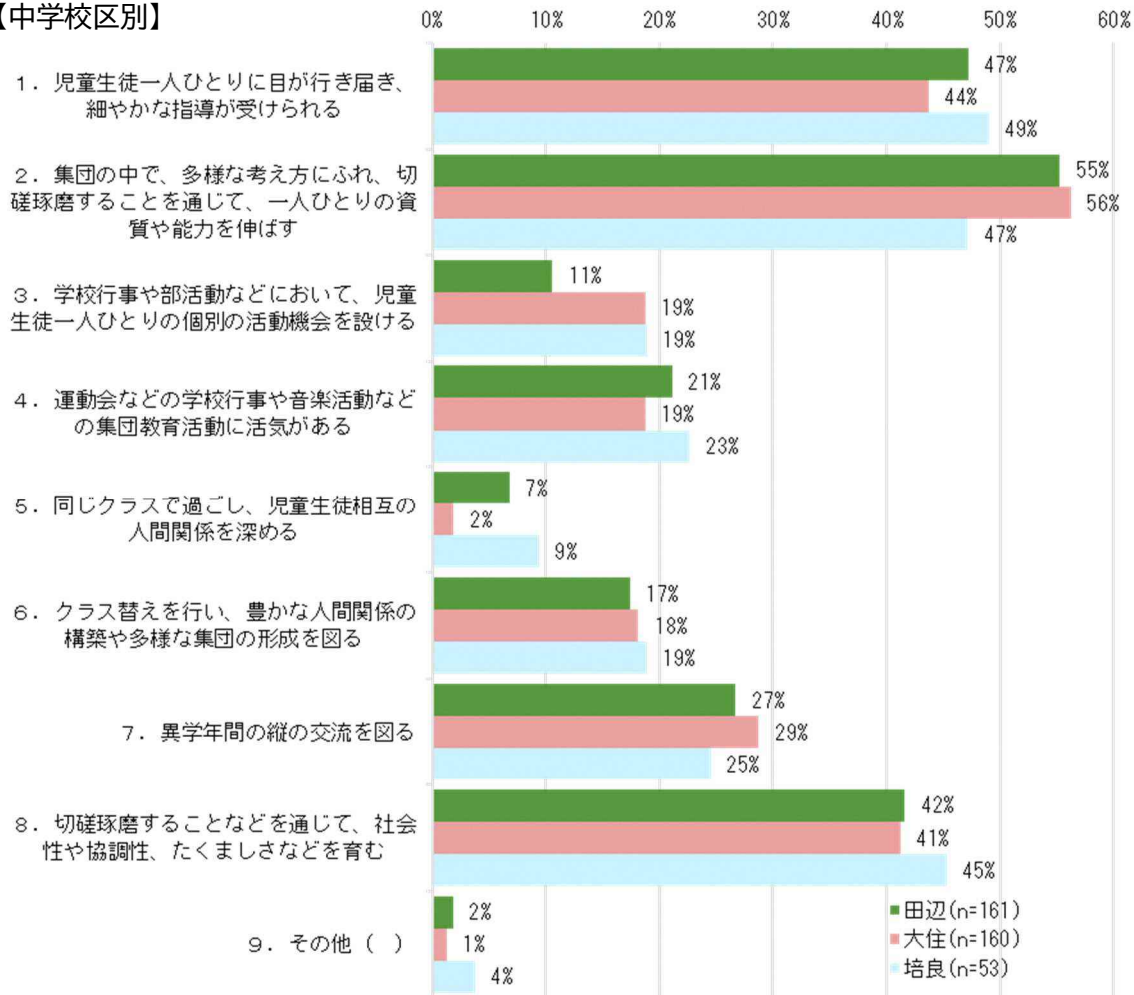
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【多様性】

・先生の数を増やし、もっと生徒をみてあげてほしい。頭のいい子だけを育てるのが教育ではないと思います。一人ひとり個性や性格、能力が違うことをわかってほしいですね。なのに結果しか見ていない先生が多いですね。

・現在の公教育はすでに限界なのでは？不登校、子供の自殺を止められず、皆同じ事をして同じように行動しなければ、集団にはいられない教育は軍隊の教育です。個性を伸ばすといいながら個性が有っては困るのでは？フリースクールにも公費を使い多様な教育をするべきです。

【その他意見】

・1位～最下位をはっきり順位づけ、努力した者が社会に出た時にも上に立つことを教えるべき

・学校に全てを求め過ぎ！親子で参加出来る環境であるか、時間が無くても子供の為に時間を作れるか。丸投げしていないか責任を押し付けてはいませんか？

・小人数制土曜日など大学生で教員志望の方との交流会

【わからない】

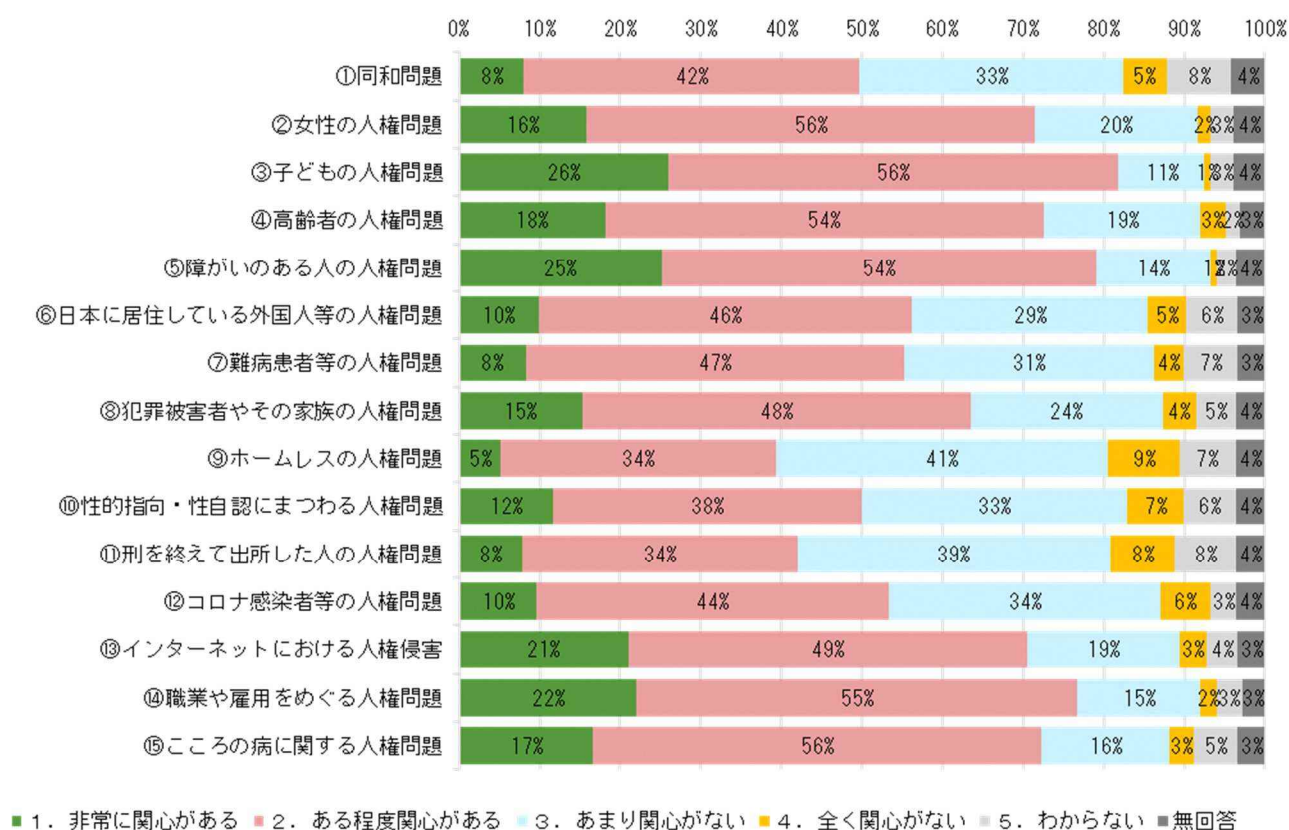
・わからない (2件)

IV 人権教育について

問 16 人権問題についてどの程度関心があるか※

あなたは次の人権問題についてどの程度関心がありますか。(1つ選択)

問 16 人権問題についてどの程度関心があるか (n=386)



アンケートの回答結果から、以下のように関心度を算出した。

回答肢	非常に興味がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない
点数	3	2	1	0

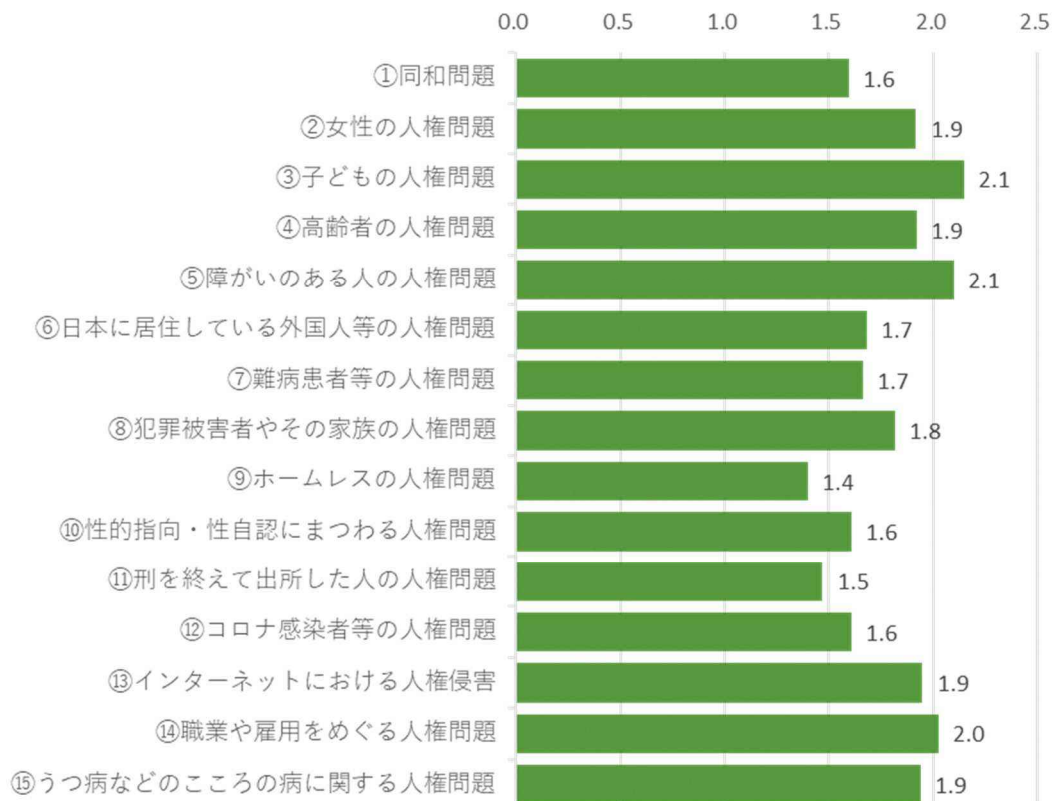
関心度の算出方法:各回答肢の回答数に上記点数を乗算し、その総和を回答数合計(「わからない」「無回答」は含まない)で除算することにより算出。

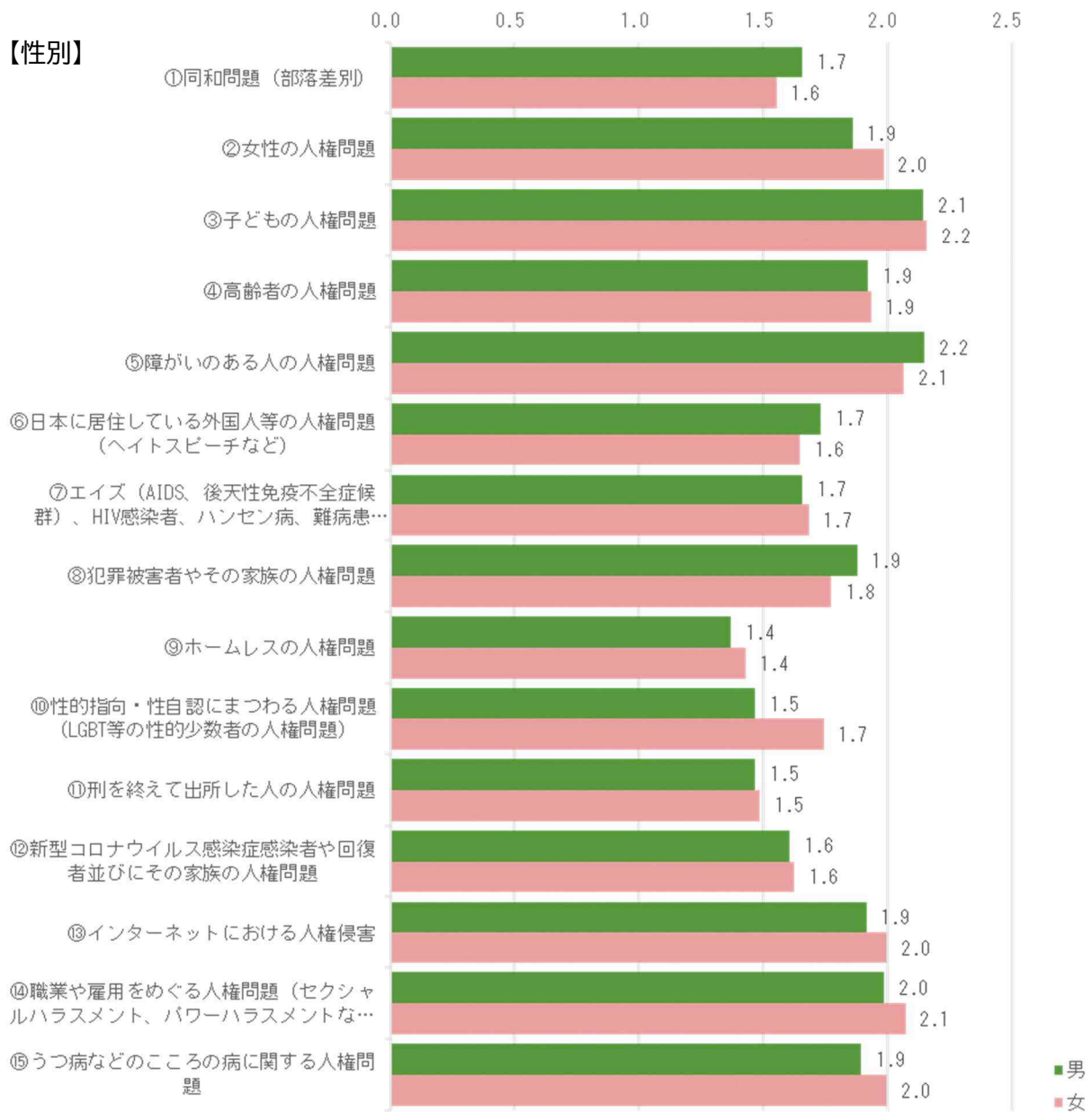
<例>

$$\{(非常に興味がある(人) \times 3) + (ある程度関心がある(人) \times 2) + (あまり関心がない(人) \times 1) + (全く関心がない(人) \times 0)\} \div \{(非常に興味がある(人)) + (ある程度関心がある(人)) + (あまり関心がない(人)) + (全く関心がない(人))\}$$

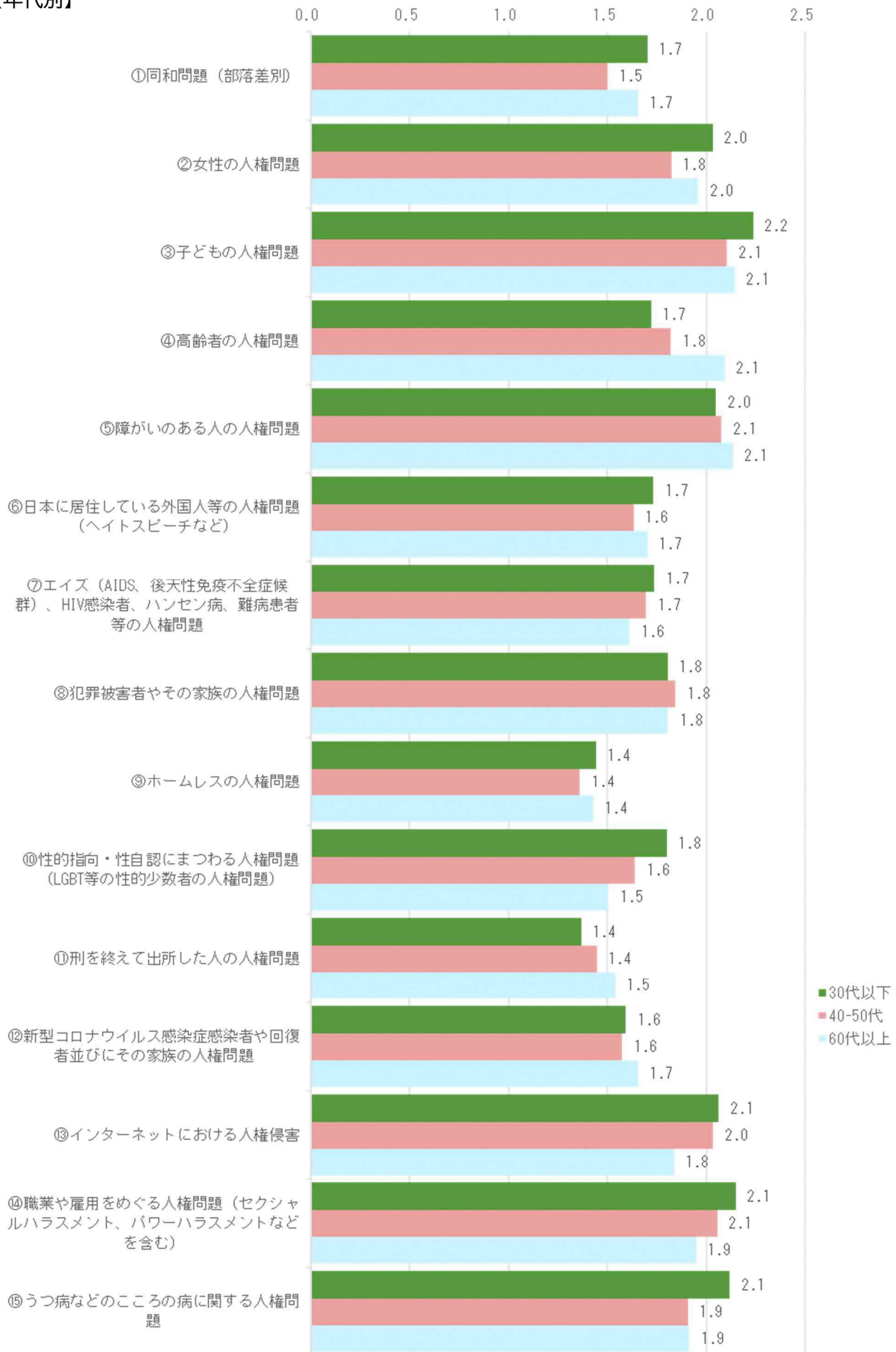
関心度が2以上と比較的高かったのは、③子どもの人権問題、⑤障がいのある人の人権問題、⑭職業や雇用をめぐる人権問題(セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどを含む)の項目だった。

性別では、⑩性的指向・性自認にまつわる人権問題(LGBT 等の性的少数者の人権問題)の関心度が女性の方がやや高かった。



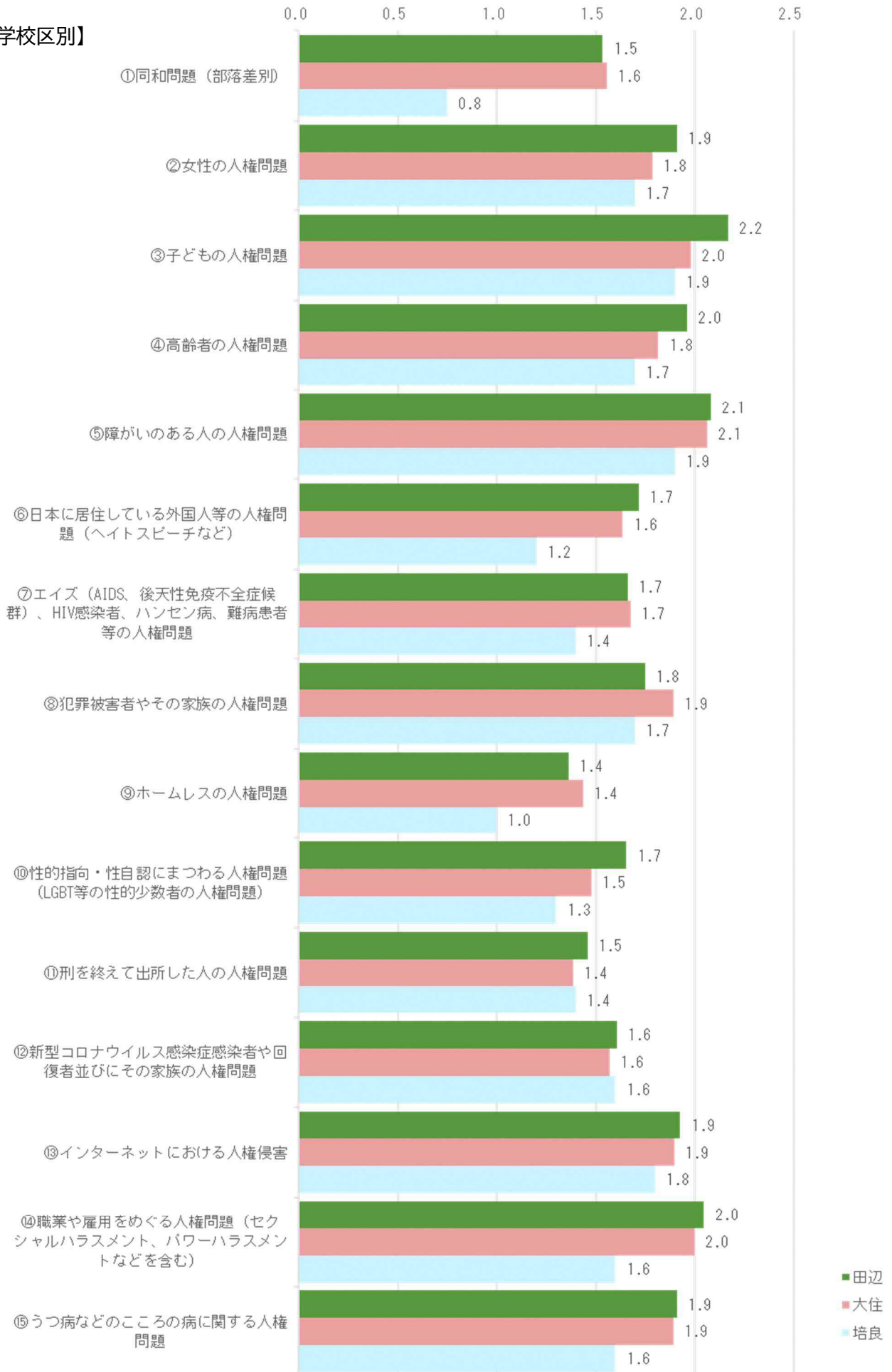


【年代別】



※中学校区別については、培良中学校区の回答数(10)が少なく、単純に比較できない。

【中学校区別】



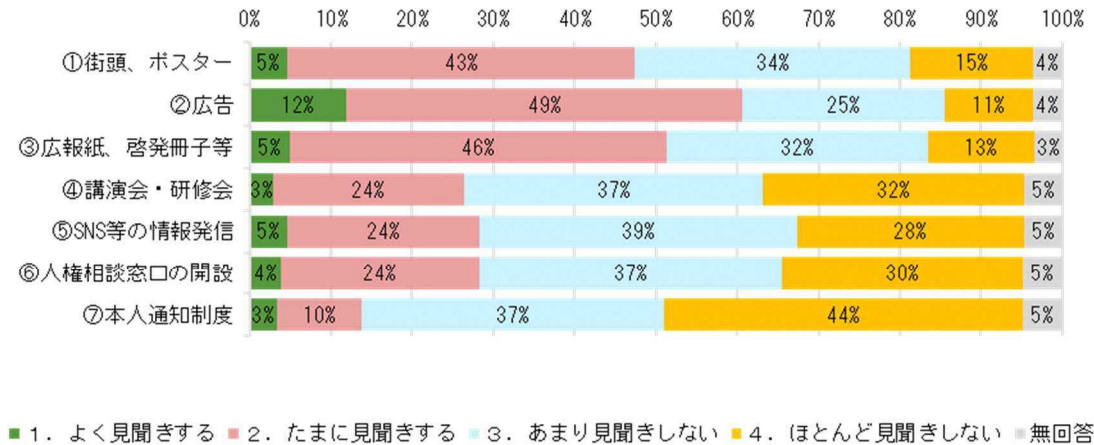
問 17 人権問題についての行政の取組について見聞きしたことはあるか

人権問題の解決に向けた行政の取組みについて見聞きしたことはありますか。(1つ選択)※

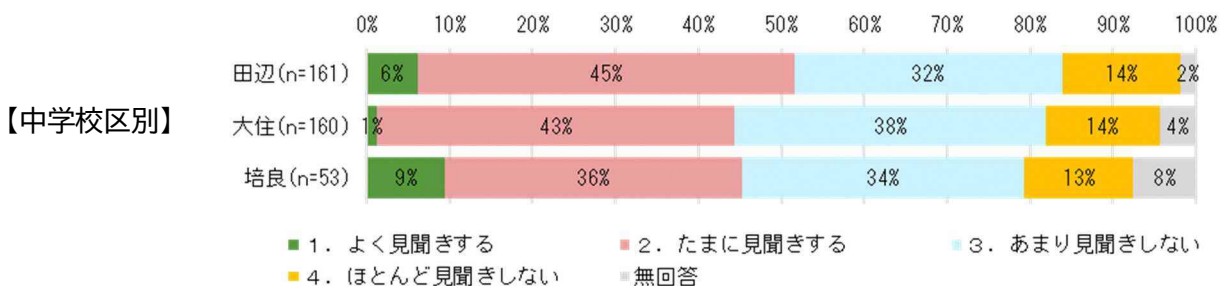
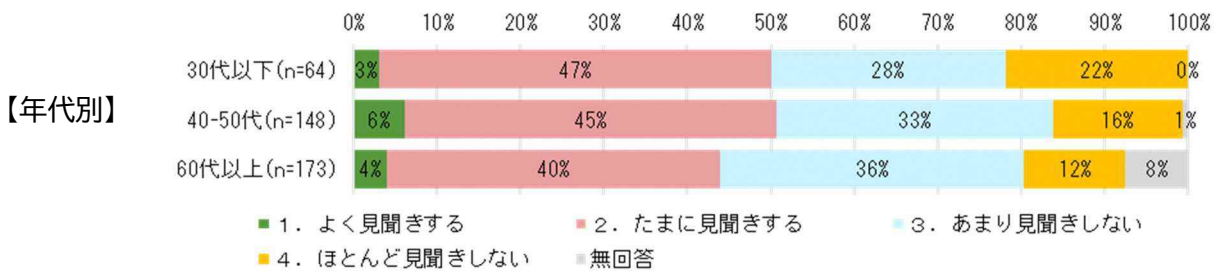
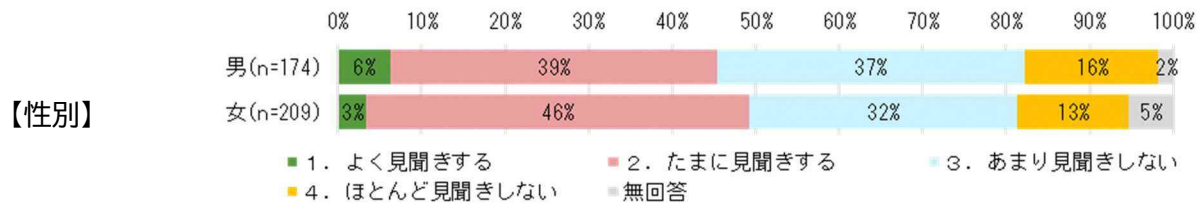
「よく見聞きする」「たまに見聞きする」を合わせると、「新聞・テレビ・ラジオによる広告」、「広報紙、啓発冊子、教育教材」、「街頭での啓発や啓発ポスターの掲示」の順で、認知度が高かった。

「ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ラインによる情報発信」は、若い年代ほど認知度が高くなっている。「人権相談窓口の開設」は、60代以上で認知度が低くなっている。

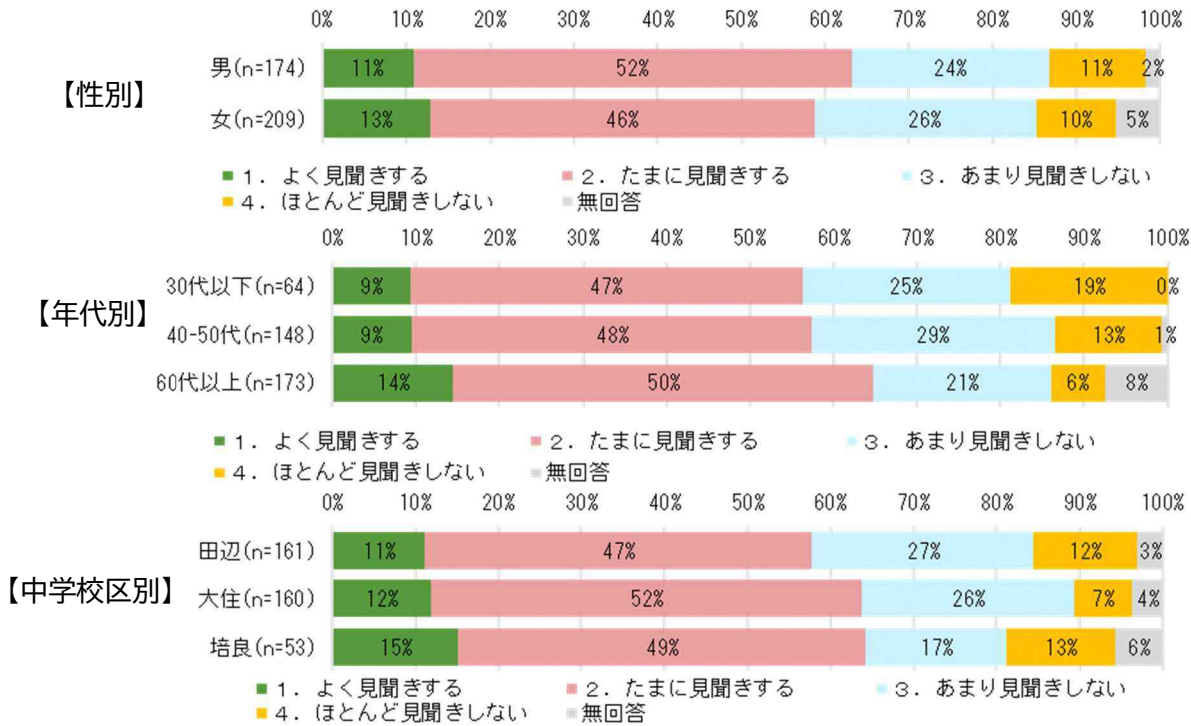
問 17 人権問題についての行政の取組について見聞きしたことはあるか (n=386)



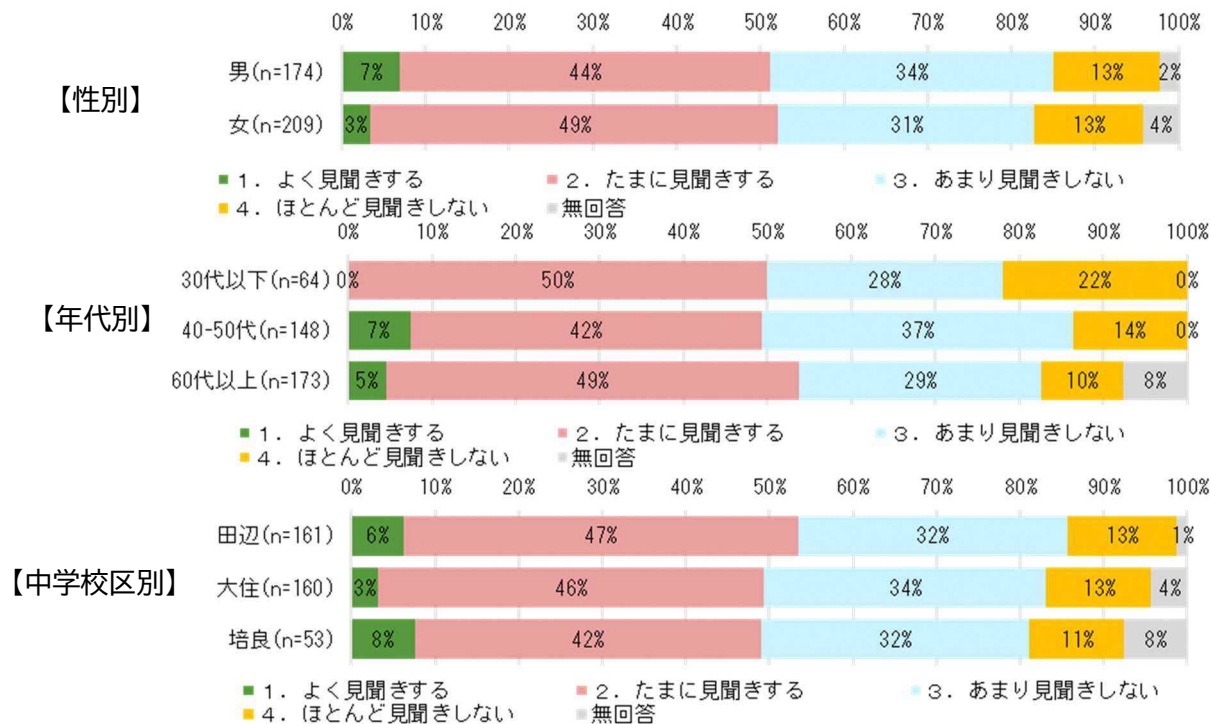
①街頭での啓発や啓発ポスターの掲示



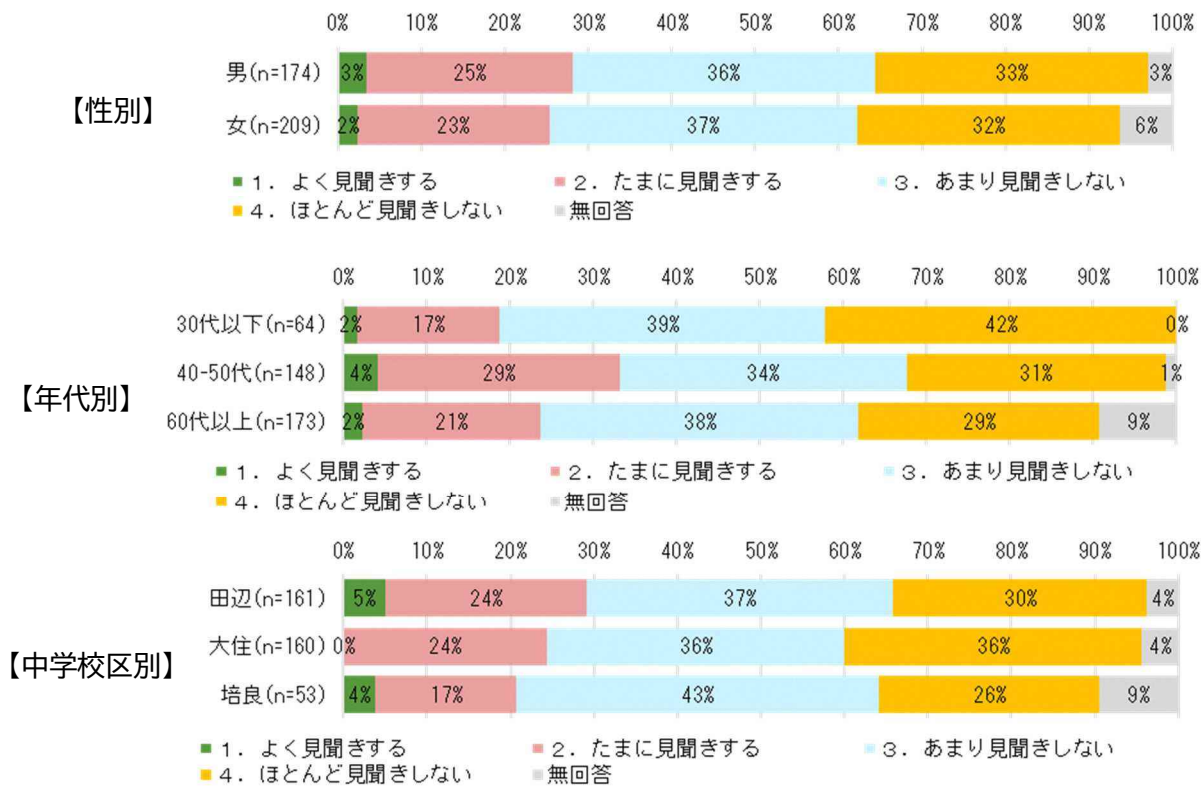
②新聞・テレビ・ラジオによる広告



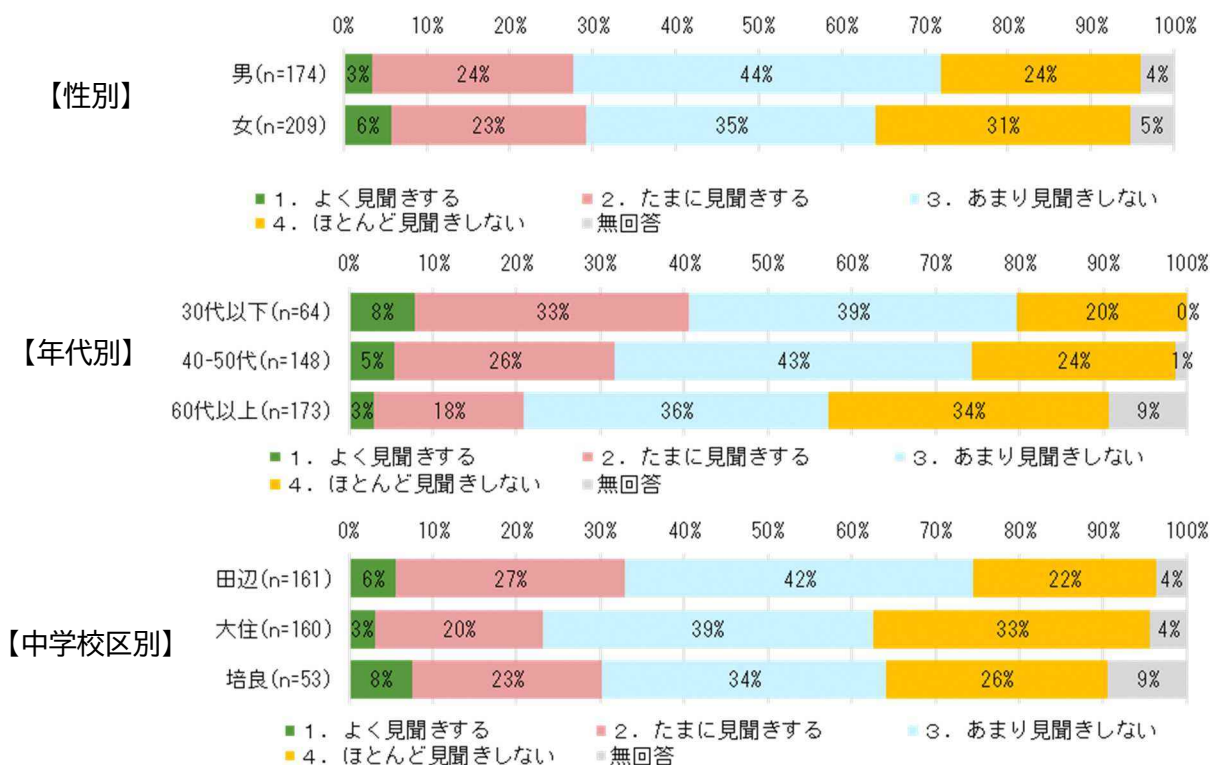
③広報紙、啓発冊子、教育教材



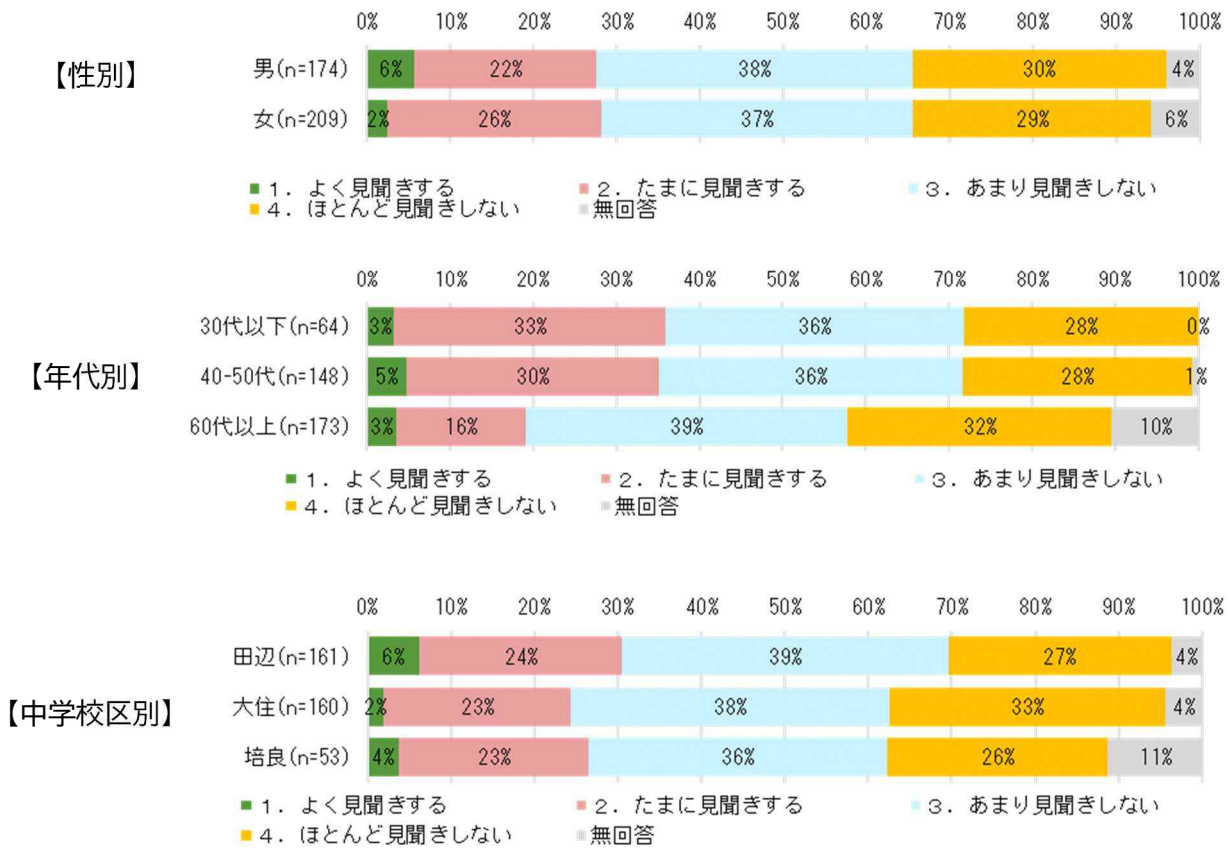
④講演会・研修会



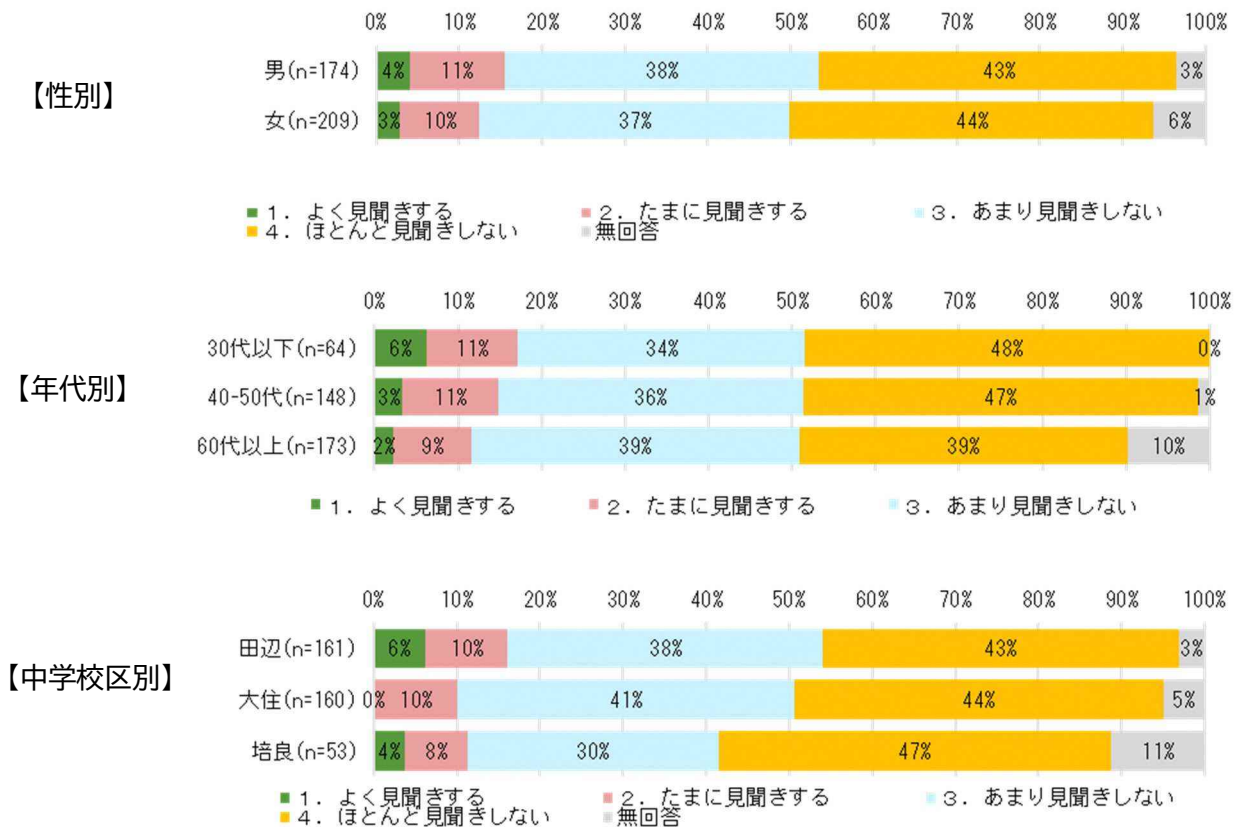
⑤ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ラインによる情報発信



⑥人権相談窓口の開設



⑦戸籍謄本や住民票を第三者に交付した時に事前に登録した本人にお知らせする制度(本人通知制度)



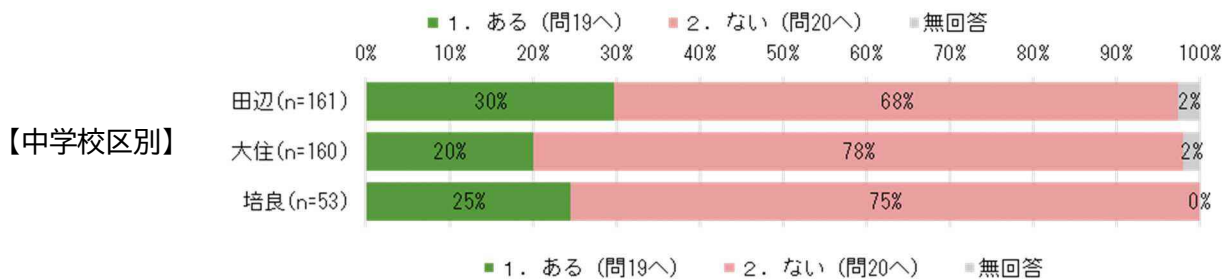
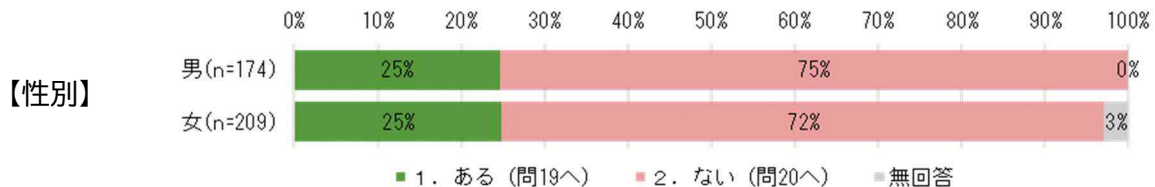
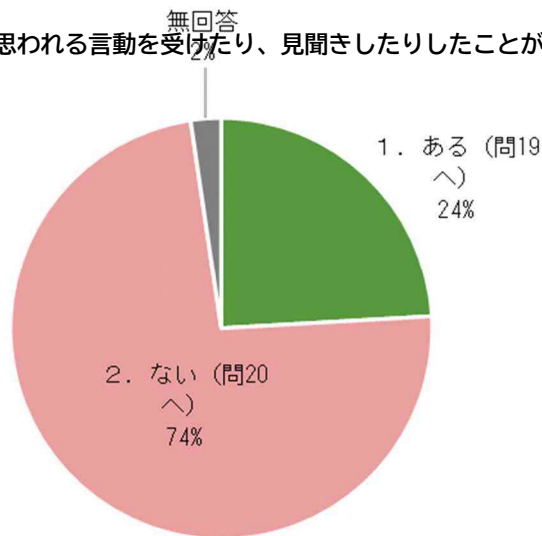
問 18 最近人権上問題と思われる言動を受けたり、見聞きしたりしたことがあるか

あなたは最近5年間に人権上問題と思われる言動を受けたり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。(1つ選択)

「ない」が多数で 74%、「ある」は 24%だった。

「ある」は、30 代以下と 40～50 代でともに 31%で多くなっている。

問 18 最近人権上問題と思われる言動を受けたり、見聞きしたりしたことがあるか (n=386)



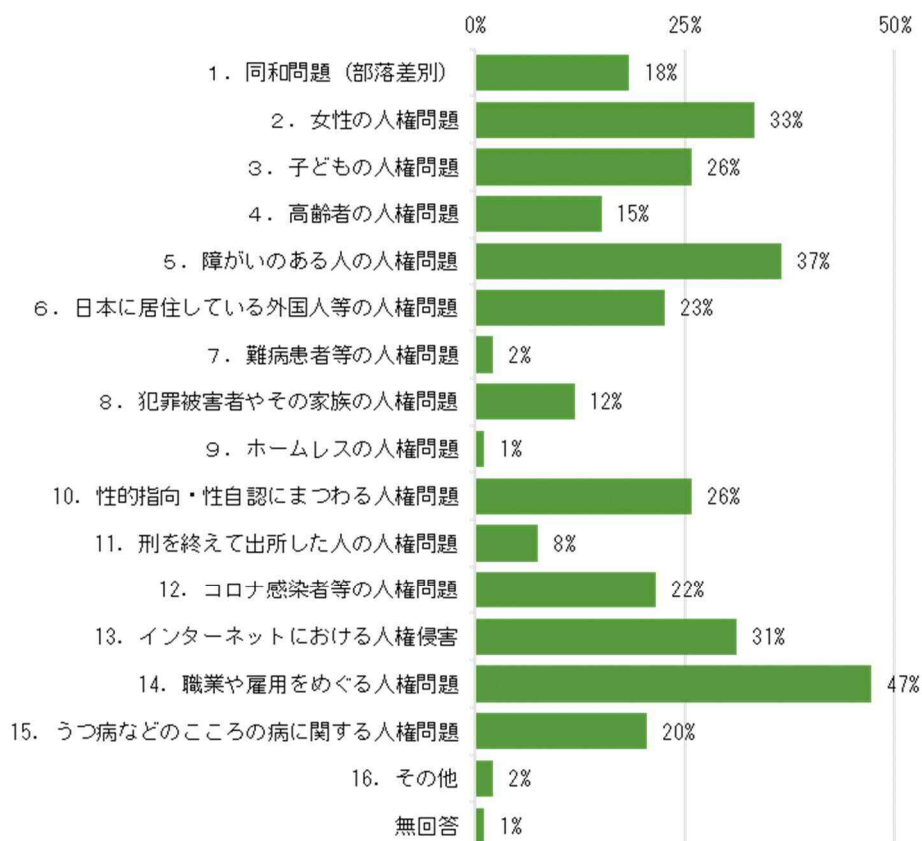
問 19 その内容はどの人権問題に関するものか

問 18 で「1 ある」を選択した方で、その内容は以下のどの人権問題に関するものでしたか。(あてはまるもの全て選択)※

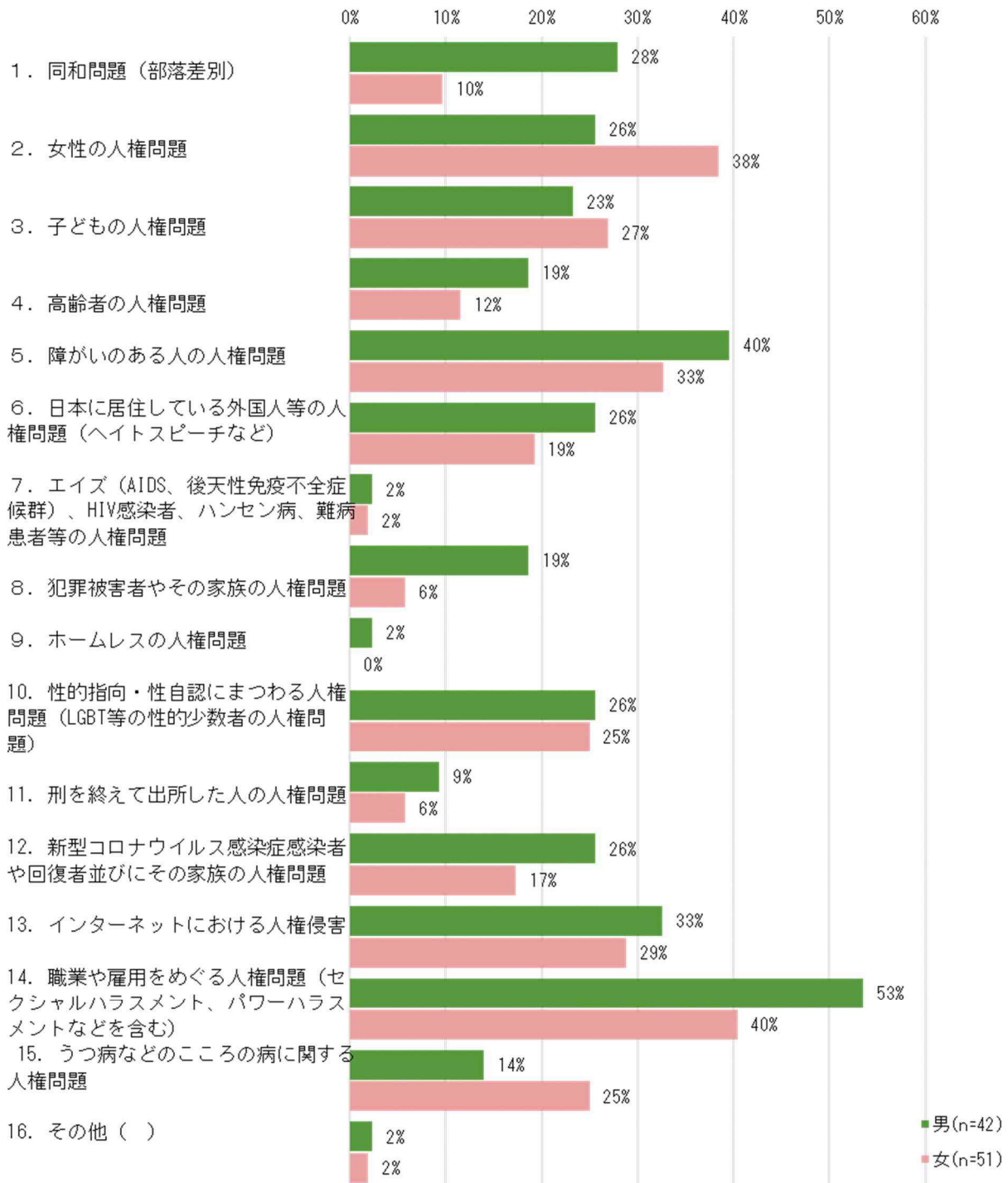
「職業や雇用をめぐる人権問題(セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどを含む)」(47%)が最も多く、次いで「障がいのある人の人権問題」(37%)、「女性の人権問題」(33%)、「インターネットにおける人権侵害」(31%)が多かった。

性別では、「女性の人権問題」と「うつ病などのこころの病に関する人権問題」は女性の方が多く、「同和問題(部落差別)」、「犯罪被害者やその家族の人権問題」、「職業や雇用をめぐる人権問題(セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどを含む)」は男性の方が多かった。

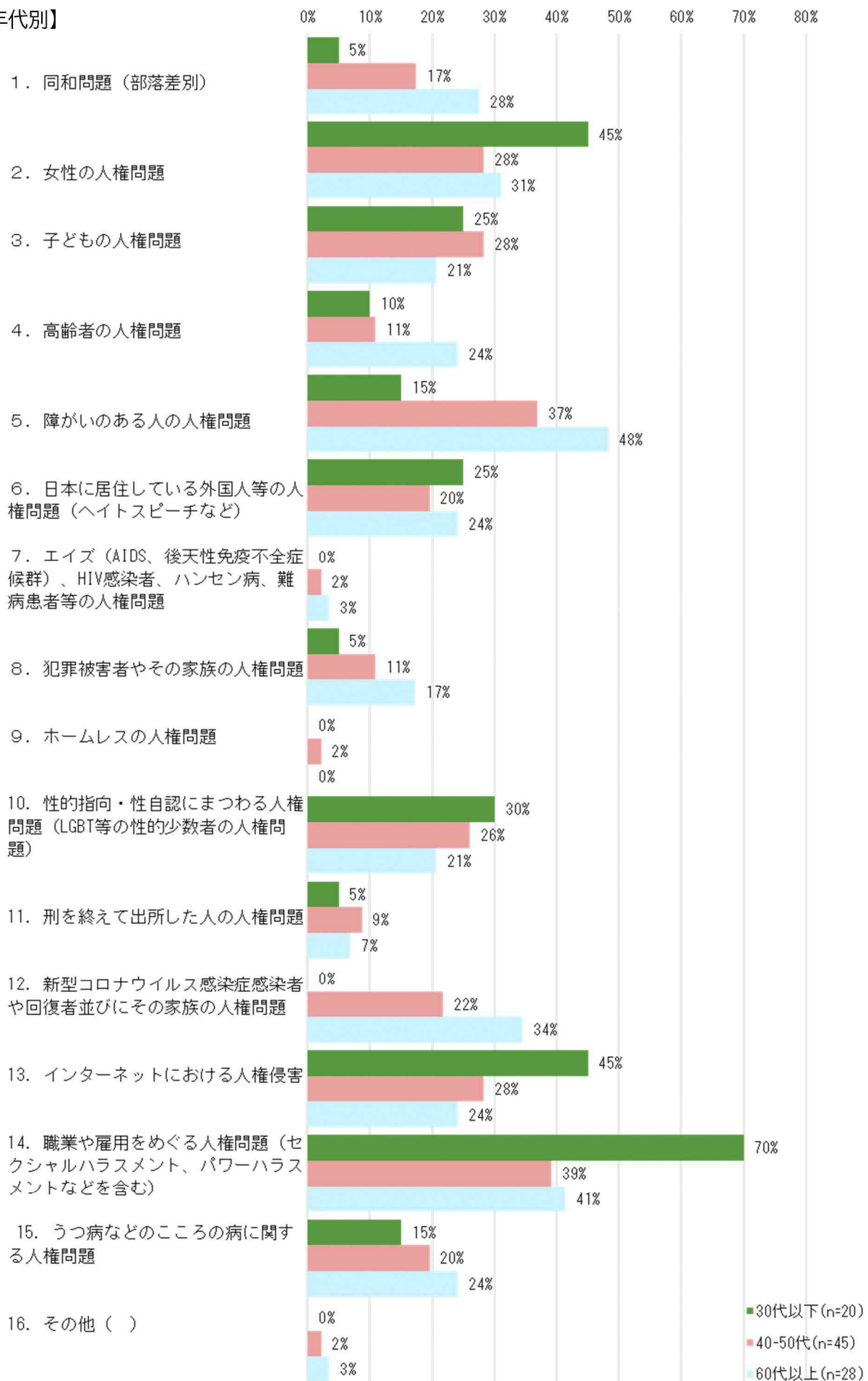
問 18 最近人権上問題と思われる言動を受けたり、見聞きしたりしたことがあるか (n=93)



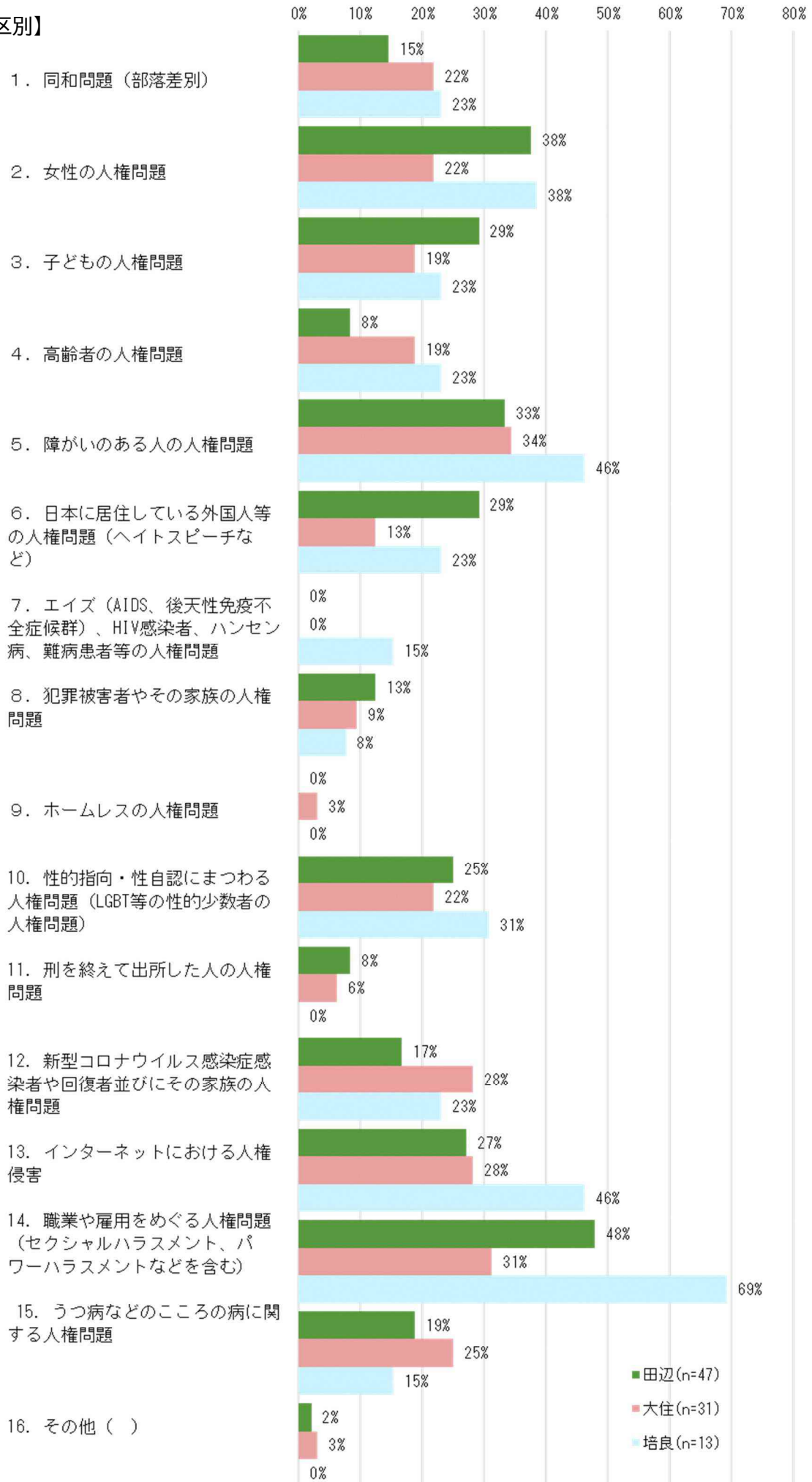
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

- ・外国人から日本人への差別的言動
- ・宗教
- ・職場での差別
- ・コロナの予防接種における人権侵害

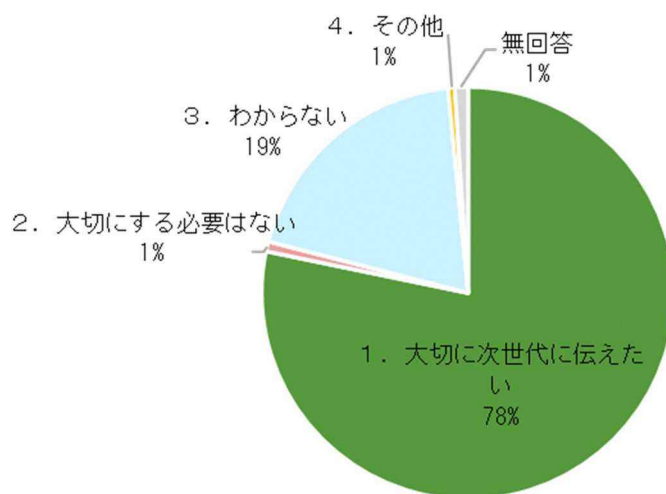
V 市の歴史や文化財について

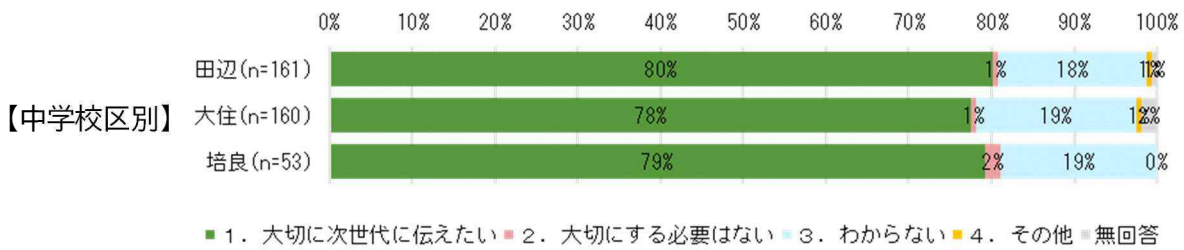
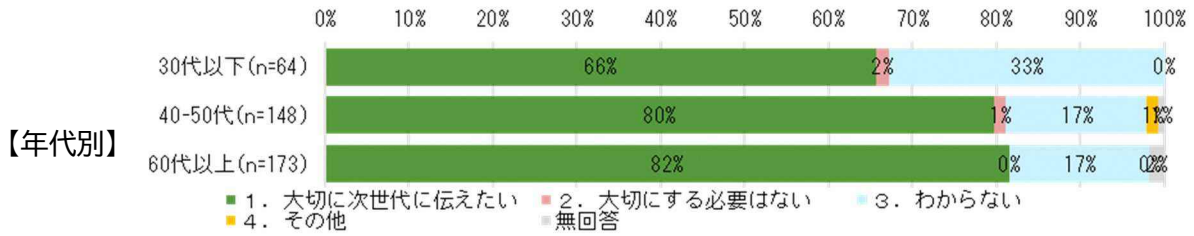
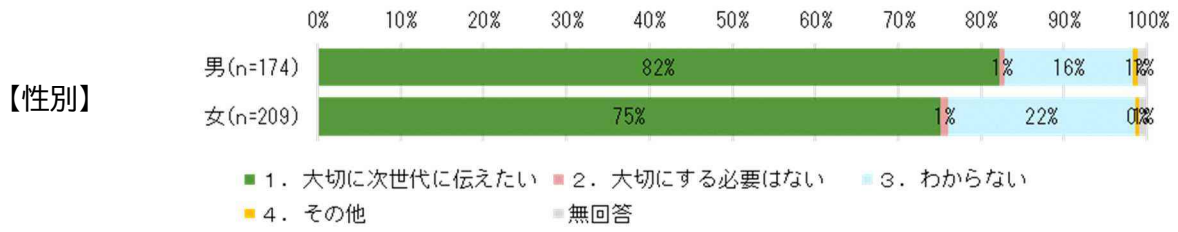
問 20 京田辺市の歴史や文化についてどう思うか

あなたは、京田辺市の歴史や文化財について、どう思われますか。(1つ選択)

「大切に次世代に伝えたい」が78%で多数を占めた。次いで、「わからない」が19%だった。年代が高くなるほど「大切に次世代に伝えたい」の割合が高くなっている。

問 20 京田辺市の歴史や文化についてどう思うか (n=386)





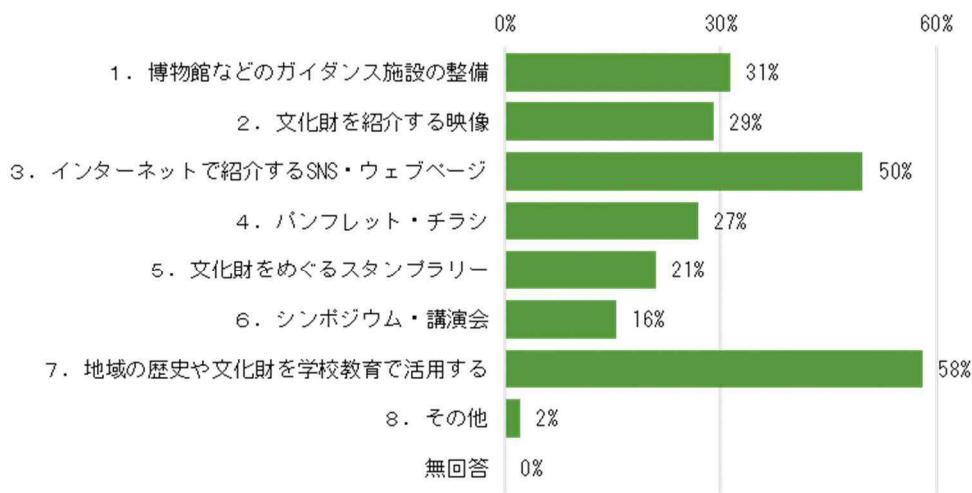
問 21 多くの人が歴史や文化に関心を持つには、どのようなものが必要か

多くの人が京田辺市の歴史や文化財に関心を持つには、どのようなものが必要だと思いますか。(あてはまるもの全て選択)

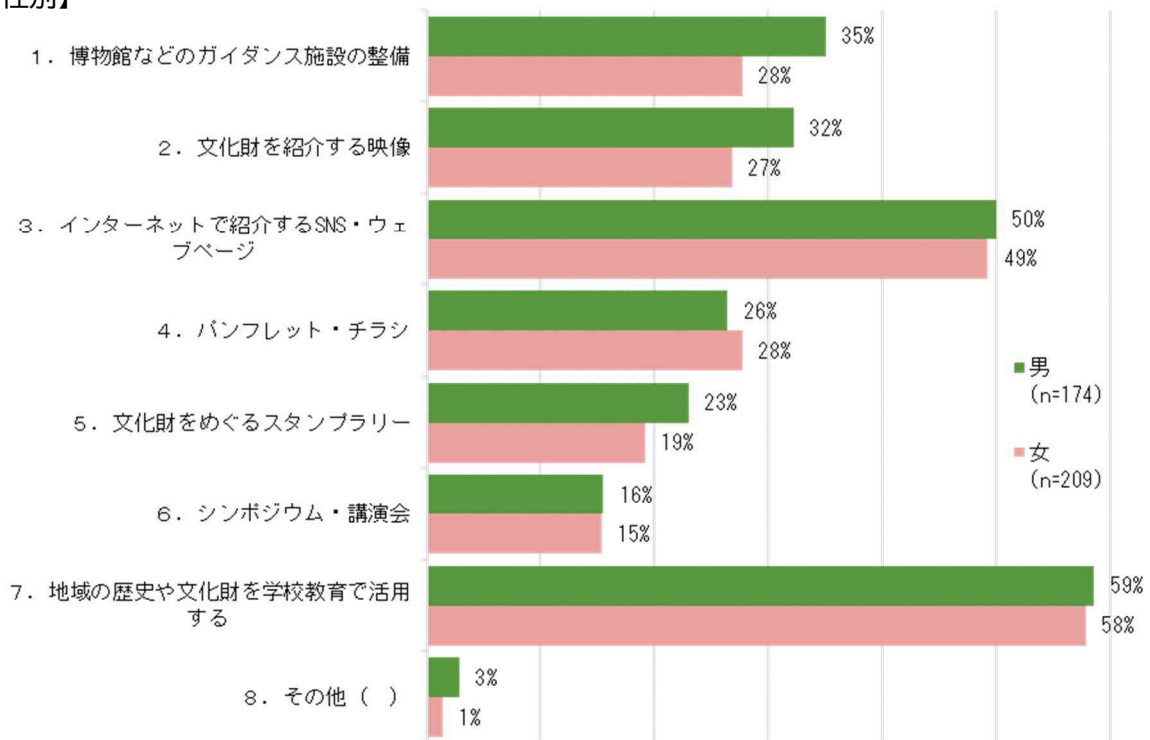
「地域の歴史や文化財を学校教育で活用する」(58%)と「インターネットで紹介するSNS・ウェブページ」(50%)が多かった。

「インターネットで紹介するSNS・ウェブページ」は、若い年代ほど割合が高くなっている。

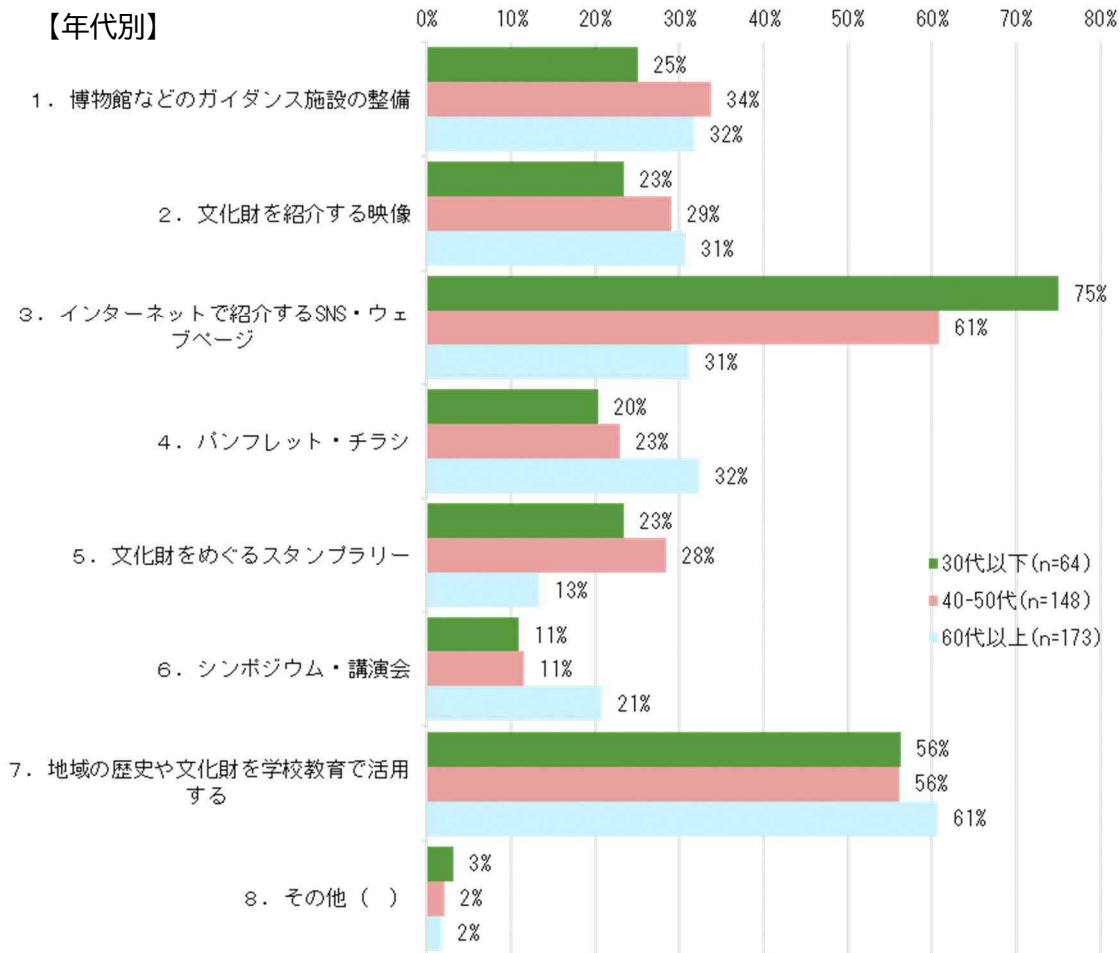
問 21 多くの人が歴史や文化に関心を持つには、どのようなものが必要か (n=386)



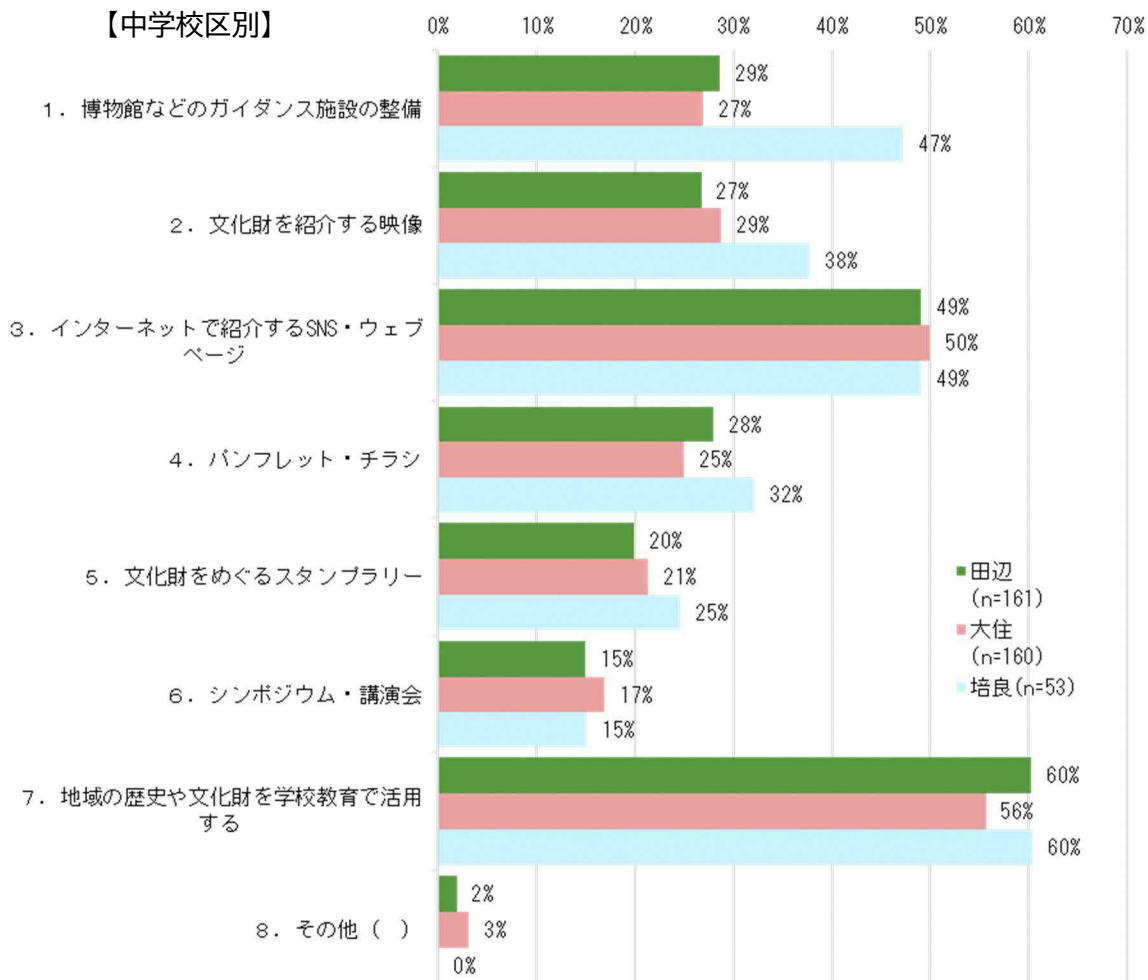
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



その他の記述内容としては、世代に応じた活用や情報発信についての記述がみられた。

【その他】

【世代に応じた活用】

- ・学生さんは校外学習の活用、市民の方には市の広報紙の活用
- ・世代に応じた啓発、活用方法の提示

【情報発信・きっかけ】

- ・まだ改善余地は有りますがメタバース等、他者との触れ合いや地域の情報発信が少ないように感じます。
- ・世間で注目されているコンテンツとのコラボ
- ・1,2,3,4,6 のアクションの前に、そこにつながる仕掛けが必要か？
- ・歴史や文化財の持つ価値や意味の理解促進

【ない】

- ・便利だけど京田辺は嫌いだから、答えはなし。

問 22 文化財を保存活用するために、市はどのような支援をするべきか

文化財を保存活用するために、市はどのような支援をするべきだと思いますか。(あてはまるもの全て選択) 支援の必要がない場合は5を選択してください。

「知名度を高める広報的支援」(66%)、「修理・維持のための金銭的支援」(55%)、「魅力や価値を明らかにする学術的支援」(50%)の順で多かった。

その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【人材育成】

・ガイドさんの育成

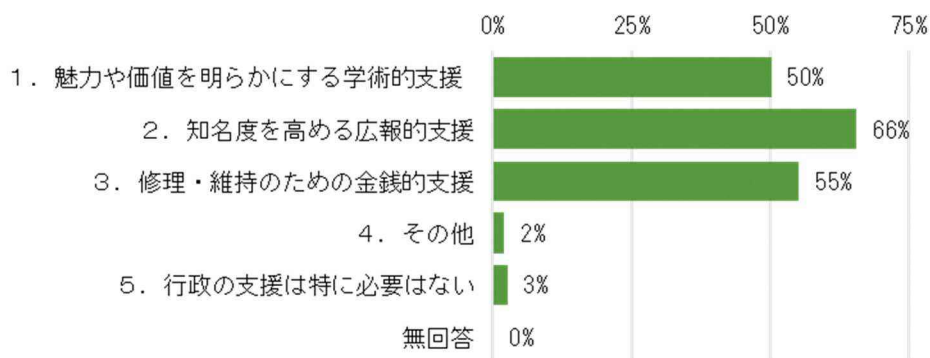
【情報発信】

・歴史や文化財と現在、未来との繋がり の明確化

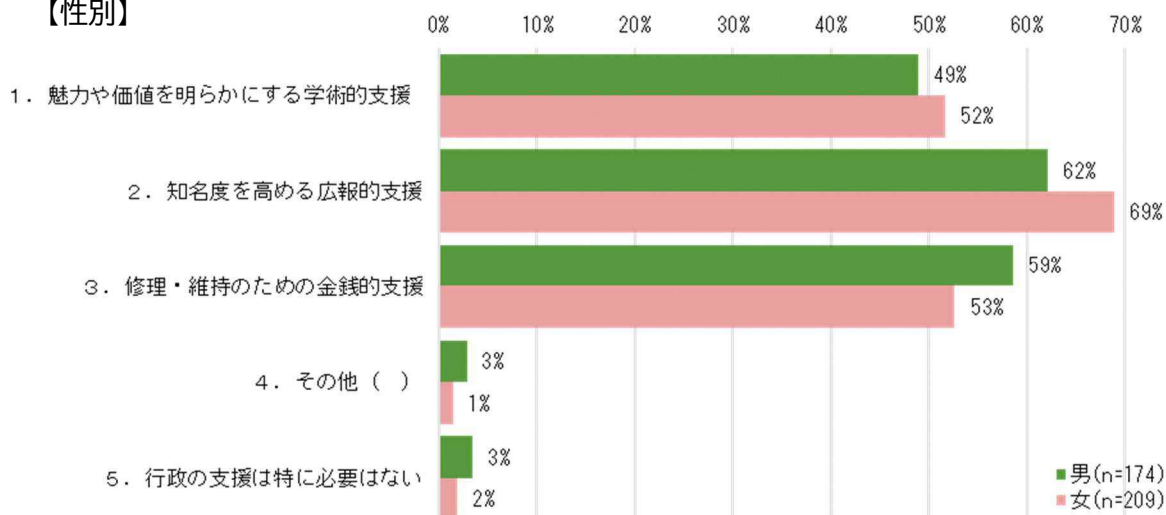
【その他】

・支援すべき文化財があるのか知らないけれど、保存すべきものであるなら支援はある程度必要

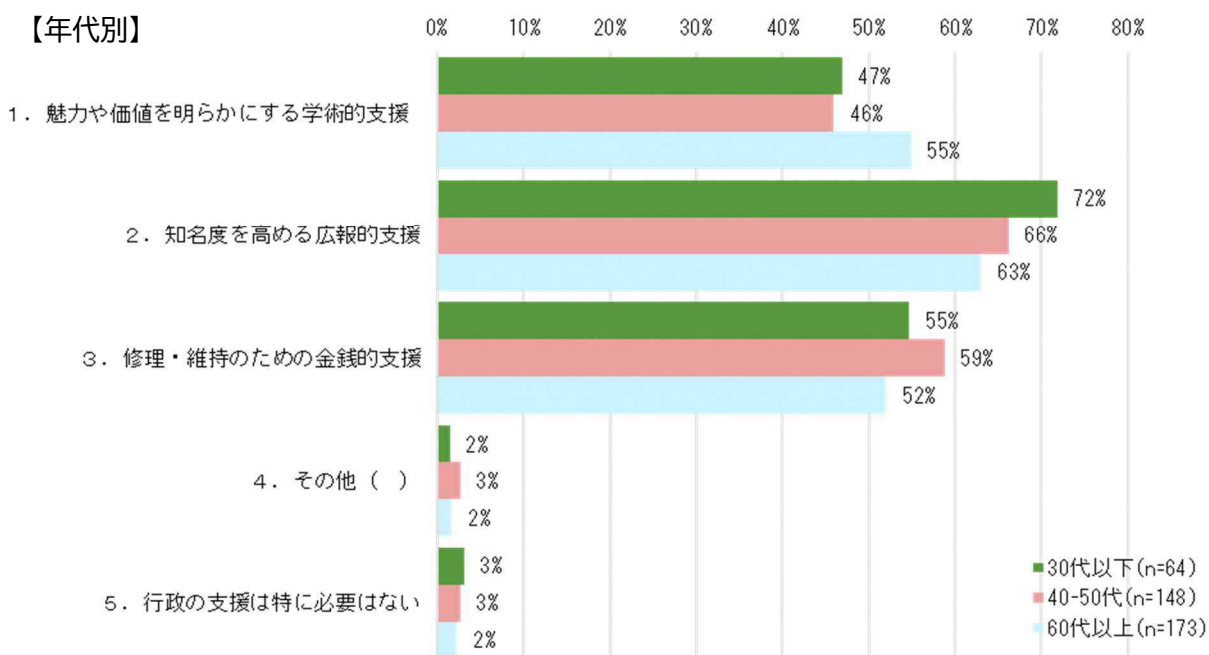
問 22 文化財を保存活用するために、市はどのような支援をするべきか (n=386)



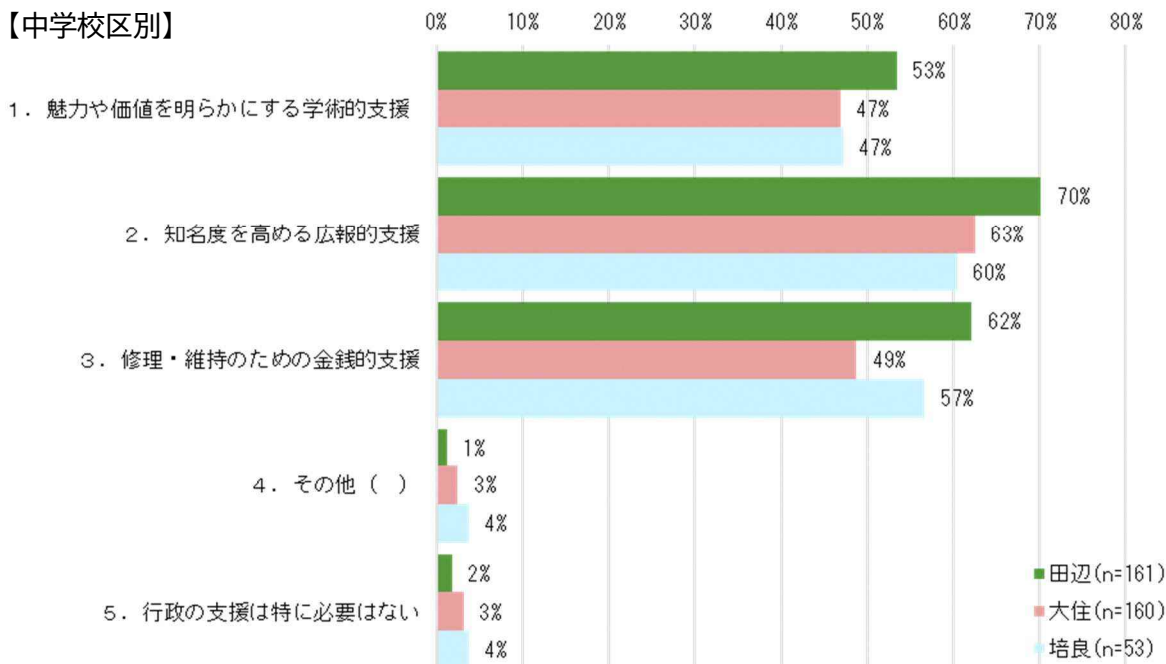
【性別】



【年代別】



【中学校区別】

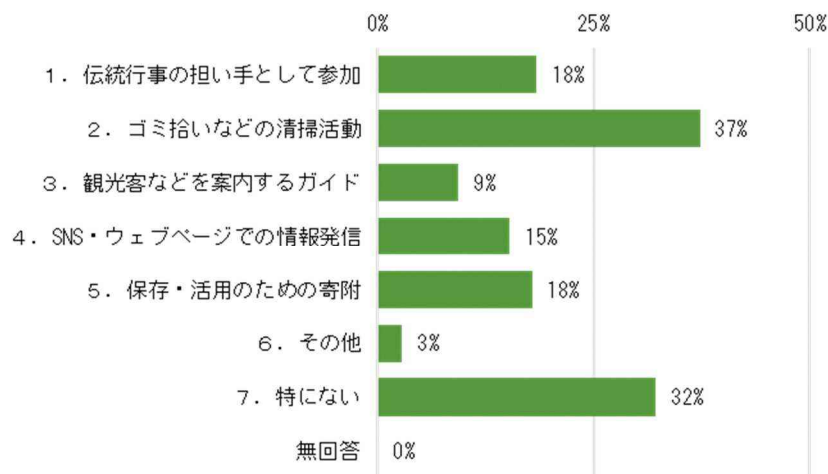


問 23 文化財を保存活用するために協力できること

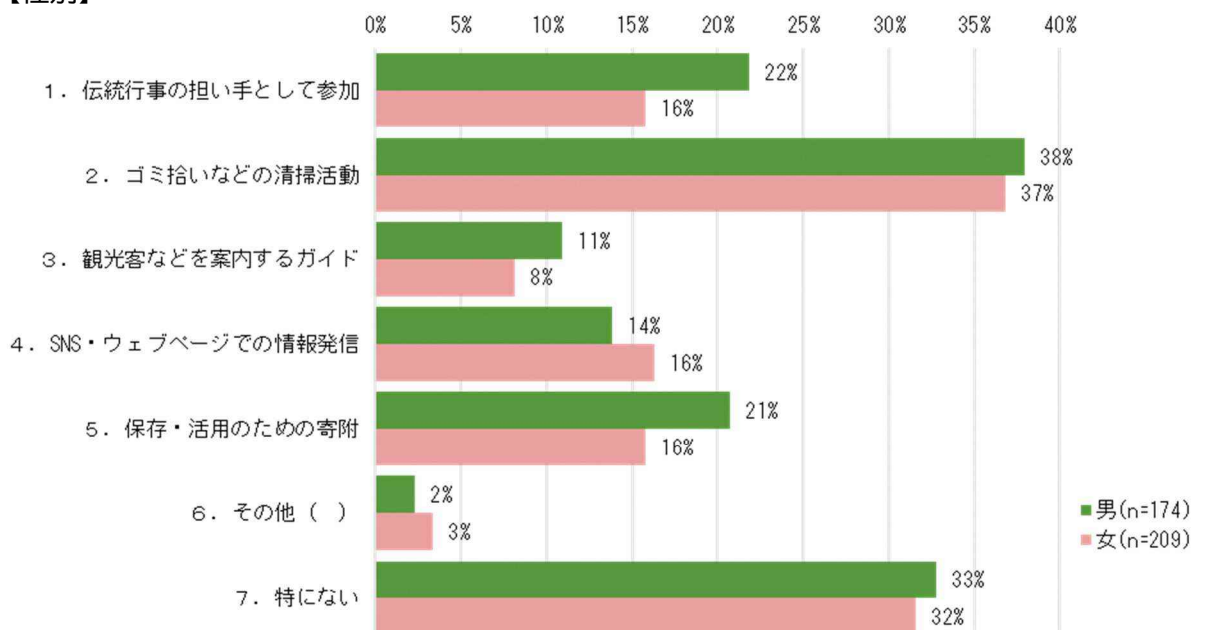
文化財を保存活用するために、あなたが協力できることはどのようなことですか。(あてはまるもの全て選択)
ない場合は7を選択してください。

「ゴミ拾いなどの清掃活動」(37%)が最も多く、次いで、「特にない」(32%)が多かった。

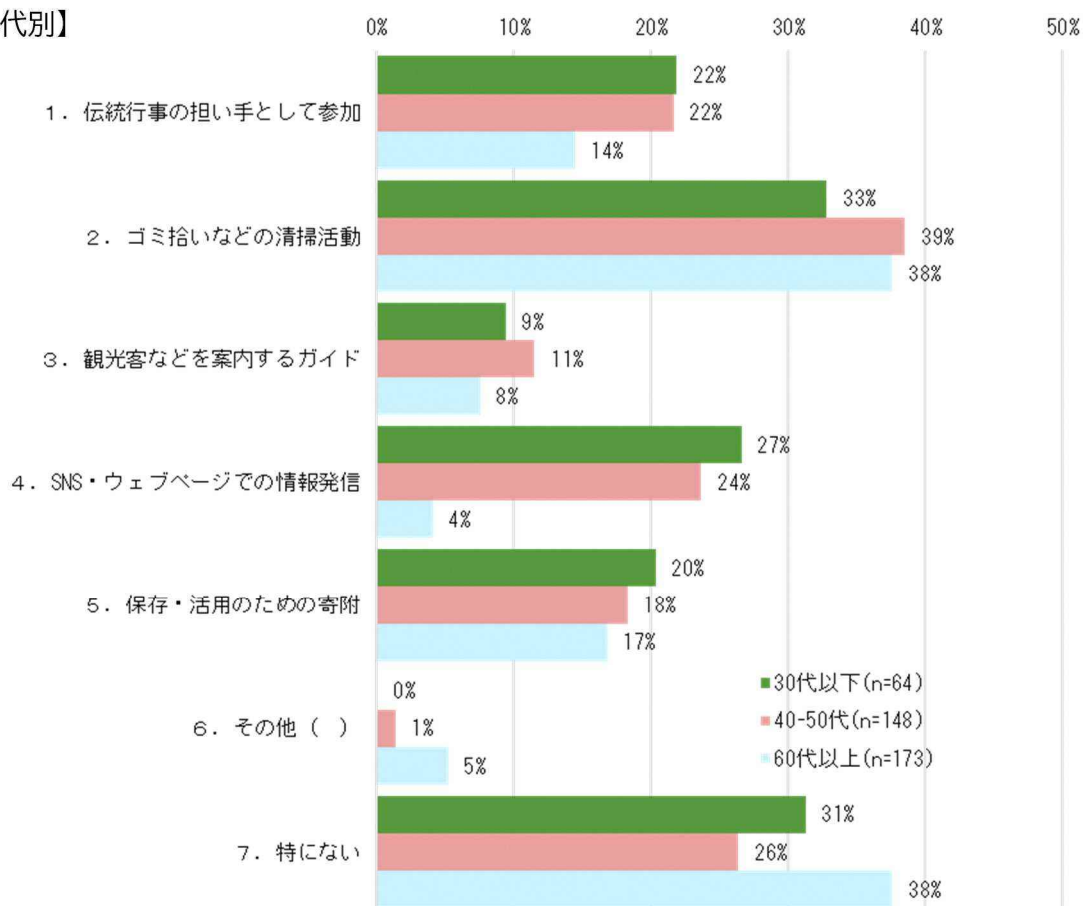
問 23 文化財を保存活用するために協力できること (n=386)



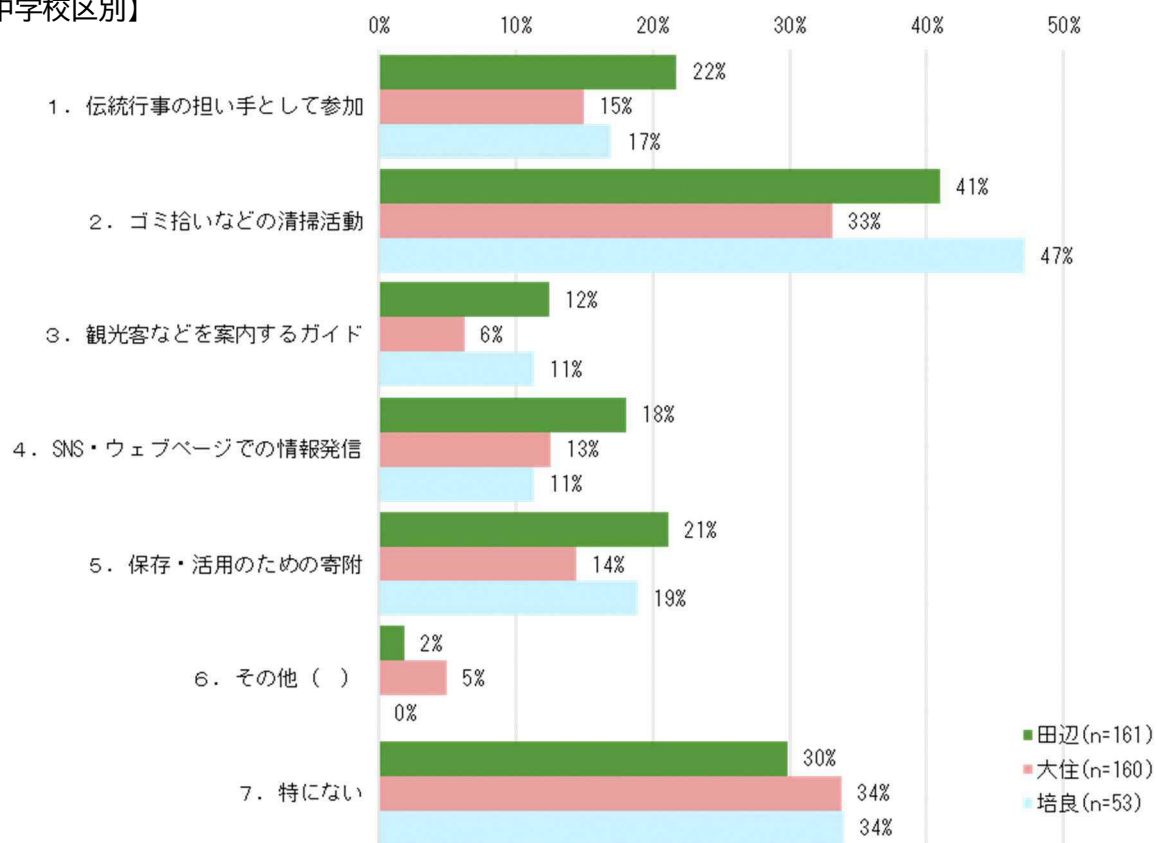
【性別】



【年代別】



【中学校区別】



その他の記述内容としては、情報発信に関することのほか、協力が難しいことの記述がみられた。

【その他】

【情報発信】

- ・個人的に情報発信(京田辺はよいところ)
- ・エッセイなどで紹介
- ・ふるさとを語る時
- ・口コミ
- ・今現在市としてどのような活用しているか知りたい

【検討】

- ・機会があれば考えたい、今すぐにはできそうにない。
- ・出来る範囲で無理のないやり方を模索しよう

【協力するのは難しい】

- ・協力したい気持ちはあっても年齢的に無理
- ・高齢者は無理？
- ・高齢のため
- ・積極的に行動しようとは思っていない。

問 24 自由記述

京田辺市の教育について、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

自由記述の内容は、教育内容についての意見、いじめや不登校の対策についての意見、児童・生徒数の増加による問題や、教職員の質と人数の増加についての意見などが多く寄せられた。

【教育内容について】

- ・小学校でお金の教育を取り込んでほしいです。
- ・防災教育も学校でももう少し必要だと思う。
- ・好きなことを思いっきり学べる環境が理想ですが、苦手克服にばかり時間を割かれている印象があります。一人ひとりの得意を伸ばせるとよいなと思います。あと、未だに体育祭で組体操を取り入れるのは安全のためにやめてほしいです。
- ・一人ひとりに目が行き届き、個性を踏まえた柔軟な教育
- ・語学教育の拡充をお願いします。
- ・言葉上の義務教育、公平、平等、というのは理解しているつもりですが、個人の学力や学ぶ姿勢によって、ある程度レベルに応じたクラス編成をしていただきたい。勉強が好きか嫌いか、学びたい欲があるかないか、も個性だと思うので、その個性も生かしつつ、勉強をしたい子(知識を付けたい子など)には何の懸念もなく学べるような環境を、勉強することが苦手な子(遊んだり体験したりする事が好きな子など)には、授業に集中できなくても、ある程度多めに見てあげる指導、こそ、公平、平等な教育だと思います。
- ・温故知新を子どもたちに。
- ・教育とは「人材」という財産に育て上げる大切なプロセスにおけるツールだと考えます。
- ・自分は間違いなくそのプロセスを疎かにしたタイプなので後で苦労しました。
- ・教育の質そのものも大切ですが動機付けもはもっと大切ですので、啓蒙活動も大変だと思いますがその辺りのアプローチも考えて頂ければより教育の本質が見えてくる気がします。
- ・宜しくお願い致します。”
- ・特徴的な事、独自性をどう押し出すか、京田辺ならではの必要なのだと思います。
- ・個々の持つ個性と感性、集団の中で育つ社会性、どちらも大事。友達や先生との出会い、一人一人の子供たちが成功体験や失敗体験を通してたくましく生きる力と他人を思いやる気持ちをもつ大人に成長されることを願っております。

【学校の対応、体制について】

- ・近所にも小中学校不登校児童がいます。両親の子育ての影響が強いように見受けますが、ほかの子供や先生のせいと(両親は)考えているのでしょうか。子供よりも親へのアプローチが必要なのかもしれませんね。目の前に毎日学校に行かない子供が室内で過ごしていることはこちらも心が重くなります。
- ・不登校になってしまった子供たちが、同じ教育を受けられる体制
- ・いじめ加害者への対応のマニュアル作成、カウンセリング等”
- ・私立学校在籍の子どもが不登校になった場合の対応がなく困りました。支援教室は、京田辺市立小学校、中学校通学者の対応で私立中学→京田辺市立中学に移し籍を変えてからでないと利用できません。
- ・何格差なのでしょう？
- ・苛めを発見、報告すれば評価される仕組みが必要(全て、さらけ出す)
- ・教育の現場において「いじめの問題はないのか」「どのような対策をしているのか」知りたいと思います。
- ・先生方の仕事が忙しいのは、わかっています。わがままを言わせてもらえるなら転校生がクラス・学校生

活になじめるように、少しの間仲間に加わって子供たちの仲間づくりにさんかしてもらいたいと感じた。子供がなじみずくに苦しんでいた事があり、とてもつらかったので…。「イジメ」で引っ越してきたのに、又、不登校をあじわいました(少しの間でしたが…)中学になって、子供のことを考えてくださる先生に会って今は元気に、社会人になれています。中学校の先生に感謝しています。

・子供が小学生、中学生の時いじめを受けましたが担任の先生も教頭先生も頼りにできなかった事があります。中学の時は担任の先生がどうかしようといじめてる本人に声掛けして下さいましたが、それでもその子はいじめをやめませんでした。さらに学年が変わってもいじめを繰り返していました。そのことをふまえ、先生にいじめを解決しろと言っても無理があると思うのです。実際のところ学校の先生はいじめの専門家でも無ければ、他の仕事もあるので十分な時間があるわけでもありません。先生だって人間です。自分の時間を全て子供達のために捧げろなんて無茶な話です。そこでカウンセラーの先生がいてるのは知っていますが、そこをもう少し掘り下げて、警察官、弁護士、裁判官の方に実際にいじめで命を絶ってしまうような時間を起こした被疑者がその後どうなったかなどを話してもらい、学ぶ機会を設けてはどうでしょうか。子供達にとってショックが大きい、と思われるかもしれませんが、何か起きてからでは遅いのです。集団心理は大人だけでなく子供の中でも働きます。悪いことでもみんなが何も言わないなら自分も言わない、目立ちたくない、自分がターゲットにされたくない。そうしてうちにいじめはエスカレートしていきます。そうなる前に学ぶ機会を設ければ起きなくてもよい事件を起こさずに済むのでは無いかと思います。

・トラブルにおいて、すぐにいじめに結びつけたり、相手が認めてないからそれ以上学校側は何も出来ないなど先生の価値感やその時の感情などで対応に差を感じることがある。多数派の意見が通り、少数派の意見が正しくても切り捨てられることがあるので、しんどい思いをしている子に親身になって寄り添う教育をしてほしい。

・一人ひとりの子供さんに寄り添って、将来の進路に対して相談、助言をしてあげてほしいです。

・今後子供たち一人の教育が充実出来サポートをしてほしいです。

・私立中学を受験する児童が多い。公立ではダメなのか?と思わざるを得ない。公立中学校の教育体制の立て直しと施設の建て直しを進めるべき。給食の開始もこれ以上遅れることのないようにしてもらいたい。

・校長先生が異動しても各校の特色が継続、発展される学校経営

【多様性について】

・発達障害等、支援が必要な子供たちが受け入れるサービス(支援)の充実

・ルール(校則 etc)による統制を少なくし、個性、創造性を伸ばす(伸ばせる)教育環境の充実を。

・一人一人の個性や体調などに考慮して、広い視野を持ち、違う考えの人を攻撃するのではなく、多様な考えを理解できるよう人物になるようになってほしい。

・発達障害の子どもにも尽力されたし!

【教育環境について】

・子どもたちが何を求めているのかまず調べることです。そして、子どもたちがワクワクするような教育環境を整えることです。ろう築化した設備や質の低い教員に子どもたちは不満を抱いています。。もしくは、先進的な科学や塾のいい所をもっと研究することです。学校からの資料を見てもそれくらい改善がなされているのか全く分かりません。

・校区による格差、特に児童数生徒数の増減/多寡の差に起因する施設のキャパ/老朽化、不合理な通学距離と交通危険性等の是正を早急に実行すべき。

・小学校・中学校ともに生徒が多すぎて、先生の目が届いていない気がします。生徒が多いためにグラウンドで広く遊ばなかったりプールの授業が少なかったりするので、のびのびと運動が出来たらいいなと思いま

す。

- ・小学校の教育のレベルの格差を耳にすることがあります。義務教育において学校の差が出るのは困りますので、差の出ないようお願いしたいと思います。
- ・過疎地域に対しても、平等な教育機会が与えられる様工夫して欲しい。
- ・住宅地の増加により小学校(三山木)、中学校(田辺)のクラスが増加し、後者も足りるのか、子供一人一人指導できるのか、仮設校舎により運動場が狭くなり、全児童そろっての行事が行われるのかが懸念されるので早めに対策をとってほしい。
- ・各学校のファシリティの格差。
- ・三山木小など大規模校などは、問題が多すぎる。もう一校必要。
- ・市内の学校の教育レベル格差の是正
- ・普賢寺小学校の生徒数を確保するために、他地区からの通学を認めているが、過疎化?による地域の生徒数の問題は解決しないと思う。単にのどかな環境が子供の成長にとって良いとは思えない。
- ・都会との教育環境差は大きいと思う(塾の数等)
- ・小規模小学校ならば、その特性を考え教育に特色をもたせるとか、(地元の私立校との連携等)進学校にするとか特性を出すようにすれば良いと思う。
- ・例えば同志社国際校との連携で生徒さんと生の語学力向上を図ることにより、先生の英語指導よりも身近に感じ、興味を持つかも。
- ・小学校のトイレをもっと明るくきれいにしよう。
- ・田辺中学の児童数の増加率に、教員の質、校舎環境が間に合っていない。
- ・小中学校の増改築の計画が甘過ぎ。プレハブ校舎を減らせるよう計画を立て、教育環境を充実させてください。
- ・中学校給食の実施までの道のりのスピードが遅い。スピード間がないのでむだな話し合いが多い。
- ・あまり詳しく知らないので特段の意見はありません。ただ、管理中心的な教育ではなく、余裕と弾力性のある教育と環境づくりに一層のご努力を期待しています。

【教員について】

- ・先生の質の問題も気になりました。先生の数が足りていないのだと思います。子供の心は沢山傷つきました。先生の気持ちに余裕がない人が多すぎます。教育もできていないのでしょう。子供の心は今でも傷ついています。まだ先生をしてられるのであれば残念ですね。どうぞ一つの意見として教育長さまがお考えください。先生の質をよくするには、何が必要ですか？
- ・小学校の先生のレベルが低すぎ。先生なのにあいさつしない。子供への教育が行きとどいていない。学童の先生は特に最悪。教育を徹底してほしい。
- ・各学校の先生はよく頑張っておられる先生が多いと感じています。
- ・小学校はとてもよい先生方で感謝しています。方針が昭和のままなところがあるのでアップデートされることを期待しています。
- ・先生方が大変にならないようにも気を付けてあげて欲しい。
- ・別紙に書かせて戴きました。(感謝の手紙)
- ・先生方の休日の充実、確保してほしいです。心の健康も大事です。
- ・非常勤の教員で、今年度地域の役に当たりました。「地域」に頼りすぎです。問8について「地域の大人」の負担が非常に大きく、仕事に多大な影響を及ぼしています。「地域の大人」としての役割を果たそうと思ったら、問13の選択肢1, 2, 3を犠牲にするしかありません。問14はとても無理です。外部委託できることはどんどん外に出し、教員が「教育」のために時間を使えるようにしてほしいと思います。周囲の人も何ら

かの犠牲を払って「地域の大人」の役割を果たしています。犠牲が当たり前だと思わないでください。

・TV などでも取り上げられていますが、子どもだけでは教育の質は上がらないので先生、そしてそれに準ずる人達の時間の余裕、心の余裕を増やすのはどうかなと思う。子供1人1人抜けることのない教育を願います。

・先生の教育に力を入れ、親も節度を持つように心がけることが子どもの為になると思います。

・教員がもっと自由に自分の思うような教育活動ができる余裕が必要。教員の長時間労働の改善(時間外手当を支給する仕組みづくり)20人~30人までの少人数学級の実施が必要。教育にお金のかからない国の制度が必要。

・教育の負担軽減、教育力の向上のために、民間の多様な人材を活用してほしい。田辺小学校のプール授業を KSC に依頼したことは大変喜ばしいことだと思う。そういった形でどんどん開かれた学校教育を行ってほしい。

・教員の待遇改善をお願いします。一般企業であれば完全にブラック企業の待遇です。違法でないこと自体がおかしいと思います。

・学校教員の数と質の充実。先生方が疲労困憊せず、子供達としっかり向き合える余裕を持てることが大切。

・京田辺市に限らず、これからの教育の質の向上のためには、時代に合った多様な手段が必要だと思います。そのためには教育を担う者への教育や補助が必要だと考えています。働きやすい環境作り、十分な人手や資金、教材が今よりも充実することが必要なのではないかと思います。

・教育の充実のためには、まず教職員の働き方改革を急速に進める必要を感じます。授業参観等の行事及び関連会議の削減や勤務時間外の保護者対応のあり方(留守番電話サービスの導入)など、見直すことで授業時間の確保や質を向上させることに繋がると思います。また、教職員のサービス残業を当たり前とせず、勤務時間内で終わらせる業務内容への改善及び人員確保を進め、教職員の個人生活の充実も目指すことで、日々の仕事への意欲態度も向上すると感じます。

・京田辺市に限らず、教員の質が落ちている。専門的な知識などは現場で育てる事も出来るが、対外的な事、例えば保護者対応であったり、一般常識が身につけていない教員が多すぎる。その為、社会人としてのルールやマナー、接遇などを教員がまず学ぶ必要があると考える。(これに関しては一般企業のように学ぶ機会が少ない為。)

・心にゆとりない人が増えてきております。金銭的余裕や時間的余裕のない人が増えて昔より治安は悪化していると感じております。その為、教育レベルも下がり周りも支援する事も少なく悪化が進んでおります。まずは市職員や教職員ご自身が一度立ち止まり考え何が必要なのか答えは自ずと見えております。解決に向けて非常に高いハードルですが何が足りないのか問題解決に何が必要なのか考えて頂けたらと思います。無理と諦めるのは簡単でとても魅力ある言葉かもしれませんが、いずれ誰かがやってくれる解決してくれるもう長年そんな状況でずるずる引きずっていますね。無理のない範囲で精一杯やって頂けたらと思います。

【交通安全、防犯について】

・小学校の時、「緑のおっちゃん」が行き帰りの通学路に立ってくれて一緒に話しながら帰ったことをすごく覚えている。毎日楽しみだったし、防犯面でも高齢者にとっても地域の子供たちと交流できるのはとても良い機会だと思った。これからも続けてほしい。

・通学路の安全確保-ガードレール、信号機の設置

【金銭面】

・子どもにかかる学費の無償化

- ・物価が上がり何もかも値上がりしているのに児童手当の値段は上がらないのは?!なぜですか?
- ・お習い事など有意義なお金の使い方ができるように、給食費の無償化を望みます。
- ・教育費の無償化もしくは援助の充実。

【活動・体験・イベントや行事、交流について】

- ・子供はもう大きくなりましたが子供が小学生の頃には同志社大のクラブ参加、野外活動カヌーの体験などしました。どれも人数制限があり、なかなか参加したくてもできなかったのが残念に思いました。
- ・小学校での縦割清掃活動など学年を超えて活動しているので中学校でも他学年との交流は良い刺激になると思います。
- ・小学校の時、「緑のおっちゃん」が行き帰りの通学路に立ってくれて一緒に話しながら帰ったことをすごく覚えている。毎日楽しみだったし、防犯面でも高齢者にとっても地域の子供たちと交流できるのはとても良い機会だと思った。これからも続けてほしい。
- ・伝統行事の担い手として参加したいのですが、協力できる時間帯が限られているのでいろんな時間帯がありましたら助かるかと思いますが。
- ・インド関連のイベントより、教育関連の予算を増やすべき。インド関連のイベントは唐突かつ必要性を感じない。

【運動・スポーツについて】

- ・教育だけでなくスポーツもできる時間を増やす。
- ・孫がハンドボールに携わったことで色々助かりました。これからもぜひ力を入れて頂きたいと思います。

【施設・場所について】

- ・子どもはいませんが、公園がきれいになったりこども園が出来たり、良いと思います。
- ・子どもに対する支援が少ない。京田辺はケチなイメージ。公園でボールあそびしたいのに、度の公演もボール禁止でボールあそびする場所がない。大人はどなってくる人ばかりで子供が困っている。学校であそぶと 17:00 には帰れと言われ、16:00 に学校から帰ってくるのに 30 分くらいしかあそべない。京田辺は学校くらいボールあそびなど 17:30 くらいまではさせてほしい。
- ・自然豊かであるにも関わらず、昨今のアウトドアブームに乗れる施設や環境が整っていないと思います。木津川沿いを見てもそういった施設をおける場所がまだまだあると思います。今後に期待します。
- ・過去南部にばかり税金が投入された。
- ・市民の文化教育の施設として会場コミセン的な、が不足している。”
- ・子供が自由に集まって、課題や勉強、コミュニケーションがとれるように、解放された施設がほしい。図書館では集まれないため。

【歴史・文化財について】

- ・文化財についての意見。京田辺市は、一休寺近くの古墳を買い取る(みんかんから)計画をしている。京田辺市には、ほかにもいくつかの古墳がありますようですが、キャンセルして下さい。税金のむだ使いです(天理コフン)。乱筆にてすみません。
- ・市の歴史や文化財については小学校や中学校でもっと子供たちに知ってもらう時間(授業)を設けるべきだと思います。中学生になっても京田辺市の歴史文化財を知らない子供が多いように思います。
- ・京田辺市は今多くの人たちが転入があります。それだけに大切に残したいものをしっかり整理し、転入してきた人たちにも受け入れてもらっていくと取り組みが必要だと思います。

【情報・発信】

- ・老人ホームに住んでいるので、市の広報などは配られません。ですので、私たちにも、市の情報を頂きたいと思います。私は車いすの生活で、外出も出来ませんので情報紙は大切だと思います。
- ・京田辺市は、京都市に匹敵する歴史や文化財があります。しかし神攻皇后伝説など人権問題と深くかかわる危険性があります。その点を十分考慮して京田辺市の魅力を発信していくことを希望します。
- ・多様な学びのできる市なので、それをもっと大きく広報するとよいと思います。

【学童について】

- ・学童の長期休みの宅配弁当の導入
- ・地域の学童に行けず、待機児童扱いしてもらえない。学区外の学童に通えばいいと市役所の人は言いますが、実質無理なことを言っている。矛盾してます。

【教育関係】

- ・施設学校は、近所のことを考えてうるさくしないで。常識が欠けている大人にならないように、親が育てるべき。問 12 のような大人が増えたらすばらしいでしょう。
- ・小学校低学年のランドセルの重さ？毎日背負って疲れて帰宅し宿題をする。昔から変わらない？もっと快適に勉強に励めるように工夫できないか？
- ・子供は欲しいが金銭的に難しく、政府の政策待ちになっています。せめて子供を産みたいと思えるような教育方針の素晴らしさが京田辺市にほしいです。
- ・自身(本人)が田辺町で中学生を送り、3 人の子供の上 2 人は効率で中学まで第 3 児の末っ子のみ中学は公立を選びませんでした。小学校はとても大切に考えてほしいです。
- ・京田辺市に限らず日本の公教育では、不登校も子どもの自殺も先生方の疲労も軽減することはできません。幸い京田辺市には、シュタイナー学校やインターナショナルスクールなどもあるので、フリースクールを推進し多様な教育ができる町作りを目指せばよいと思います。
- ・教育振興

【疑問】

- ・何を狙っているのかわからない。教育とは何なのかと考えているのか？

【アンケートに対する意見】

- ・意図が不明な問が多く、回答しにくかった。
- ・非常にこたえにくいアンケートでした。市でお考えのプランに対する意見やさんせいかどうかのアンケートの方が考えやすかった。選択肢にばらつきがあり、どれかを選ぶことが難しいと感じた。市の教育はより良くなると良いと思うので、全国的に注目されるような計画、実施になっていくと良いと思いました。
- ・子どもがいない家庭に学校や教育関係のアンケートをされても困る

【その他】

- ・老人には教育より自分の体をもって歩くだけで大変です。これが日々の毎日、若さはいいものです。
- ・「教育について」とは少し違うかもしれませんが、路上駐車ゼロをかかげていると思いますが、介護事業所の車が普通に路上駐車しているのをよく見かけます。月に 1 度のケアマネージャーの訪問のようですが長い時で 1 時間以上駐車しています。京田辺市は特別に介護事業所に路駐を許可でも出しているのでしょうか？違うのなら各事業所に教育・指導を行うべきだと思います。
- ・公の病院を作ってほしい。
- ・高齢になり今までのように活動、活躍することが少なく回答らしい回答にならなかったようで失礼いたします。ご苦労様です。よろしく。

- ・近隣都市で依然として凄惨な児童虐待事件が絶えない。京田辺市の担当職員は最高レベルの研修を受けるべきであり、自らの能力不足を自覚し、外部の専門家による監督・指導を絶えず受けるべき。
- ・三山木地区の世帯が急激に増えすぎ。
- ・特になし
- ・(ごくろうさま)